ＮＲ出版会with協賛社
ブックフェアカタログ目次

◉ＮＲ出版会加盟社

亜紀書房 …… 4〜5
インパクト出版会 …… 6〜7
現代人文社 …… 8〜9
新幹社 …… 10〜11
新泉社 …… 12〜13
柘植書房新社 …… 14〜15
同時代社 …… 16〜17
七つ森書館 …… 18〜19
日本経済評論社 …… 20〜21
風媒社 …… 22〜23
論創社 …… 24〜25

◉協賛社

以文社 …… 26〜27
影書房 …… 28〜29
現代書館 …… 30〜31
彩流社 …… 32〜33
知泉書館 …… 34〜35
吉田書店 …… 36

ＮＲ出版会加盟社with協賛社連絡先 …… 37

＊カタログ掲載商品は刊行書籍の一部です。
　各社ホームページの出版図書一覧などもご活用ください。

＊各書籍の下段に書誌データを表記してあります。
　判型、定価、ＩＳＢＮコード、Ｃコード、刊行年の順です。

亜紀書房

ドナルド・B. クレイビルほか 著　青木 玲

アーミッシュの赦し

なぜ彼らはすぐに犯人とその家族を赦したのか

2006年10月、アメリカのある村で惨劇は起こった。銃乱射で５人の少女が死に５人の子が重症を負った。しかし、その犯人をキリスト教の一派であるアーミッシュは赦す。彼らの真意とは？

四六判　定価 2,500円＋税

2008年刊
978-4-7505-0803-0 C0014

ダイアン・アッカーマン 著　青木 玲 訳

ユダヤ人を救った動物園

ヤンとアントニーナの物語

ナチの侵攻を受けてポーランドではさまざまな抵抗運動がくり広げられた。ワルシャワ動物園の園長夫婦も、ユダヤ人を園内に匿い、逃亡の手助けをした。朝日新聞他、各紙書評にて絶賛。

四六判　定価 2,500円＋税

2009年刊
978-4-7505-0912-9 C0023

マーカス・ラトレルほか 著　高月園子 訳

アフガン、たった一人の生還

戦場で民間人を殺すと罪になる。アフガンの山上で出合った民間人を見逃し、仲間のすべてが死んだ。米海軍特殊部隊の唯一の生き残りが記す戦場の真実と、国内リベラル派への痛烈な批判。

四六判　定価 2,500円＋税

2009年刊
978-4-7505-0914-3 C0023

レベッカ・ソルニット 著　高月園子 訳

災害ユートピア

なぜそのとき特別な共同体が立ち上がるのか

災害後の被災地には理想的な共同体、相互扶助の「ユートピア」が立ち上がる。むしろその周辺の安全な場所にいる人こそパニックに陥りやすい。3.11以後、苦難を乗り越える本として紹介。

四六判　定価 2,500円＋税

2010年刊
978-4-7505-1023-1 C0036

アリソン・ゴプニック 著　青木 玲 訳

哲学する赤ちゃん

赤ちゃんは大人より想像力に富み、思いやりがあり、意識も鮮明である。最新科学の知見から明らかにされつつある驚くべき能力。赤ちゃんを再発見することは、人間の可能性を広げることである。

四六判　定価 2,500円＋税

2010年刊
978-4-7505-1011-8 C0011

デボラ・L. ロード 著　栗原泉 訳

キレイならいいのか

ビューティ・バイアス

「容姿による差別」は世間で軽視されがちだが、美容業界には巨額の市場が存在する。法曹論理でもっとも多く引用される著者が、医療業界やメディアにおける「美のバイアス」を検証する。

四六判　定価 2,300円＋税

2012年刊
978-4-7505-1203-7 C0036

宇井 純 著
新装版

合本　公害原論

1971年の初版発行以来、版を重ねてきた名著の新装版。それまで企業よりの技術論に終始していた風潮に警鐘を鳴らし、「公害」の社会的意味を初めて問い、環境学の礎となった記念碑的作品。

Ｂ６判　定価 3,800円＋税

2006年刊
978-4-7505-0618-0 C0036

樋田 敦 著

原子力に未来はなかった

70年代から反原発を訴えてきた著者が、レベル７という未曾有の福島原発の事故の真実をさぐり、今後の日本社会のあり方を問う！　反原発の思想的支柱となる一冊。

四六判　定価 1,500円＋税

2011年刊
978-4-7505-1110-8 C0036

小出裕章、後藤政志、石橋克彦、孫正義 著

意見陳述

2011年5月23日参議院行政監視委員会会議録

「日本と原発」について、４人の参考人が、自分の専門とする立場から、ポピュリズムも政治的なこととも無縁な、わかりやすい言葉で、原理・原則的に脱原発を語った。

四六判　定価 1,500円＋税

2011年刊
978-4-7505-1125-2 C0036

落合浩太郎 編著

インテリジェンスなき国家は滅ぶ

世界の情報コミュニティ

紛争、テロ、暗殺、失踪……世界で何かが起きれば、その裏側には情報機関の関与をまず考えるのが、世界の“常識”である。世界の情報機関の在り方から日本のあるべき姿を探る。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-7505-1126-9 C0030

（財）平和・安全保障研究所 編

日米同盟再考

知っておきたい100の論点

2010年は日米安保条約改定50周年にあたる。幾度もの危機を乗り越えながら、深化と拡大を続けてきた日米安保。その意味を第一線の著者群が書き下ろす！

Ａ５判　定価 2,500円＋税

2010年刊
978-4-7505-1007-1 C0031

防衛大学校安全保障学研究会 編著
新訂第４版

安全保障学入門

初版刊行以来、読者の圧倒的な支持を得てきた定番を、11年目にして大改訂。教科書に、討議の刺激剤に、そして安全保障的思考の訓練に使える一冊。

Ａ５判　定価 2,600円＋税

2009年刊
978-4-7505-0902-0 C0031

防衛大学校安全保障学研究会、武田康裕 編

安全保障のポイントがよくわかる本

［安全］と［脅威］のメカニズム

テロの根絶は可能か？　集団安全保障は理想論か？　ますます混沌とする国際情勢のなかで、日本の国家と国民の安全とは何か、「安全保障」に欠かせない論点を解説した入門書。

Ａ５判　定価 2,500円＋税

2007年刊
978-4-7505-0705-7 C0031

赤根谷達雄、落合浩太郎 編著
増補改訂版

「新しい安全保障」論の視座

新たに「現代テロリズムと大量破壊兵器」の章を加え全面改訂。安全保障概念の現代的意味を問い、新思潮の是非を検証する定評のロングセラー。

Ａ５判　定価 2,400円＋税

2007年刊
978-4-7505-0701-9 C0031

テロ対策を考える会、宮坂直史 編著

テロ対策入門

遍在する危機への対処法

テロの変遷を追い続けてきた専門家グループが現代テロリズムの背景と構造を明らかにし、日本がとるべき対策モデルを提示する。

Ａ５判　定価 2,500円＋税

2006年刊
978-4-7505-0608-1 C0031

中村安希 著

Ｂｅフラット

新進気鋭ノンフィクション作家が永田町にひとり飛び込み、18人の若手国会議員と対峙して見えてきた日本の問題群。そのよどみない視線の先に浮かび上がる日本の青写真とは。

四六判　定価 1,500円＋税

2011年刊
978-4-7505-1108-5 C0095

岡田憲治 著

言葉が足りないとサルになる

現代ニッポンと言語力

言葉を声に出すことで世界が浮上し、そのことで社会が変わっていく可能性に開かれていることを唱導する。言葉と社会の関係から考える現代日本論。

四六判　定価 1,600円＋税

2010年刊
978-4-7505-1020-0 C0036

岡田憲治 著

静かに「政治」の話を続けよう

政権交代、基地や領土をめぐる外交問題。さらには東日本大震災、原発事故とますます迷走を続ける日本の政治と行政。政治をめぐる誤解や曖昧な言葉に鉄槌を下す、今もっとも必要な政治学入門。

四六判　定価 1,600円＋税

2011年刊
978-4-7505-1124-5 C0031

亜紀書房

福田誠治 著

格差をなくせば子どもの学力は伸びる

驚きのフィンランド教育

格差をなくすことに注力するフィンランドはＯＥＣＤの学力調査で３年連続１位！　格差をなくすことと、子どもの個性を大事にすることが矛盾しない教育から逆照射される日本教育の可能性を探る。

四六判　定価 1,500円＋税

2007年刊

978-4-7505-0710-1 C0037

福田誠治 著

フィンランドは教師の育て方がすごい

ＯＥＣＤで常にトップのフィンランド。その秘密は徹底したプロの教師の育て方にあった。職業としても人気が高く、教育実習は徹底した実践主義に貫かれている。朝日新聞書評にて激賞。

四六判　定価 1,500円＋税

2009年刊

978-4-7505-0903-7 C0037

福田誠治 著

フィンランドはもう「学力」の先を行っている

人生につながるコンピテンス・ベースの教育

フィンランドは子どもに実力〈コンピデンス〉を付ける教育に転換した。宿題も点数競争もない。それなのに、学力世界一であり、国力世界一である。いま求められている教育を提示する画期的な書！

四六判　定価 1,600円＋税

2012年刊

978-4-7505-1217-4 C0037

パウロ・フレイレ 著　三砂ちづる 訳

新訳

被抑圧者の教育学

学力中心の教育が非人間化をもたらし、抑圧を強化することを指摘。対話を通して他者との関わり方を変えていくことを主軸にした解放の書。開発・教育関係者に今も読み継がれる名著の新訳版。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊

978-4-7505-1102-3 C0037

福島清彦 著

環境問題を経済から見る

なぜ日本はＥＵに追いつけないのか

「炭素収支」「エネルギー収支」「経済収支」を重視し、新しい産業・雇用を生み出しつつあるＥＵ。対する日本の環境エネルギーの政策は？　環境経済学の視点から日本の無策振りを明らかにする。

四六判　定価 2,300円＋税

2009年刊

978-4-7505-0904-4 C0036

神谷秀樹 著

さらば、強欲資本主義

会社も人もすべからく倫理的たるべし

ウォール街ですべてを見てきた投資銀行家が、利益だけを追い求めるビジネスに警鐘を鳴らし、基本的価値観に軸足を置いた仕事のやり方・生き方を提唱する。

四六判　定価 1,800円＋税

2008年刊

978-4-7505-0807-8 C0033

谷口幸紀 著

バンカー、そして神父

ある放蕩息子の帰還

金融マンから神父に転進したのはなぜか？　心病む妹、父親との確執、豪奢なオフィスで目撃したまがまがしい悪魔の姿、宗教界との軋轢――赤裸々に綴った魂の記録！

四六判　定価 2,200円＋税

2006年刊

978-4-7505-0613-5 C0014

的場昭弘 著

マルクスに誘われて

みずみずしい思想を追う

グローバリゼーションの弊害が世界のあちこちで噴き出し、再びマルクスの思想が注目されている。気鋭の学者がマルクスの可能性を探る。

四六判　定価 1,800円＋税

2006年刊

978-4-7505-0602-9 C0010

渡辺京二＋津田塾大学三砂ちづるゼミ 著

女子学生、渡辺京二に会いに行く

齢80歳にしてますます明晰。『逝きし世の面影』の著者と学生との２日間にわたる奇跡のセッション。近代化やグローバル化の違和感とどう向き合うか。根源的な疑問をつきつける一冊。

四六判　定価 1,600円＋税

2011年刊

978-4-7505-1123-8 C0095

小島 毅 著

「歴史」を動かす

東アジアから見た日本史

信長、足利義満、清盛など歴史上の人物は、その世間一般的な人物像と日本史研究の成果とはかけ離れていることが多い。日本の歴史を東アジアの中で見直し、歴史の見方そのものについて考える。

四六判　定価 1,800円＋税

2011年刊

978-4-7505-1115-3 C0020

畑中章宏 著

災害と妖怪

柳田国男と歩く日本の天変地異

柳田国男を繙くと、日本列島は数々の災害に見舞われ、災害の記憶は、河童、天狗、ダイダラ坊などに仮託されてきた。各地に残る妖怪の足跡に取材し、その「災害伝承」を明らかにする。

四六判　定価 2,000円＋税

2012年刊

978-4-7505-1212-9 C0039

瀬川正仁 著

アジアの辺境に学ぶ幸福の質

経済成長が望めない日本にとって、手本となるのは欧米諸国ではなく、むしろ熱帯アジアの国々ではないか。幸せに生きるためのアジア的価値観をノンフィクションライターの視線で描く。

四六判　定価 1,800円＋税

2012年刊

978-4-7505-1209-9 C0036

西原 正、堀本武功 編

軍事大国化するインド

経済成長を受け、核兵器の保有、空母の生産にまで踏み込むインド。南アジアに次々と橋頭堡をつくる中国を牽制すべく、軍事大国化を急ぐ。その実情と展望を気鋭の専門家たちが明かす。

四六判　定価 1,900円＋税

2010年刊

978-4-7505-1012-5 C0031

三好範英 著

戦後の「タブー」を清算するドイツ

イラク戦争反対で一貫したドイツ。「過ぎ去らない過去」に縛りつけられ、「国益」を口にできなかったドイツは、新段階に踏み出した。

四六判　定価 2,500円＋税

2003年刊

978-4-7505-0313-4 C0030

福島清彦 著

アメリカ型資本主義を嫌悪するヨーロッパ

強者の論理を押し通すアメリカに対し、力に拠らない支援外交を展開するＥＵは、競争力ある福祉国家を目指す。日本が見習うべき姿勢とは？

四六判　定価 2,300円＋税

2006年刊

978-4-7505-0603-6 C0030

福島清彦 著

オバマがつくる福祉資本主義

「小さな政府」の時代は終わった！　環境・教育・福祉に巨額の政府投資を行い、アメリカを立て直そうとするオバマの政策は、確固とした思想に貫かれている。

四六判　定価 1,700円＋税

2009年刊

978-4-7505-0918-1 C0031

金元祚 著

新装版

凍土の共和国

北朝鮮幻滅紀行

当時、北朝鮮の惨状を知りながら、関係者は固く口を閉ざしていた。帰国家族に被害が及ぶことを懸念する者、イデオロギーから真実に目をつぶる者。歴史の扉を開いた一冊が新装版で登場。

四六判　定価 2,300円＋税

2008年刊

978-4-7505-0801-6 C0036

矢幡 洋 著

危ない精神分析

マインドハッカーたちの詐術

アダルト・チルドレン？　ＰＴＳＤ？　すべては「親」のせい？　いいえ、みんな虚構です。気鋭の臨床心理士が、ハーマン流「精神分析の悪」を衝く渾身の一作。宮崎哲也氏激賞。

四六判　定価 1,800円＋税

2003年刊

978-4-7505-0304-2 C0011

インパクト出版会

牧野雅子 著

刑事司法とジェンダー

刑事司法は性暴力加害者をどのように扱ってきたのか。連続レイプ事件加害者への長期間にわたる接見や往復書簡、裁判分析により性暴力加害者の経験に肉薄。その責任を問う法のあり方を提言する。

2013年刊

四六判　定価 2,000円＋税　978-4-7554-0232-6 C0036

川村 湊 著

震災・原発文学論

震災・原発を文学者はどう描いているのか。3.11以前から、そして3.11以降の原発文学を徹底的に読み解く。付録　「原子力／核」恐怖映画フィルモグラフィー　全252作品完全鑑賞。

2013年刊

四六判　定価 1,900円＋税　978-4-7554-0230-2 C0095

池田浩士 著

石炭の文学史

第１次産業革命以来の近代化のエネルギー源だった石炭は文学作品にどのように描かれてきたのか。石炭をめぐる日本の海外進出と労働者への抑圧・差別構造はどう作られたのか。

2012年刊

A５判　定価 6,000円＋税　978-4-7554-0221-0 C0095

橋下現象研究会 編著

これでおしまい「橋下劇場」

第１次産業革命以来の近代「橋下劇場」の幕を下ろすための必携マニュアル。橋下大阪市政の特徴、メディア分析等により、「橋下現象」の深層心理を読み解く。付録・橋下「慰安婦」発言問題抗議資料集。

2013年刊

A５判　定価 800円＋税　978-4-7554-0235-7 C0036

橋下現象研究会　編著

「橋下現象」徹底検証

さらば、虚構のトリック・スター

「橋下現象」は日本をどこに連れて行こうとしているのか。新自由主義＋国家主義の濁流に抗して、民衆主権の革新的創造を目指す分析と提言！

2012年刊

四六判　定価 1,900円＋税　978-4-7554-0229-6 C0036

朴秉植（パク ビョンシク）著

死刑を止めた国・韓国

隣の国・韓国では15年間死刑の執行がない。20数人が殺害された連続殺人事件が起きても死刑は再開されなかった。自由な獄中処遇、被害者支援組織、出獄者更生活動など日本が学ぶべきこと満載の書。

2012年刊

A５判　定価 1,400円＋税　978-4-7554-0220-3 C0036

フォーラム90 編

死刑囚90人　とどきますか、獄中からの声

90人の死刑囚からのアンケートを書籍化。そこには犯した事件のこと、獄中生活のこと、被害者について、残された家族への想いなど彼らの魂の叫びが綴られている 。

2009年刊

A５判　定価 1,800円＋税　978-4-7554-0224-1 C0036

年報・死刑廃止編集委員会 編

年報・死刑廃止2012

少年事件と死刑

少年法の理念さえ踏み越え、更生ではなく厳罰へ、抹殺へとこの国は向かっている。少年事件と死刑をめぐる問題点を徹底検証する。

2012年刊

A５判　定価 2,300円＋税　978-4-7554-0227-2 C0036

佐藤 一 著

新版

下山事件全研究

1949年米軍占領下に起きた下山事件。松川事件の死刑囚だった著者は下山事件の全面的研究に取り組む。浅薄な謀略論を排し捜査資料を再検討、関係者に徹底取材し事件の真実を解明する。

2009年刊

四六判　定価 6,000円＋税　978-4-7554-0199-2 C0021

加納実紀代 著

ヒロシマとフクシマのあいだ

ジェンダーの視点から

被爆国がなぜ原発大国になったのか？　ヒロシマはなぜフクシマを止められなかったのか？　3.11以降、広島の被爆者である女性史研究者が、〈核〉を軸にジェンダーの視点から戦後史の再検証を行なう。

2013年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-7554-0233-3 C0036

イトー・ターリ 著

ムーヴ あるパフォーマンスアーティストの場合

日本のパフォーマンスアート草創期とフェミニズムの躍動--アメイジングな時代の空気を体現してきたアーティスト、イトー・ターリ初の写真エッセイ集。レベッカ・ジェニスンとの対談、全文英訳付。

2012年刊

A５判　定価 2,200円＋税　978-4-7554-0231-9 C0070

恵泉女学園大学平和文化研究所 編

占領と性

政策・実態・表象

ＧＨＱの性政策、ＲＡＡと「赤線」、刈り込みと性病院、キリスト者と純潔教育、「混血児」表象にみるジェンダーとエスニシティなど、日本独立を「性」を焦点に再検証。

2007年刊

A５判　定価 3,000円＋税　978-4-7554-0175-6 C0036

加納実紀代 著

戦後史とジェンダー

敗戦から新たな戦前へ。８.15から「慰安婦」・教科書・女性兵士問題まで、戦後60年をジェンダーの視点で読み解き、フェミニズムの獲得してきた地平を分析し、引き継ぐべき課題を考える。

2005年刊

四六判　定価 3,500円＋税　978-4-7554-0155-8 C0021

乾 淑子 編著

図説　着物柄にみる戦争

子どもの着物に軍艦や戦闘機、満州国旗が散りばめられた時代があった。旭日旗・ナチスの鉤十字が女性の襦袢を彩った時代があった。敗戦とともに忘れられた「戦争柄」165点をカラー図版と解説で紹介。

2007年刊

B５判　定価 2,200円＋税　978-4-7554-0178-7 C0072

高橋三郎 編

新装版

共同研究・戦友会

戦友会とはどのような集団なのか。15年戦争のなかでの軍隊・戦争・戦場体験を、戦後の時間の中で寄り集まり、共同的に追体験してきたあの世代をとらえた社会学の古典。

2005年刊

四六判　定価 3,500円＋税　978-4-7554-0149-7 C0036

田浪亜央江 著

〈不在者〉たちのイスラエル

占領文化とパレスチナ

やむことのない戦争を支えるキッチュで矛盾に満ちたシオニズム文化、占領国家・イスラエルの実像を、追放／不可視化された〈不在者〉の視点から論じる。

2008年刊

四六判　定価 2,400円＋税　978-4-7554-0173-2 C0036

女たちの現在を問う会 編

銃後史ノート戦後篇　全８巻

1949～1975

ふたたび「銃後の女」をつくりださぬために。朝鮮戦争～日本独立・55年体制、60年安保、高度成長、ベトナム戦争～全共闘、ウーマンリブへ。戦後を生きる草の根の女たちの軌跡。

1986～1996年刊

A５判　定価 14,950円＋税　978-4-7554-8009-6 C0036

資料集刊行会 編

侵略＝差別と闘うアジア婦人会議資料集成

ウーマン・リブのさきがけ「侵略＝差別と闘うアジア婦人会議」。リブ・フェミニズム運動史研究に不可欠なパンフレット全20点を完全復刻。森川侑子による解説つき。※３冊セット・箱入り・分売不可

2006年刊

B５判　定価 3,8000円＋税　978-4-7554-0166-4 C3036

インパクト出版会

細谷修平 編

メディアと活性

what's media activism?

1960年代末のヴィデオ登場からその後の電子テクノロジーの氾濫の中で、メディアと空間／社会運動はどのように交差し、思考・実践されてきたか。メディアアクティビスト懇談会・企画。

2012年刊

A５判　定価 1,800円＋税　978-4-7554-0223-4 C0036

金 友子 編訳

歩きながら問う

研究空間〈スユ＋ノモ〉の実践

知識と日常がひとつに折り重なり合い、日常が再び祝祭になるという奇妙な実験がなされる場。幸せに暮らす方法を模索できる場。韓国の在野の研究空間〈スユ＋ノモ〉を日本初紹介。

2008年刊

四六判　定価 2,200円＋税　978-4-7554-0179-4 C0036

金江 著　金 友子 訳

生と芸術の実験室 スクウォット

スクウォットせよ！ 抵抗せよ！ 創作せよ！

スクウォット、それは空き家や土地を占拠するという行為を通じて人間が必要とする空間を再分配する運動だ。韓国スクウォット運動の地平を開いてきた女性アーティストによる体系的研究書。

2011年刊

四六判　定価 2,700円＋税　978-4-7554-0208-1 C0030

池田浩士 著
池田浩士コレクション1

似而非物語

1969年京大闘争の中から発せられた評論・アジビラ・パロディの数々。35年を経ての全大学論集成。「戦闘的な研究者運動を展開せよ！」「『学ぶ』ことと『教える』こと」他。

2005年刊

A５判　定価 3,900円＋税　978-4-7554-0151-0 C0036

池田浩士 著
池田浩士コレクション2

ルカーチとこの時代

粛清とファシズムの時代のなかでマルクス主義思想家として思索し行動したルカーチの「生きられた思想」を描く。『初期ルカーチ研究』（抄録）等を加えたルカーチ論の決定版。

2009年刊

A５判　定価 5,200円＋税　978-4-7554-0198-5 C0036

池田浩士 著
池田浩士コレクション3

ファシズムと文学

ヒトラーを支えた作家たち

ナチズムの何が人々の心をとらえたのか。ファシズムの現場であるドイツ・ナチズムの文学表現と向き合い、その現場を直視するなかから抵抗の論理を探る。我々のファシズムと対峙するために。

2005年刊

A５判　定価 4,600円＋税　978-4-7554-0165-7 C0095

池田浩士 著
池田浩士コレクション4

教養小説の崩壊

教養小説はなぜ変身し再生し続けるのか。深化するファシズム状況の中で『ジャン・クリストフ』、ドストエフスキー、カフカ、カミュ、島木健作、木々高太郎からドラキュラまでを読み解く。

2008年刊

A５判　定価 5,500円＋税　978-4-7554-0187-9 C0095

池田浩士 著
池田浩士コレクション5

闇の文化史

モンタージュ1920年代

ダダ、未来派、表現主義、ロシア・フォルマリズム……。ラディカルな芸術と政治が相克し苦闘した1920年代。「世界の終末」を「新しい世界の創出」へ変革することをめざした人々を描き出す。

2004年刊

A５判　定価 4,200円＋税　978-4-7554-0139-8 C0070

文学史を読みかえる研究会 編

文学史を読みかえる　全８巻

近代を照射する文学批評。①廃墟の可能性 ②〈大衆〉の登場 ③〈転向〉の明暗 ④戦時下の文学 ⑤「戦後」という制度 ⑥大転換期 ⑦リブという〈革命〉⑧〈いま〉を読みかえる

1997～2007年刊

A５判　定価 21,900円＋税　978-4-7554-8011-9 C0095

池田浩士 編
インパクト選書1

逆徒 「大逆事件」の文学

「大逆事件」に関連する文学表現のうち、事件の本質に迫る上で重要と思われる諸作品の画期的なアンソロジー。入獄紀念・無政府共産・革命（内山愚童）暴力革命について（幸徳秋水）他。

2010年刊

四六判　定価 2,800円＋税　978-4-7554-0205-0 C0393

池田浩士 編
インパクト選書2

蘇らぬ朝 「大逆事件」以後の文学

「大逆事件」以後の歴史のなかで生み出された文学表現のうちから「事件」の翳を色濃く映し出す諸作品を選んだアンソロジー。大杉榮、荒畑寒村、田山花袋、佐藤春夫、永井荷風、宮武外骨ほか。

2010年刊

四六判　定価 2,800円＋税　978-4-7554-0206-7 C0393

橘外男 著
インパクト選書3

私は前科者である

1910年代、刑務所出所後、東京の最底辺を這いまわり、非正規の労働現場を流浪する。彼が描く風景の無惨さは、現代風に「プレカリアート」文学と呼べるだろう。解説・野崎六助。

2010年刊

四六判　定価 2,000円＋税　978-4-7554-0209-8 C0393

悪 麗之介 編
インパクト選書4

俗臭 織田作之助［初出］作品集

織田作之助は「夫婦善哉」だけではない！　作家の実像をまったく新しく読みかえる、蔵出し「初出」ヴァージョン、ついに登場。

2011年刊

四六判　定価 2,800円＋税　978-4-7554-0215-9 C0393

悪 麗之介 編
インパクト選書5

天変動く

大震災と作家たち

1896年の三陸沖大津波、そして1923年の関東大震災を、表現者たちはどうとらえたか。復興と戦争の跫音が聞こえてくる、21世紀の大災後にアクチュアルなアンソロジー。寺田寅彦、与謝野晶子ほか。

2011年刊

四六判　定価 2,300円＋税　978-4-7554-0216-6 C0393

中山義秀 著
インパクト選書6

少年死刑囚

死刑か、無期か。翻弄される少年殺人者の内面を描き、刑罰とはなにかを問う中山義秀の傑作ドキュメンタリー小説の復刊。解説・池田浩士。

2012年刊

四六判　定価 1,600円＋税　978-4-7554-0222-7 C0393

川村 湊 編・解説

憎しみの海・怨の儀式

安達征一郎南島小説集

今村昌平「神々の深き欲望」の原作者として知られ、「怨の儀式」で第70回直木賞候補となり、いま再評価の気運の高まる安達征一郎の南島小説集。

2009年刊

A５判　定価 4,000円＋税　978-4-7554-0196-1 C0095

梶山季之 著　川村 湊 編・解説

李朝残影

梶山季之朝鮮小説集

梶山季之が育った朝鮮を舞台とした小説とエッセイ集。収録作品＝族譜／李朝残影／性欲のある風景／霓のなか／米軍進駐／闇船／京城・昭和十一年／さらば京城ほか

2002年刊

A５判　定価 4,000円＋税　978-4-7554-0126-8 C0095

深田 祝 著

SNAKE LIFE HISTORY in KYOTO

京都の水田地帯で長年にわたって調査したヤマカガシの生活史を中心とした蛇の観察研究。経済成長＝生態系の破壊により人間の生活の周辺から姿を消した蛇への哀惜を込めた研究である。英文。

1992年刊

A５判　定価 6,796円＋税　978-4-7554-0000-1 C6796

現代人文社

ジョン・ギャスティルほか 編

熟議民主主義ハンドブック

政治過程における市民参加の手法について、アメリカ合衆国を中心とした他国の具体的事例紹介しながら解説。市民の直接参加による新しい民主主義のかたちの実践ハンドブック。

2013年刊
A５判　定価 3,800円＋税　978-4-87798-543-1 C3031

デイヴィッド・S. ロー 著　西川伸一 訳

日本の最高裁を解剖する

アメリカの研究者からみた日本の司法

日本の最高裁が違憲無効とした法令はわずか８件。日本の最高裁は最も保守的な最高裁判所であるといわれる。元最高裁判事など関係者のインタビューから、米国の研究者がこの理由を明らかにする。

2013年刊
A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-551-6 C3032

小坂井 久 著

取調べ可視化論の展開

あらためて原理原則から考え、「全面的」可視化の必要性を語り、可視化後の取調べや刑事司法の在り方を展望する。「一部」ではなく「全面的」可視化を求め、刑事司法の基礎から考える。

2013年刊
A５判　定価 4,000円＋税　978-4-87798-534-9 C3032

日本弁護士連合会 編

法律家の国際協力

日弁連の国際司法支援活動の実践と展望

日弁連の国際司法支援活動を紹介。日本の弁護士が取り組む必要性と、支援活動の国際比較なども盛り込み、これから活動に参加しようとする人を手引きする。

2012年刊
A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-529-5 C3032

指宿 信 著

証拠開示と公正な裁判

証拠開示が法制化されたが、再審請求審での確定審における未提出証拠へのアクセスは未だ厳しい。全ての証拠へのアクセスの保障と再審請求審における証拠開示手続の整備にむけた提言集。

2012年刊
A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-525-7 C3032

R. ズィトリン、C. ラングフォード 著

アメリカの危ないロイヤーたち

弁護士の道徳指針

具体的な事件で「依頼人の利益か、公益か」というジレンマを抱える弁護士たちの実例を通して、弁護士の倫理を考察する。日本の弁護士にとっても示唆に富む。

2012年刊
A５判　定価 2,200円＋税　978-4-87798-523-3 C3032

刑事立法研究会 編

非拘禁的措置と社会内処遇の課題と展望

電子監視や社会奉仕命令など、刑務所拘禁を伴わない新たな刑罰の導入について具体的な議論が始まっている。刑務所拘禁は最小限とすべきとする立場から、社会内処遇の可能性と課題について提案。

2012年刊
A５判　定価 4,500円＋税　978-4-87798-520-2 C3032

葛野尋之 著

未決拘禁法と人権

捜査・公判段階での身体拘束の在り方を国内法と国際人権法の緻密な解釈論から問い直す。

2012年刊
A５判　定価 6,400円＋税　978-4-87798-518-9 C3032

メルボルン事件弁護団 編

メルボルン事件　個人通報の記録

国際自由権規約第一選択議定書に基づく申立

メルボルン事件は、日本の弁護士が日本人について個人通報制度を活用した貴重な先例である。同事件の個人通報実務資料は有益かつ貴重な参考資料。同事件の記録と個人通報実務資料等を多数収録。

2012年刊
A５判　定価 4,000円＋税　978-4-87798-501-1 C3032

ブライアン・Z. タマナハ 著

「法の支配」をめぐって

歴史・政治・理論

満場一致の支持を得ているかのような「法の支配」がどのように生まれ、機能しているかを検討し、その妥当な理解を助ける。

2011年刊
A５判　定価 3,200円＋税　978-4-87798-488-5 C3032

永田憲史 著

ＧＨＱ文書が語る日本の死刑執行

公文書から迫る絞首刑の実態

占領下に、日本政府がＧＨＱにあてた死刑執行に関する公文書（死刑執行起案書・始末書など）が発見された。その分析と原本（英文）・邦訳を収録し、死刑執行（絞首刑）の実態を明らかにする。

2013年刊
A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-548-6 C3032

デイビッド・T. ジョンソン、田鎖麻衣子 著

孤立する日本の死刑

最後の死刑存置国が集中するアジアで、ますます死刑の適用は減少している。その事実を豊富な実証研究の成果により明らかにするとともに、日本への示唆を論ずる。

2012年刊
A５判　定価 2,000円＋税　978-4-87798-533-2 C3032

中川智正弁護団＋ヴァルテル・ラブル 編著

絞首刑は残虐な刑罰ではないのか？

新聞と法医学が語る真実

絞首された死刑囚は即座に意識を失って苦痛を感じないとさした古畑鑑定。本書は、最近の法医学の知見とさまざまな資料に基づいて、この説に疑問を投げかけ、死刑是非論争に一石を投じる。

2011年刊
A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-493-9 C3032

福井 厚 編著

死刑と向きあう裁判員のために

裁判員裁判によって、市民はいやおうなく死刑の判断をも迫られることになった。裁判員制度施行後のいま、死刑をめぐる議論をもう一度整理し、その議論を深める材料を提供する。

2011年刊
A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-479-3 C0036

浜井浩一 著

罪を犯した人を排除しないイタリアの挑戦

隔離から地域での自立支援へ

イタリアの犯罪者処遇は「バザーリア」改革をモデルに発展してきた。その基本は施設隔離からの解放と地域移行を目指し、ソーシャルワークを基盤とした官民のネットワークによる自立支援にある。

2013年刊
A５判　定価 1,800円＋税　978-4-87798-535-6 C3032

守屋克彦、斉藤豊治 編

コンメンタール少年法

研究者や付添人の視点を可能な限りくみあげた逐条解説書。要所にフォーカス欄を配置し、問題点の指摘や通説との論争も。少年法、少年審判規則のみならず、少年保護事件補償法の解説も加えた。

2012年刊
A５判　定価 6,500円＋税　978-4-87798-538-7 C3032

児玉晃一、関 聡介、難波 満 編

コンメンタール 出入国管理及び難民認定法 2012

最新の法改正に対応。外国人事件に携わってきた弁護士たちが総力をあげてまとめた、当局側以外の手による初の逐条解説。本文で引用した判決文全文を収録したＣＤ-ＲＯＭ付き。

2012年刊
A５判　定価 8,000円＋税　978-4-87798-524-0 C3032

日本弁護士連合会裁判員本部 編

裁判員裁判の量刑

裁判員裁判の量刑判断は、従来の裁判官裁判のそれとどう違うのか。本書は、罪種別に、分析・検討し、いかなる弁護活動が必要とされるかを提示する。原田國男元判事参加の座談会も収録。

2012年刊
A５判　定価 3,600円＋税　978-4-87798-519-6 C2032

現代人文社

日本犯罪社会学会 編

持続可能な刑事政策とは

地域と共生する犯罪者処遇

日本の第一線の犯罪学、教育社会学、経済学そして更生保護や野宿者支援の実践家による新しい犯罪者処遇の在り方を提案する論文を収録。今注目を浴びるノルウェーの著名学者による論文も収録。

2012年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-517-2 C3032

大石剛一郎、谷村慎介、西村武彦 著

障害者弁護ガイドブック

先駆的実践と事例から学ぶ

障害のある人の刑事弁護および支援に長くかかわってきた弁護士たちの実務経験や底流にある理念をまとめ、今、弁護士が目の前の依頼人にどう対応すべきかの道標を示す。

2012年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-512-7 C2032

小森 榮 著

もう一歩踏み込んだ薬物事件の弁護術

「そもそも薬物とは何か」から、「鑑定書の読み方」「社会復帰のための治療」まで、エキスパートのもつ情報と知恵が満載。薬物事件量刑データベースを収録したＣＤ-ＲＯＭ付。

2012年刊

A５判　定価 3,700円＋税　978-4-87798-503-5 C2032

千葉恒久 著

再生可能エネルギーが社会を変える

市民が起こしたドイツのエネルギー革命

ドイツの再生可能エネルギーは、わずかの間に原子力や石炭を凌駕するほどまでになった。エネルギー政策をめぐる電力会社、政府、そして市民のダイナミックな動きを追う。

2013年刊

A５判　定価 2,000円＋税　978-4-87798-536-3 C0036

田島泰彦、石村耕治、白石 孝、水永誠二 著

共通番号制度のカラクリ

マイナンバーで公平・公正な社会になるのか？

多様な専門家の分析から、共通番号制度（マイナンバー）の全体像とその狙いがわかる。個人情報を一体的に管理できることで、利便性の高い公平・公正な社会を実現できるという主張は本当なのか。

2012年刊

四六判　定価 1,700円＋税　978-4-87798-531-8 C0036

河合弘之 著

東電株主代表訴訟
原発事故の経営責任を問う

福島原発事故に関して、歴代の経営陣は責任をとっていない。東電株主が、５兆5045億円の賠償を経営陣に求める株主代表訴訟を提起した。本書は、その訴訟の内容や狙い、背景を紹介する。

2012年刊

四六判　定価 1,500円＋税　978-4-87798-522-6 C0036

現代人文社編集部 編

司法は原発とどう向きあうべきか

原発訴訟の最前線

司法は原発の安全性に関してどのように判断してきたのか、その責任を明らかにする必要がある。全国の原発訴訟とその争点を報告。原発訴訟のあり方と司法の責任を問い直す。

2012年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-514-1 C3032

飯島滋明 編著

憲法から考える実名犯罪報道

実名報道、犯人視報道は、《表現の自由》《知る権利》を根拠に許されるのか？　憲法学の視点（人権尊重から）徹底的に見直しがはじまる。

2013年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-552-3 C0036

日隅一雄 著

補訂版

マスコミはなぜ「マスゴミ」と呼ばれるのか

権力に縛られたメディアのシステムを俯瞰する

監視機能を果たせないメディア。その原因となっている日本独自のメディア規制システムの全貌を明らかにする。初版発刊以降の民主党与党の動きと原発事故に関す　る記者会見について加筆。

2012年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-87798-513-4 C0036

ハンギョレ新聞社 著

不屈のハンギョレ新聞

韓国市民が支えた言論民主化20年

韓国の民主化に深く関係するハンギョレ新聞。市民を株主として誕生したハンギョレが権力の圧力に対抗した苦難と希望の歩みを紹介。現在・将来に対するメディアの責務にも言及。訳者の解説付き。

2012年刊

A５判　定価 3,000円＋税　978-4-87798-511-0 C0036

報道人ストレス研究会 編著

ジャーナリストの惨事ストレス

東日本大震災など災害や事件・事故に伴うストレスを「惨事ストレス」といい、取材するジャーナリストにも起こりうる。日本でようやく始まった研究と海外の成果を報告する。

2011年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-500-4 C0036

ハワード・ベッカー 著　村上直之 訳

完訳

アウトサイダーズ

ラベリング理論再考

今日の構築主義社会学の先駆けとなった 一冊。参与観察法によって、ダンスミュージシャン・マリファナ使用者・禁酒運動家などの生態を描く。「ラベリング理論再考」を増補した完訳版。

2011年刊

A５判　定価 1,900円＋税　978-4-87798-494-6 C1036

村上直之 著

改訂版

近代ジャーナリズムの誕生

イギリス犯罪報道の社会史から

近代ジャーナリズムはイギリスにおいて19世紀半ばに成立した。その誕生の歴史をたどり、犯罪報道の成立と公開処刑の廃止がどう結びつくのかを、イギリスの社会史を丹念に追って解明する。

2010年刊

A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-470-0 C0022

沢登佳人 著

自己超出する生命

生命の尊厳と人間の責任

自分はなぜ生まれてきたのか。この人間存在にとって根本的な問いに答えるべく、哲学はもちろん物理学、心理学、生物学の理論体系を検討し、人類文化創造の実態を総合的・体系的に解き明かす。

2012年刊

A５判　定価 5,000円＋税　978-4-87798-539-4 C1010

落合知子 著

外国人市民がもたらす異文化間リテラシー

ＮＰＯと学校、子どもたちの育ちゆく現場から

多文化の豊かさとは何か。多文化共生活動を行うＮＰＯと小学校をフィールドに外国にルーツをもつ子どもたちが、同化圧力を超え、独自の視点を生かした表現活動を行うには何が必要か。

2012年刊

A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-527-1 C0036

移住労働者と連帯する全国ネットワーク 編

移住連ブックレット

日本で暮らす移住者の貧困

高校進学率約50％、失業率40％以上、ＤＶ保護率日本人の６倍……。「多文化共生」の裏で隠蔽されてきた移住者の貧困問題の現状を、最新の統計や具体的事例により明らかにする。

2011年刊

A５判　定価 1,000円＋税　978-4-87798-481-6 C0036

井門正美 著　三浦広久 監修

役割体験学習論に基づく法教育

裁判員裁判を体感する授業

裁判員時代の市民に求められる法的実践力を培うには、知識と行為の統一的学習を試みる模擬裁判などの役割体験学習が必要とされる。裁判員裁判の授業の作り方・指導方法を解説したテキスト。

2011年刊

A５判　定価 2,500円＋税　978-4-87798-457-1 C3037

関東弁護士会連合会 編

これからの法教育

さらなる普及に向けて

法教育に関して、教育現場においていかなる実践がなされてきたのか。教育現場における法教育の実情について検証するとともに、今後の教育現場と法律実務家との連携のあり方をさぐる。

2011年刊

A５判　定価 1,800円＋税　978-4-87798-496-0 C0037

新幹社

王 清一 編

在日コリアン文化と日本の国際化

日本学研究所が1990～2000年にわたり、行ってきたシンポジウムの様子をまとめる。上田正昭、司馬遼太郎、姜在彦などの講演、郭徳俊、李景朝、金愛子などの絵画を収録。（財）王利鎬日本学研究所＝発行。

A５判　定価 15,000円＋税　2005年刊
978-4-88400-046-2 C3039

林 茂澤 著

在日韓国青年同盟の歴史 1960年代から80年まで

在日二世の民族運動とアイデンティティー

1960年代の韓日条約反対闘争、反入管法闘争、70年代の韓国の反朴正熙闘争を果敢に闘った韓国青年同盟。運動に参加した著者が、在日二世の民族運動とアイデンティティーの確立について論ずる。

A５判　定価 4,500円＋税　2011年刊
978-4-88400-095-0 C3021

國分麻里 著

植民地期朝鮮の歴史教育

「朝鮮事歴」の教授をめぐって

植民地期朝鮮での歴史教育は、「韓国併合」の正当性を朝鮮人児童に理解させ、その後、朝鮮を郷土史として教授した。被支配民族の思想を支配民族の思想に近づける植民地教育の本質を問う。

A５判　定価 3,500円＋税　2011年刊
978-4-88400-093-6 C3037

金昌厚 著　李美於 訳
新幹社選書 1

漢拏山へひまわりを

済州島四・三事件を体験した金東日の歳月

中学生だった金東日女史は、1948年に起きた済州島四・三事件のさいにセーラー服のまま漢拏山にのぼった。朝鮮戦争の時は智異山でパルチザン活動をした彼女の一代記。村上尚子（解説）、文京洙（推薦）

四六判　定価 1,500円＋税　2010年刊
978-4-88400-090-5 C0036

李義則 著
新幹社選書 2

陶磁器の道

文禄・慶長の役と朝鮮陶工

近現代、日本の陶磁器は世界に誇る輸出美術品となった。だが、その歴史をひもとくと豊臣秀吉の朝鮮侵攻（文禄・慶長の役、壬辰・丁酉倭乱）の折、連行された朝鮮人陶工たちにたどりつく。

四六判　定価 1,500円＋税　2010年刊
978-4-88400-092-9 C0372

玄基榮 著　金石範 訳
新幹社選書 3

新装版 順伊（スニ）おばさん

1948年の済州島四・三事件。北村里の大量虐殺からただ一人生き残った順伊おばさん。この作品は、軍事独裁下の1978年に発表され、四・三事件の風化を止め、後の真相究明運動の引き金になった。

四六判　定価 1,600円＋税　2012年刊
978-4-88400-097-4 C0397

宋炳基 著　朴炳渉 訳

鬱陵島・独島（竹島）歴史研究

原書『鬱陵島と独島』は韓国で1999年に発刊されて以来、権威のある学術書としてロングセラーになった論文集。（本書の内容と同様の『竹島（独島）・鬱陵島歴史研究』は絶版）

A５判　定価 3,800円＋税　2009年刊
978-4-88400-087-5 C3022

内藤正中、朴炳渉 著

竹島＝独島論争

歴史資料から考える

日韓友好ののどに刺さったトゲ、竹島＝独島問題。その領有権について歴史資料を渉猟し、細部についても検討を加える。領有権問題について関心を持つ人必見の書！

四六判　定価 2,500円＋税　2007年刊
978-4-88400-068-4 C0022

宮田浩人 解説
写真集

復刻　戦ふ朝鮮

戦前・戦中のメディアは何を伝え、市民をどこに導こうとしていたのか。自戒を込めてメディアを問う、戦前資料の復刻版。巻末に詳細な関連年表と解説を付した。

A４変　定価 4,500円＋税　2007年刊
978-4-88400-053-0 C3021

大沼久夫 編著

朝鮮戦争と日本

ＧＨＱ支配下の日本は朝鮮戦争に人的・政治的・軍事的にどのように関与したのか、それぞれの専門家が新資料を駆使して解き明かす画期的な論考集。

四六判　定価 2,500円＋税　2006年刊
978-4-88400-041-7 C0022

辻子 実 著
改訂新版

侵略神社

靖国思想を考えるために

台湾・朝鮮・「満州」・シンガポール・南洋諸島など、日本のアジア侵略とともに建てられた神社の歴史的意味を考察。写真144ページ！

A５判　定価 3,000円＋税　2007年刊
978-4-88400-026-4 C0014

文京洙 著

済州島現代史

公共圏の死滅と再生

1948年に発生した済州島四・三事件などで失われた公共圏（自由で開かれた議論の場；ハーバマス）を回復する歩みこそが、韓国・済州島の現代史であった。

四六判　定価 2,500円＋税　2005年刊
978-4-88400-045-5 C0022

春木育美 著

現代韓国と女性

激変する現代韓国の社会制度、そして女性や家族はその中で、伝統的な家父長制をいかに克服しつつあるかに焦点を当てて論及。研究者並びに政策担当者、実務家必携の書。

四六判　定価 2,000円＋税　2006年刊
978-4-88400-062-2 C0036

大島裕史 著

韓国野球の源流

玄界灘のフィールド・オブ・ドリームス

ワールドベースボールクラシック（ＷＢＣ）など世界の舞台で日本を苦しめるまでに急激に成長した韓国野球の根底には在日の支えがあった。ノンフィクション力作！

四六判　定価 2,000円＋税　2006年刊
978-4-88400-063-9 C0075

青柳優子 著・編訳

朝鮮文学の知性・金起林

二度の日本留学で若き金起林は西欧の新思潮を受容し、知識人（詩人・ジャーナリスト）として植民地→解放を駆けぬけた。代表的な詩やエッセイから、文学者としての苦悩、知識人としての役割を考える。

四六判　定価 2,400円＋税　2009年刊
978-4-88400-086-8 C0098

金應教 著

韓国現代詩の魅惑

韓国人の心を知ろうとすれば、韓国の詩を読まなければ……ハングル（原文）と対訳で読む珠玉のアンソロジー＋解説。「価値の高い画期的な著作」（大村益夫氏推薦）

A５判　定価 3,500円＋税　2007年刊
978-4-88400-073-8 C0098

大村益夫 編訳

風と石と菜の花と

済州島詩人選

韓国済州島で現在も暮らしている19人の詩人たちの詩選集。絶海の孤島で済州島四・三事件、朝鮮戦争など、過酷な現代史を生きぬいてきた「島」の人々の死生観、美意識、精神世界が見えてくる。

四六判　定価 2,000円＋税　2009年刊
978-4-88400-081-3 C0098

金敬得 編著

わが家の民族教育

在日コリアンの親の思い

多様化する在日コリアン。各家庭で子どもたちのためにどのような教育を目指したかを赤裸につづる。

四六判　定価 2,500円＋税　2006年刊
978-4-88400-056-1 C0037

新幹社

富坂キリスト教センター 編

在日外国人の住民自治

川崎と京都から考える

地域社会で生きる在日外国人の住民としての権利は……。自治体改革・多民族社会化が進む中で、日本の国際化が問われている。

A５判　定価 2,000円＋税

2007年刊
978-4-88400-038-7 C0036

高全恵星 監修　柏崎千佳子 訳

ディアスポラとしてのコリアン

北米、東アジア、中央アジア

非自発的な移動による困難、悲願が達成されない苦悩、そして迫害。それぞれの地で生きたコリアンが抱きかかえる課題etc……。アメリカの若手研究者らによる本格的論文集。

四六判　定価 4,500円＋税

2007年刊
978-4-88400-061-5 C0039

韓錫圭 著

日本から「北」に帰った人の物語

「脱北者」が血の涙でつづった衝撃の実話小説。高校を卒業したての「私」が「地上の楽園」で目撃・体験してきたことをできるだけ冷静に……。推薦：坂中英徳＋黒田福美　解説：高柳俊男

四六判　定価 2,000円＋税

2007年刊
978-4-88400-071-4 C0097

坂中英徳、韓錫圭、菊池晃嘉

北朝鮮帰国者問題の歴史と課題

北朝鮮帰国事業から半世紀。帰国者９万4000人は北朝鮮でどのような処遇を受けたのか、近年やっと知られるようになってきた。私たちは帰国事業とどう向き合うのか、問われている。

四六判　定価 2,500円＋税

2009年刊
978-4-88400-088-2 C0036

原尻英樹 著

文化人類学の方法と歴史

この一冊で文化人類学がわかる！　文化人類学の学説史を丹念に読み解き、方法論の発展についても論及した、著者ならではの画期的な書！

四六判　定価 2,200円＋税

2008年刊
978-4-88400-009-7 C0039

廣畑研二 著

水平の行者　栗須七郎

初期部落解放運動の指導者にして水平社の創設者のひとり、栗須七郎の人間解放の思想と実践を新資料を駆使して解き明かした本格的評伝。巻末に詳細な年譜を付した。

A５判　定価 6,000円＋税

2006年刊
978-4-88400-064-6 C0023

姜尚中、木宮正史 編

日韓関係の未来を構想する

韓国研究の中核を担う東京大学現代韓国文化研究センターが、日韓の未来を構想。テッサ・モーリス＝スズキ、韓相震、陳昌洙 、木宮正史、金伯柱、鄭鎬碩など気鋭の研究者と学生の論文集。

四六判　定価 2,400円＋税

2013年刊
978-4-88400-101-8 C0036

ONE KOREA翻訳委員会 編訳

そばの花の咲く頃

日帝時代民族文学対訳選

朝鮮解放前の有名な金東仁、李孝石などの短編小説10編と李陸史、李相和、尹東柱などの20編の詩が対訳形式で収録。韓国の近代短編小説を確立した作家の作品が集結。発売＝草風館

A５判　定価 3,500円＋税

1995年刊
978-4-915924-63-9 C3097

鄭早苗 著

韓国の歴史と安東権氏

本書は総体としての朝鮮半島史を縦糸とし、安東権氏（たびたび最高執権者を輩出した有力両班のひとつ）を横糸に、物語風に書き下ろした東アジア史への入門書。

A５判　定価 4,500円＋税

2005年刊
978-4-88400-052-3 C0022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第１巻

朝鮮解放から四・三前夜まで

1948年、解放後の済州島で数万人が虐殺された四・三事件。『済民日報』が描いた済州島現代史。3000人の証言と800余種の資料を駆使し、「四・三」の全体像に迫る。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５判　定価 6,000円＋税

1994年刊
978-4-915924-50-9 C3022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第２巻

四・三蜂起から単独選挙まで

1948年、解放後の済州島で数万人が虐殺された四・三事件。『済民日報』が描いた済州島現代史。２巻は４月３日の民衆蜂起から５月10日の単独選挙の行方までを描く。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５判　定価 4,000円＋税

1995年刊
978-4-915924-59-2 C3022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第３巻

流血惨事への前哨戦

1948年、解放後の済州島で数万人が虐殺された四・三事件。『済民日報』が描いた済州島現代史。３巻は８・25地下選挙、南北両政府樹立を経て流血大惨事までを描く。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５　定価 4,500円＋税

1996年刊
978-4-915924-71-4 C3022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第４巻

焦土化作戦（上）

1948年、解放後の済州島で数万人が虐殺された四・三事件。『済民日報』が描いた済州島現代史。４巻は在韓米軍の撤退、麗水・順天での軍人反乱、焦土化作戦を描く。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５判　定価 4,500円＋税

1998年刊
978-4-915924-87-5 C3022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第５巻

焦土化作戦（中）

1948年、解放後の済州島で数万人が虐殺された四・三事件。『済民日報』が描いた済州島現代史。５巻は焼きつくし、殺しつくす焦土化作戦の証言を描く。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５判　定価 4,000円＋税

2000年刊
978-4-88400-010-3 C3022

「済民日報」四・三取材班 編

済州島四・三事件　第６巻

焦土化作戦（下）

済州島四・三事件で大量虐殺が行われた焦土化作戦。第６巻は翰林から済州市内での真相をつぶさに描く。この後、四・三事件は次第に終息していく。1993年度韓国記者賞受賞。全７巻。

A５判　定価 4,000円＋税

2004年刊
978-4-88400-034-9 C3022

東北アジア問題研究所 編

東アジアの新時代に向けて

東北アジアと日本との問題は、日本にとっても厳しい最も鋭角的な、目をそむけたくなるような形で提起されている。小此木政夫、佐々木隆爾、金定三、朱建栄らが、歴史の原点に立ち返って論じる。

四六判　定価 2,000円＋税

2012年刊
978-4-88400-099-8 C0031

記念論文集刊行委員会 編

日朝関係史論集

姜徳相先生古希・退職記念論文集

姜徳相先生の古希を記念して田中俊明、北島万次、朴孟洙、木村健二、朴炳渉、長田彰文、河かおる、田中正敬、高仁淑、佐野通夫、水野邦彦、金廣烈、金廣植、古庄正等の論文等を収録。

A５判　定価 12,000円＋税

2003年刊
978-4-88400-028-8 C3022

原尻英樹 著

マイノリティの教育人類学

日本定住コリアン研究から異文化間教育の理念に向けて

日本定住コリアンの生活世界に関する民族誌的実態調査を基にそれをアメリカのコリアンアメリカンとの比較、検討し、日本における異文化間教育研究に関する教育人類学的研究の有効性を論証する。

A５判　定価 3,500円＋税

2005年刊
978-4-88400-054-7 C0039

新泉社

恒木健太郎 著

「思想」としての大塚史学

戦後啓蒙と日本現代史

四六判　定価 3,800円＋税

「大塚史学」が圧倒的な力をもった1960年代までの言説に焦点を当てた検証作業をとおして、グローバル化と右傾化がパラレルに進行する危機の時代に対峙しうる「思想の力」を想起する。

2013年刊
978-4-7877-1307-0 C1010

田畑 稔 著

マルクスと哲学

方法としてのマルクス再読

A５判　定価 4,500円＋税

「マルクス主義哲学」の覆いを取り除きながら、哲学とマルクスの関係を系統的に読み解き、マルクスの思想を未来へつなぐ途を考察。前著『マルクスとアソシエーション』に続く渾身の原典再読作業。

2004年刊
978-4-7877-0400-9 C1010

植村邦彦 著

マルクスのアクチュアリティ

マルクスを再読する意味

四六判　定価 2,500円＋税

権威として祭り上げられた20世紀のマルクスではなく、試行錯誤を繰り返していた19世紀のマルクスの思想史的コンテクストを多角的に検証するなかから、21世紀におけるマルクス再読の意味を考察。

2006年刊
978-4-7877-0609-6 C1010

松田 博 著
21世紀叢書

グラムシ思想の探究

ヘゲモニー・陣地戦・サバルタン

A５判　定価 2,200円＋税

思想的鉱脈としてのグラムシ『獄中ノート』は、没後70年を経てもまだ充分に掘り尽くされているとはいえない。「グラムシによってグラムシを超える」行路を探究する著者渾身の最新論集。

2007年刊
978-4-7877-0715-4 C1010

小倉英敬 著

マリアテギと アヤ・デ・ラ・トーレ

1920年代ペルー社会思想史試論

A５判　定価 3,500円＋税

国民国家形成途上の1920年代ペルーにおいて、ラテンアメリカの解放を希求し、社会変革の思想と運動が立ち上がる過程を追い、その歴史的意味を検証する。

2012年刊
978-4-7877-1212-7 C1022

斉藤日出治 著
21世紀叢書

グローバル化を超える市民社会

社会的個人とヘゲモニー

A５判　定価 2,300円＋税

古典思想家マルクス、グラムシ、ルフェーヴルの市民社会認識を援用しながら、グローバリゼーションの諸現象を社会思想史の文脈で読み解き、オルタナティブな歴史的選択の可能性を追求する。

2010年刊
978-4-7877-0913-4 C1036

郭基煥 著

差別と抵抗の現象学

在日朝鮮人の〈経験〉を基点に

A５判　定価 3,200円＋税

受苦者の「黙して語らない経験」。そこに深く沈潜して、被差別体験、差別に誘惑される条件、抵抗の意志の生成過程など、差別問題への社会哲学的／人間学的な新地平を切りひらく。

2006年刊
978-4-7877-0600-3 C1010

ハワード・ゼア 著　西村春夫他 監訳

修復的司法とは何か

応報から関係修復へ

A５判　定価 2,800円＋税

従来の応報的司法で置き去りにされてきた犯罪被害者の救済、加害者の真の償いと更生、傷ついたコミュニティの修復をめざす新しい司法の試みを紹介し、その理念を追求する。

2003年刊
978-4-7877-0307-1 C1032

渡辺 芳 著

自立の呪縛

ホームレス支援の社会学

四六判　定価 3,800円＋税

ホームレスの増加と可視化が日本の社会問題となり、行政による就労自立支援施策が進められるなかで、何が問題となっているのか。実践的フィールドワークから支援関係を軸に社会学的に考察する。

2010年刊
978-4-7877-1002-4 C1036

ヨハンナ・オクサラ 著　関 修 訳

フーコーをどう読むか

四六判　定価 2,000円＋税

権力論から性／自由論まで、鍵となるテクストのエッセンスを年代順に並べ、フーコー思想の全体像を読者とともに解読。定評ある英グランタ出版の「How to Read」シリーズ、フーコー入門書の決定版。

2011年刊
978-4-7877-1110-6 C1010

T. パーソンズ 著　武田良三 監訳
新装

社会構造とパーソナリティ

A５判　定価 7,000円＋税

社会学・心理学両分野において、きわめて重要な位置にあるパーソンズの、理論的個別的な重要論文を網羅したパーソナリティ論集。

2011年刊
978-4-7877-1105-2 C1036

ニック・クロスリー 著　西原和久 訳

間主観性と公共性

社会生成の現場

A５判　定価 4,200円＋税

近年、社会学や哲学で注目されている社会の見方＝「間主観性」概念を明快に整理し、この概念のもつ社会理論としての可能性を問うた本格的な解説書。ピエール・ブルデュー論も収録。

2003年刊
978-4-7877-0310-1 C1036

ニック・クロスリー 著　西原和久ほか 訳

社会的身体

ハビトゥス・アイデンティティ・欲望

A５判　定価 3,800円＋税

心身二元論を超え、心身の合一、人間と環境の関連を視野におさめた新しい社会学を提唱する。心身二元論に分断される以前の「共に生きられる身体」に関する知見にあふれた書。

2012年刊
978-4-7877-1201-1 C1036

ニック・クロスリー 著　西原和久 監訳

社会学キーコンセプト

「批判的社会理論」の基礎概念57

A５判　定価 3,800円＋税

最新の社会学・社会理論を読み解くために必要不可欠な基礎概念を徹底解説。論争点や関連概念がよくわかる。社会学用語集の新たなスタンダード。

2008年刊
978-4-7877-0811-3 C1036

ニクラス・ルーマン 著
ニクラス・ルーマン講義録［1］

システム理論入門

A５判　定価 4,200円＋税

ルーマン自身がシステム理論を解説した注目の講義録（全13回）の全訳。初学者を対象に入門的性格を重視して解説に徹し、システム理論の成り立ちとその意義を明らかにする。

2007年刊
978-4-7877-0703-1 C1036

ニクラス・ルーマン 著
ニクラス・ルーマン講義録［2］

社会理論入門

A５判　定価 4,200円＋税

「社会」とは何かを徹底的に問うた入門講義の全訳。ルーマンの社会システム理論の内容と意義をわかりやすく解説していく。

2009年刊
978-4-7877-0900-4 C1036

A. トゥレーヌ 著　梶田孝道 訳
新装

声とまなざし

社会運動の社会学

A５判　定価 3,800円＋税

＜社会の解体＞にいち早く注目し、新しい社会の創造とアクターに関する理論・方法論を提示した、フランス社会学を代表するトゥレーヌの名著。「アクションの社会学」のマニフェストといえる書。

2011年刊
978-4-7877-1021-5 C1036

フランソワ・デュベ 著　山下雅之 監訳

経験の社会学

A５判　定価 2,800円＋税

「社会」はもはや、統合された一つのシステムには還元されない。＜社会的排除＞と＜社会の解体＞を生きる、われわれの経験と主体性をリアルに描き出す。

2011年刊
978-4-7877-1010-9 C1036

新泉社

谷口真人、谷口智雅、豊田知世 編著

アジア巨大都市

都市景観と水・地下環境

発展段階の異なるアジアの７都市――東京・大阪・ソウル・台北・バンコク・ジャカルタ・マニラ。さまざまな《都市と水の風景》を写真で比較し、都市の発展と水・地下環境の関連をさぐる。

2011年刊

Ｂ５判　定価 3,800円＋税　978-4-7877-1103-8 C1036

赤嶺 淳 著

ナマコを歩く

現場から考える生物多様性と文化多様性

鶴見良行著『ナマコの眼』から20年。地球環境問題が重要な国際政治課題となり、絶滅危惧種として資源の減少と利用規制が議論されるなか、グローバリゼーション下のナマコを追う。村井吉敬氏推薦

2010年刊

四六判　定価 2,600円＋税　978-4-7877-0915-8 C1036

赤嶺 淳 編

グローバル社会を歩く

かかわりの人間文化学

野生生物や少数言語の保護などのグローバルな価値観が地球の隅々にまで浸透していくなかで生起している問題を、人類学者、社会学者らが６章のフィールドワークの現場から問い直す。

2013年刊

四六判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-1302-5 C1036

高倉浩樹 編

極寒のシベリアに生きる

トナカイと氷と先住民

温暖化の影響が危惧される極北の地で、人類は寒冷環境にいかに適応して生活を紡いできたのか。歴史から現在の人々の暮らしと自然環境までをわかりやすく概説したシベリア入門書。

2012年刊

四六判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-1112-0 C1039

宇井眞紀子 写真・文

アイヌ、風の肖像

北海道・二風谷の伝統的な茅葺きのチセ（家）で、共同生活を送る老若男女。自然と調和し生きるアイヌ民族の豊かな精神生活を20年間にわたり記録し続けた珠玉の写文集。各紙誌で絶賛。

2011年刊

Ａ５判　定価 2,800円＋税　978-4-7877-1007-9 C0036

松浦範子 文・写真

クルド人のまち

イランに暮らす国なき民

国境で分断され、歴史に翻弄され続けた先住民族の地を繰り返し訪ねる写真家が、痛ましい現実の中でも矜持をもって日々を大切に生きる人々の姿を丹念に描き出す。大石芳野氏、川本三郎氏ほか書評。

2009年刊

Ａ５変　定価 2,300円＋税　978-4-7877-0820-5 C0036

上野清士 著

ラス・カサスへの道

500年後の〈新世界〉を歩く

ラス・カサスの足跡をくまなく訪ね歩くなかで、「コロンブス後の500年間」の歴史の闇と中南米の現在を照射する出色の紀行文学。各紙誌にて絶賛の書評多数掲載。池澤夏樹氏推薦！

2008年刊

Ａ５判　定価 2,600円＋税　978-4-7877-0805-2 C0036

青柳まちこ 編・監訳

「エスニック」とは何か

エスニシティ基本論文選

気鋭の人類学者の基本論文集。バルト「エスニック集団の境界」、イサジフ「さまざまなエスニシティ定義」、グード「都市におけるエスニック集団」、コーエン「部族からエスニシティへ」ほか。

1996年刊

Ａ５判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-9604-2 C1036

小林孝広、出口雅敏 編著

人類学ワークブック

フィールドワークへの誘い

人類学の基本概念や用語を解説し、フィールドワークの具体例を実践的に論じながら、ワークブックスタイルで実地調査の方法論を身につけることのできる入門書。

2010年刊

Ａ５判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-0804-5 C1039

宮内泰介 編

なぜ環境保全はうまくいかないのか

現場から考える「順応的ガバナンス」の可能性

正しいしくみで進めてもうまくいかない環境保全。地域社会の多元な声を尊重しながら試行錯誤を重ね、柔軟に変化させるあり方を各地の現場から考える。

2013年刊

四六判　定価 2,400円＋税　978-4-7877-1301-8 C1036

大鹿 卓 著　石牟礼道子 解題

新版

谷中村事件

ある野人の記録・田中正造伝

足尾銅山鉱毒問題を天皇に直訴後、正造は鉱毒・水害対策で遊水池にされる谷中村に移り住んだ。行政による強制破壊の策謀の中で、村の復活を信じる正造と農民のぎりぎりの抵抗を描ききった名作。

2009年刊

四六判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-0914-1 C0095

G.F.ジョンソン 著　舩橋晴俊ほか 監訳

核廃棄物と熟議民主主義

倫理的政策分析の可能性

原発の稼働とともに増え続ける使用済み核燃料。その処理という難問にどう向き合っていくのか。原発推進国カナダにおける国民協議のあり方を検証する。

2011年刊

四六判　定価 2,800円＋税　978-4-7877-1108-3 C1036

東北大学震災体験記録プロジェクト 編

聞き書き 震災体験

東北大学 90人が語る3.11

今は一見平穏に日常生活を送る隣人たちは、震災にどのように遭遇し、その後の日々を過ごしたのだろうか。一人ひとりの声に耳を傾けてはじめて知りえた多様な震災体験の記憶。

2012年刊

Ａ５判　定価 2,000円＋税　978-4-7877-1200-4 C1036

アウスゲイル・ジョウンソン 著

アイスランドからの警鐘

国家破綻の現実

世界的な金融帝国を築き上げた北欧の小国が、リーマン・ショックの激震地となり、国家破綻に至るまでの衝撃の過程を、同国最大の銀行のエコノミストが内側から克明に記した警告の書。

2012年刊

四六判　定価 2,600円＋税　978-4-7877-1217-2 C1033

李升熙 著

韓国併合と日本軍憲兵隊

韓国植民地化過程における役割

帝国日本の植民地拡張とともに、その機構と権限を増大していく日本軍憲兵隊。憲兵による治安維持、民衆弾圧の様相を通して、韓国併合の過程を考察する。

2008年刊

Ａ５判　定価 4,500円＋税　978-4-7877-0815-1 C1036

渡部周子 著

〈少女〉像の誕生

近代日本における「少女」規範の形成

近代国家形成途上にあった明治国家が〈少女〉たちに求めたジェンダー規範とは。新進の研究者が膨大な資料から女性史研究の空白部を埋める画期的論考。若桑みどり氏推薦、女性史青山なを賞受賞作。

2007年刊

四六判　定価 3,500円＋税　978-4-7877-0700-0 C1036

白井千晶、岡野晶子 編著

子育て支援 制度と現場

よりよい支援への社会学的考察

政府の少子化対策はなぜ有効に機能しないのか、今、どのような支援が求められているのか。出産・子育てがますます高リスクとなるなか、当事者の視点から社会学的に明らかにする。

2009年刊

Ａ５判　定価 2,500円＋税　978-4-7877-0902-8 C1036

加藤裕康 著

ゲームセンター文化論

メディア社会のコミュニケーション

ゲームセンターとはいかなる空間なのか。徹底した社会調査から、自律的なコミュニケーションのありようと、今日の若者文化の特質を明らかにしていく。毎日新聞書評、張競氏。

2011年刊

四六判　定価 2,800円＋税　978-4-7877-1018-5 C1036

柘植書房新社

門野晴子 著

発達障がいと思春期

私はハッとした。日本の母親がどういう状況で障がい児・者を育てているのか詳しく知らなかった。オーティズム・スペクトラムの子どもも危ないが、母親・先生たちも崖っぷちなのだ。

四六判　定価 1,700円＋税

2013年刊
978-4-8068-0645-5 C0037

石川尚子 著

言葉ひとつで子どもが変わる

やる気を引き出す言葉　引き出さない言葉

言っていますか？
（やる気を引き出す言葉）
言ってませんか？
（やる気を引き出さない言葉）
子どものやる気スイッチはどこにある？

四六判　定価 1,500円＋税

2013年刊
978-4-8068-0640-0 C0037

丹野節子 著

おうちでできる
発達障害のある子の子育て

発達障害のある子の生活のしづらさは、一人ひとり違います。ちょっとしたつまづきを克服するヒントが必要です。その積み重ねが必要です。教育現場をめざす学生に必読の書です。

B５判　定価 1,800円＋税

2011年刊
978-4-8068-0619-6 C0037

西堀 昭 著
日仏会館教養講座

日本の近代化と
グランド・ゼコール
黎明期の日仏交流

日仏の交流は日本の近代化に重要な役割を果たした。製鉄、鉱山、造船、機械、軍事、近代法他、日本の近代化の基礎となった。

四六判　定価 2,000円＋税

2009年刊
978-4-8068-0586-1 C0020

西岡 智 著

荊冠の志操

西岡智が語る部落解放運動私記

狭山差別事件の闘いのリーダーとして有名な西岡智が語る、部落解放運動私記。同和問題にからむ問題をどのように克服するのか。現代の「水平社宣言」。被差別民衆の創造力をバネに挑戦する。

四六判　定価 2,800円＋税

2007年刊
978-4-8068-0571-7 C0030

久保井規夫 著

図説　食肉・狩漁の文化史

殺生禁断から命を生かす文化へ。狩猟、狩漁の歴史から謎のサンカ、アイヌの狩猟、そして、仏教の殺生肉食禁止、その後、現在まで。

A５判　定価 4,500円＋税

2007年刊
978-4-8068-0550-2 C0030

久保井規夫 著

絵で読む
大日本帝国の子どもたち

先の戦争で戦場に誘った教育・遊び・世相文化をオールカラーの写真と正確な解説で送ります。

A５判　定価 2,800円＋税

2006年刊
978-4-8068-0553-3 C0037

久保井規夫 著

図説　病の文化史

病の歴史は偏見と差別の歴史です。病に対する恐れは祟りか罪か、恐れが差別に、今も続いています。

A５判　定価 3,600円＋税

2006年刊
978-4-8068-0549-6 C0030

久保井規夫 著

絵で読む
紫煙・毒煙「大東亜」幻影
日本の戦争と煙草・阿片・毒煙

「大東亜」に燻る煙は、煙草であり、阿片であり、毒ガスである。「大東亜」支配にこの煙はどのように作用しているのか。隠された負の歴史を明らかにする。

A５判　定価 2,500円＋税

2007年刊
978-4-8068-0572-4 C0030

中野智明 写真

アフリカ四半世紀の物語を撮る

アフリカを撮り続けたフリーの写真家が撮ったアフリカ。ルワンダ取材中、飛行機事故死を思い出しつつ。アフリカの人々の写真を集めた。

A５判　定価 2,000円＋税

2011年刊
978-4-8068-0609-7 C0030

さかぐちとおる 著

メキシコ
世界遺産と音楽舞踊を巡る旅

1992年から15年にわたってメキシコを訪れ、60ヶ所以上の都市や村を訪れた。世界遺産や音楽や民俗舞踊、祭りを題材にした紀行文である。メキシコは陽気でラテン気質の居心地の良いところである。

A５判　定価 2,000円＋税

2012年刊
978-4-8068-0637-0 C0026

石橋 純 著
地球文化紀行

熱帯の祭りと宴

カリブ海域音楽紀行

カリブ海域に綺羅星のごとく生まれでるリズム。地域の人々の歌・音楽・舞踏・宴・祭・を解き明かす。

四六判　定価 2,300円＋税

2002年刊
978-4-8068-0479-6 C0026

本橋 仁、本橋ますみ 著

原発立地・大熊町民は訴える

福島原発立地・大熊町民の原発事故被曝者の生きる権利を切々とした訴えである。生活をどうするのか、除染（移染）は不可能である、新しい住居、町を新しく建設しなければならない。

四六判　定価 2,400円＋税

2012年刊
978-4-8068-0631-8 C0030

奥 保喜 著

冷戦時代世界史

1945年から46年間の冷戦時代からすでに15年以上経過した。冷戦時代の教訓は現在の国際政治、経済、文化及び各地域を考えるうえで多くの示唆を与えてくれる。

四六判　定価 4,200円＋税

2009年刊
978-4-8068-0594-6 C0031

ダミアン・ミレーほか 著

世界の貧困をなくすための
50の質問
途上国債務と私たち

無慈悲で冷酷な金融システム。でも、私たちはシステムの歯車なんかじゃない。ニンゲンだ。

A５判　定価 2,000円＋税

2006年刊
978-4-8068-0540-3 C0030

フランソワ・ウタールほか 著

別のダボス

新自由主義を進めるダボス会議に対抗し世界の研究者、運動家が多様な視点から討論し、その結果を文章化したものです。世界社会フォーラムの出発点になった貴重な本です。

四六判　定価 1,800円＋税

2002年刊
978-4-8068-0482-6 C0030

ダニエル・ベンサイド 著　シャルブ 絵

マルクス［取扱説明書］

マルクスを読まず、読み返さず、語らず。それは間違い。それは、理論的、哲学的、政治的責任に背くより悪い――ジャック・デリダ

A５判　定価 3,200円＋税

2013年刊
978-4-8068-0647-9 C0030

イラン・パペ 語り　ミーダーン 編訳

イラン・パペ、
パレスチナを語る
「民族浄化」から「橋渡しのナラティヴ」へ

イラン・パペ初の日本語テキスト。パレスチナ／イスラエル双方からナショナリズムを乗り越える。「橋渡しのナラティヴ」へ向けた対話の模索。

四六判　定価 2,800円＋税

2008年刊
978-4-8068-0583-0 C0031

柘植書房新社

ミシェル・ワルシャウスキー 著

イスラエル＝パレスチナ民族共生国家への挑戦

和平交渉とともに激化する国家テロ。民族共生国家は可能か。

四六判　定価 2,200円＋税　2003年刊　978-4-8068-0496-3 C0030

樋口陽一 著

「共和国」フランスと私

60年安保の秋フランス留学生としてパリに渡ってから47年、今、日仏の共通テーマ人権、歴史、国家を語りつくす。

四六判　定価 1,800円＋税　2007年刊　978-4-8068-0552-6 C0030

ジルベール・アシュカル 著　岩田敏行 編

中東の永続的動乱

イスラム原理主義、パレスチナ民族自決、湾岸・イラク戦争

第一次中東戦争から60年。イスラム原理主義の現実は？　パレスチナ和平の道すじは？　2つの湾岸戦争は、なぜ、どのようにして起きたのか？　イラクはどこへ行くのか？

四六判　定価 3,500円＋税　2008年刊　978-4-8068-0584-7 C0030

工藤一郎 著

中国の図書情報文化史

書物の話は中国の歴史の文化史から始まる。印刷の歴史も中国から始まる。国家の歴史から民衆の文化史への発展は文化の大転換であった。歴史的文献を検証していく。

四六判　定価 1,800円＋税　2007年刊　978-4-8068-0542-7 C0020

ドラガナ・ポポヴィッチほか 著

ユーゴ内戦後の女たち

内戦後、ユーゴの女たちはどのように生きているのか。戦争は戦後ほど大変です。何が変わり、これからどうするのか。これこそが大切だ。

四六判　定価 2,000円＋税　2005年刊　978-4-8068-0523-6 C0030

小林英夫 編著

満洲　その今日的意味

満洲国の建設は、戦後日本資本主義の原型となった。いわゆる「日本株式会社」である。現在、日本に求められているものは、過去の経験の精査なしには成立し得ない。

四六判　定価 1,800円＋税　2008年刊　978-4-8068-0575-5 C0021

レオン・トロツキー 著

バルカン戦争

今日なおバルカン問題の根底にある民族問題解決の道筋とはなにか。

A５判　定価 6,500円＋税　2002年刊　978-4-8068-0483-3 C0030

ギーター・アラヴァムダン 著　鳥居千代香

インド
姿を消す娘たちを探して

インドは伝統的に男児好みの国で、女児は生後直後に殺されていた。医療技術と医療機器のハイテク化により選択中絶されるようになり、法律で規制されたが、未だに女子人口が減り続けている実態に迫る。

四六判　定価 2,200円＋税　2012年刊　978-4-8068-0635-6 C0035

小林英夫 編著　李光宰 著

朝鮮・韓国工業化と電力事業

日本の学会には、韓国の経済発展の基礎が日本の植民地時代の工業化にあると主張する大きな流れがある。しかし実態は、朝鮮戦争で崩壊した朝鮮経済であった。

A５判　定価 3,000円＋税　2011年刊　978-4-8068-0617-2 C3033

サイイダ・S.ハミード 著　鳥居千代香 訳

インドの女性たちの肖像

経済大国の中の伝統社会

朝日新聞「ひと」の欄に著者とこの本が紹介された。インド政府の「計画委員会」委員として活動している。本書は実際にあった事件で、著者が取り扱った事件である。

四六判　定価 2,500円＋税　2007年刊　978-4-8068-0568-7 C0036

中村欽哉 著

ソウル　日帝下の遺跡を歩く

日帝の下の遺跡を歩く。日帝の傷跡はじっと立ち止まって見なければ解からない。

四六判　定価 2,000円＋税　1998年刊　978-4-8068-0409-3 C0036

ダニエル・ベンサイド 著　湯川順夫 訳

21世紀マルクス主義の模索

権力を取らずに世界を変えることはできるのか？　68年世代の学者で運動家であるベンサイドが反論する。新しい反資本主義の流れが始まったフランスの中心的人物が語る新たなマルクス主義。

四六判　定価 3,800円＋税　2011年刊　978-4-8068-0625-7 C0030

金浩鎮 著　小針 進、羅京洙 訳

韓国歴代大統領とリーダーシップ

韓国大統領選挙は、なぜ熱い？　韓国の大統領の座は「大権」と呼ばれる。されだけに、大権争いは命がけで必死の泥沼戦になる。歴代大統領の分析を行ない、その特徴を明らかにする。

A５判　定価 4,500円＋税　2007年刊　978-4-8068-0574-8 C0031

フィリップ・ピニャール 著　杉村昌昭 訳

反資本主義宣言

フランスＮＰＡの挑戦

ソ連崩壊後、新たに出発したヨーロッパ社会運動は今、反資本主義をかかげ大きな流れとなった。フランスで新たに出発した反資本主義新党（ＮＰＡ）とはなにか。

四六判　定価 1,800円＋税　2011年刊　978-4-8068-0621-9 C0030

くどうひろし 著

中国革命の真実

過渡期への手付

植民地の時代、阿Ｑの時代、辛亥革命、中国革命、文化大革命、改革開放、その事変は中国共産党の正史とはかなり違う。今中国の近代史は再検討されるべきである。

四六判　定価 1,800円＋税　2011年刊　978-4-8068-0622-6 C0022

アン・ディクソン 著

第四の生き方

自分を生かすアサーティブネス

自分を表現しながら、相手も大切にする新しい生き方、それはアサーティブネスである。より相手を理解し、また自分を理解してももらうことによって新しい人間関係が作られる。

四六判　定価 1,800円＋税　1998年刊　978-4-8068-0412-3 C0030

小林善彦 著

「知」の革命家ヴォルテール

卑劣なやつを叩きつぶせ

フランスを革命に導いた「知」の巨人ヴォルテール。旧体制を改革するために市民として彼がとった行動、彼の思想を明らかにする。

四六判　定価 2,400円＋税　2008年刊　978-4-8068-0589-2 C0010

佐藤裕一 著

鉄道人身事故データブック 2002-2009

鉄道事業者が国交省に毎月報告する「運転事故等整理表」を行政文書開示請求によって国交省が開示したものである。鉄道自殺の増加傾向が不気味である。

A５判　定価 2,400円＋税　2011年刊　978-4-8068-0620-2 C0036

同時代社

植草一秀、斎藤貴男 著

消費税増税「乱」は終わらない

消費税増税法をめぐる政治の混乱、原発再稼働、オスプレイ配備――。官僚・米国・資本に隷従する政治を許さず。悪魔の税制＝消費税増税を許さず。気鋭の論客による増税法廃止への道筋。

四六判　定価 1,400円＋税　2012年刊
978-4-88683-731-8 C0036

谷 久光 著

朝日新聞の危機と「調査報道」

原発事故取材の失態

「なぜ現場に行かないのか」報道局長室にも声があがった――。「調査報道」とは権力者たちの疑惑・嘘をジャーナリズムが自らの責任で調査し、知る権利に応える行為をいう。

四六判　定価 2,000円＋税　2012年刊
978-4-88683-724-0 C0036

三浦 進 著

明治の革命

自由民権運動は「敗北」したのではない。現代にも続く、人民運動の「出発点」であった――。自由党解党までの壮大な政治史を描く。

四六判　定価 1,800円＋税　2012年刊
978-4-88683-722-6 C0021

梶原公子 著

なぜ若者は「自立」から降りるのか

しあわせな「ひも婚」へ

「コミュニケーション能力」が必須とされる現代で、その価値観を拒否し、「不登校」や「ひきこもり」「ゆるくまったり生きたい」と願う若者たち――。彼らの感性から見えるものとは何か。

四六判　定価 1,600円＋税　2012年刊
978-4-88683-720-2 C0036

宮崎 学 著

続・突破者

衝撃のデビューから15年。ベストセラー自伝の書き下ろし続編！　奈落の闇を、俺は、野蛮の声をあげて泳いできた。孤立を恐れず、進むほかないだろう。

四六判　定価 1,800円＋税　2010年刊
978-4-88683-686-1 C0036

佐藤 優 著　宮崎 学 コーディネーター

佐藤優　国家を斬る

「国家主義者」佐藤優が「国家」と闘う論理。「官僚階級」による収奪の構造を衝く。「左翼」との、少し分け入った対話。

四六判　定価 1,143円＋税　2007年刊
978-4-88683-615-1 C0036

大田昌秀 著

こんな沖縄に誰がした

普天間移設問題最善・最短の解決策

日米両政府合作によってつくられた現実を、無視しつづける鉄面皮はもう許されない。海外移設への具体的道を提示する！

四六判　定価 1,900円＋税　2010年刊
978-4-88683-685-4 C0036

田中三郎 著

フィデル・カストロの「思索」

人類の経験を背負う人

党機関紙「グランマ」に掲載されたカストロの言葉の数々を、註キューバ大使としてカストロを間近に見た著者が紹介する。大病から復活し、今なお意欲的に執筆するカストロの「思索」とは。

四六判　定価 1,900円＋税　2011年刊
978-4-88683-705-9 C0036

永瀬一哉 著

クメール・ルージュの跡を追う

ジャングルに隠れたポル・ポト秘密司令部

1979年から1985年まで、カンボジア・タイ国境付近に設置されていた「二つ」の「第一三一局」――。所在地不明だったポル・ポト秘密司令部に外国人として初めて足を踏み入れた渾身の調査記録。

四六判　定価 1,500円＋税　2012年刊
978-4-88683-725-7 C0036

安斎育郎 著
増補改訂版

家族で語る食卓の放射能汚染

食品汚染が心配。どう対処したらいいの？　お母さんたちの疑問に答え、放射性物質、放射線、放射能などの必要知識を解説！　チェルノブイリ事故の防護対策を活かし、福島原発事故の現状を増補。

四六判　定価 1,200円＋税　2011年刊
978-4-88683-696-0 C0036

小松良郎 著
新訂版

三鷹事件

名著復刊、戦後最初の政治的冤罪事件に迫る。「忘れてはいけないことはたくさんある。この事件はまさしくその筆頭だ」森達也氏推薦！

四六判　定価 1,500円＋税　2011年刊
978-4-88683-693-9 C0036

アイリス・チャン 著　巫召鴻 訳

ザ・レイプ・オブ・南京

第二次世界大戦の忘れられたホロコースト

論争をよんだ《全米ベストセラー》話題の書　完全翻訳版ついに刊行！

四六判　定価 2,000円＋税　2007年刊
978-4-88683-617-5 C0022

巫召鴻 著　山田正行 解説

「ザ・レイプ・オブ・南京」を読む

完全翻訳版『ザ・レイプ・オブ・南京』読者のための案内書。アイリス・チャンは何を訴えているのか？　訳者による詳細な「註釈」と批判に答えるチャンの「公開書簡」を収録。

四六判　定価 1,500円＋税　2007年刊
978-4-88683-618-2 C0022

松林要樹 著

ぼくと「未帰還兵」との２年８ヶ月

「花と兵隊」制作ノート

地獄のビルマ戦線を生きぬいた元日本兵。なぜ、現地での生活を選んだのか？　彼らの生きた人生は一体どういうものだったか？　もうひとつの「戦後」の記録。

四六判　定価 1,600円＋税　2009年刊
978-4-88683-656-4 C0036

纐纈 厚 著

「日本は支那をみくびりたり」

日中戦争とは何だったのか

「日本は支那をみくびりたり」――（昭和天皇）天皇の悔いは、対中国認識の誤りの原点であった。日中間に潜在する歴史認識の乖離を埋める。

四六判　定価 1,900円＋税　2009年刊
978-4-88683-648-9 C0021

岩垂 弘 著

ジャーナリストの現場

もの書きをめざす人へ

「朝日新聞記者であった著者の37年間に及ぶ評論集。一記者の自分史であるばかりか昭和史にもなっている。その烈語は本書の価値を一層高めた」色川大吉。ジャーナリズムの原点がここにある！

四六判　定価 2,800円＋税　2011年刊
978-4-88683-706-6 C0036

斎藤貴男 著

カナリアが沈黙するまえに

斎藤貴男書評選集2004－2008

憤怒の貧困砂漠を行く。そこで出会った200冊。偽装・堕落・崩壊・追従・卑劣・傲慢いっさいを突き抜ける途を探れ！

四六判　定価 1,800円＋税　2008年刊
978-4-88683-635-9 C0036

斎藤貴男 著

人間選別工場

新たな高校格差社会

「学校の個性化」って何だ！　構造改革のもとですすむ若者たちの選別・切り捨ての実態をつぶさに描く。

四六判　定価 1,500円＋税　2005年刊
978-4-88683-558-1 C0036

同時代社

ピョートル・クロポトキン 著　大窪一志 訳

相互扶助再論

支え合う生命・助け合う社会

名著『相互扶助論』を、人間と社会のために、深化・発展させた関連論文「いま求められている倫理」「自然の道徳」を初訳、「進化論と相互扶助」「アナキズムの道義」を新訳し収録。

四六判　定価 3,000円＋税

2012年刊
978-4-88683-732-5 C0030

ピョートル・クロポトキン 著　大杉 栄 訳
増補修訂版

相互扶助論

新自由主義と自己責任論の残した破局のあとに「相互扶助」は人間と社会の再生をかけたキーワードにちがいない。20世紀初頭に誕生した名著は、この時代にこそ切実に求められている。

四六判　定価 3,000円＋税

2012年刊
978-4-88683-723-3 C0030

松平直彦 著

資本主義終焉の実相

新時代への展望

赤軍派破産の総括と、釜ヶ崎での闘いから40年。社会の崩壊と国家の機能不全をもたらすメカニズムの解明に挑戦し、マルクス主義の現代的発展をめざす意欲作。

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-88683-729-5 C0030

ダニエル・ベンサイド 著　渡部 實 訳

未知なるものの創造

マルクスの政論

人類本史への曙光＝パリ・コミューン。マルクスのフランス三部作が、現代に呼びかけるものは何か。

四六判　定価 2,000円＋税

2013年刊
978-4-88683-746-2 C0036

アントニオ・ラブリオーラ 著　小原耕一、

社会主義と哲学

ジョルジュ・ソレルへの書簡

ヨーロッパ・マルクス主義を理解する、格好の古典的文献。百年余りの時をへた現代においても、重層的・複合的な発展をとげたラブリオーラの哲学思想が私たちの共感を呼び起こす。

四六判　定価 3,000円＋税

2011年刊
C0036

アントニオ・ラブリオーラ 著　小原耕一 訳

思想は空から降ってはこない

新訳・唯物史観概説

若き日のレーニンやトロッキーの大きな感動を与え、グラムシは「ラブリオーラの哲学的な問題提唱を圧倒的地位にまで引き上げること」を訴えた。

四六判　定価 3,000円＋税

2010年刊
978-4-88683-667-0 C0030

山川 均、大杉 栄 著　大窪一志 編

アナ・ボル論争

美を乱調に求める大杉栄。運動の方向転換を説く山川均。大正期に熱く闘わされたアナ・ボル論争の全論文を収録。「アナ・ボル論争再見」、宮崎学のアナ・ボル論「アナ的ボルとボル的アナ」を付す。

四六判　定価 3,500円＋税

2005年刊
978-4-88683-565-9 C0036

津田雅夫 著

戸坂潤と〈昭和イデオロギー〉

「西田学派」の研究

昭和初期、戸坂潤や三木清や小林秀雄、さらには西田幾多郎や和辻哲郎といった人物が織り成した＜論議世界＞とはいかなるものだったのか。

A５判　定価 3,500円＋税

2009年刊
978-4-88683-645-8 C3010

清 眞人、津田雅夫、亀山純生、室井美千博

遺産としての三木清

哲学者・三木清が残した＜遺産＞とは何か。「遺産相続とは、遺産を受け入れるばかりでなく、それをほかの仕方で投げ直す（＝再起動させる）ことである」（ジャック・デリダ）

A５判　定価 3,800円＋税

2008年刊
978-4-88683-620-5 C3010

坂本和子 著

織物に見るシルクロードの文化交流

トゥルファン出土錦綾を中心に

トゥルファン出土の多様な絹織物の実物を手掛かりに、その技術発展とデザインの変化を辿ることによって、ユーラシア史上における壮大な文化交流の一端を明らかにする。

Ｂ５判　定価 5,700円＋税

2012年刊
978-4-88683-719-6 C3072

小池由美子 著

学校評価と四者協議会

草加東高校の開かれた学校づくり

生徒・保護者・地域住民・教職員がともに力を合わせた「学校づくり」の実践記録。「学校評価」の真のあり方を示す。それは、上から押しつけられるものではない。

四六判　定価 1,500円＋税

2011年刊
978-4-88683-689-2 C0037

浦野東洋一、神山正弘、三上昭彦 編

開かれた学校づくりの実践と理論

全国交流集会一〇年の歩みをふりかえる

参加と共同の学校づくり10年の成果をここに収録！　〔資料〕全10回プログラム・主要関連法令・主要参考文献一覧

四六判　定価 2,200円＋税

2010年刊
978-4-88683-688-5 C0037

全国民主主義教育研究会 編

現代教育の思想水脈

漂流する日本の思想・教育界に投じられた珠玉の論考集。古在由重、藤田省三、家永三郎、加藤節、岩井忠熊、宇田川宏、浅井基文、他。

A５判　定価 2,800円＋税

2010年刊
978-4-88683-678-6 C0037

三上和夫 、湯田拓史 編著

地域教育の構想

教育理論および政策研究を地域と社会の視点から、歴史的、多角的に据え直す集団的研究の試み。

A５判　定価 4,200円＋税

2010年刊
978-4-88683-669-4 C3037

湯田拓史 著

都市の学校設置過程の研究

阪神間文教地区の成立

都市社会における　「教育の公共性」の変容を、　学校設置過程を通して検証し、　教育の社会管理の方途を導き出す。

A５判　定価 3,200円＋税

2010年刊
978-4-88683-668-7 C3037

黒崎 勲 著

教育学としての教育行政＝制度研究

戦後教育を支えてきた２大言説「戦後教育学」と「国民の教育権論」の批判的受容と新たなる展開の試み。

四六判　定価 2,500円＋税

2009年刊
978-4-88683-655-7 C3037

黒崎 勲 著
増補版

教育の政治経済学

ハイエク、ブローデルの社会理論を基に、学校選択理念の可能性を展望した〈旧版〉に学校選択批判を諸説を考察する〈補説〉を加えて再刊する。

A５判　定価 3,800円＋税

2006年刊
978-4-88683-591-8 C3037

リチャード・エルモア 著　神山正弘 訳

現代アメリカの学校改革

教育政策・教育実践・学力

経済のグローバル化の中で、市場化・民営化の攻勢にさらされる日・米の公教育。「達成に基づく教育の説明責任」とは？

A５判　定価 3,000円＋税

2006年刊
978-4-88683-572-7 C3037

七つ森書館

高木仁三郎 著

高木仁三郎著作集　全12巻

原子力時代の末期症状による大事故の危険性と、放射性廃棄物がたれ流しになっていくことに対する危惧の念を遺して、2000年に亡くなった市民科学者・高木仁三郎の業績が、今、求められる。

2004年刊

A５判　定価 78,000円＋税　978-4-8228-3000-7 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集１

脱原発へ歩みだすⅠ

『スリーマイル島原発事故の衝撃』『チェルノブイリ――最後の警告』『原発事故――日本では？』『ヨーロッパ反原発の旅』『チェルノブイリ月誌』ほかを収録。解説：久米三四郎、解題：西尾漠。

2002年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3002-1 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集２

脱原発へ歩みだすⅡ

『原発廃棄に向けて』『食卓にあがった死の灰』『チェルノブイリ事故抹殺は許されない』『反原発、出前します！――高木仁三郎講義録』ほかを収録。解説：市川定夫、解題：西尾漠。

2002年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3005-2 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集３

脱原発へ歩みだすⅢ

『もんじゅ事故の行きつく先は？』『恐怖の臨界事故』『原子力神話からの解放――日本を滅ぼす９つの呪縛』『原発事故はなぜくりかえすのか』ほかを収録。解説：武本和幸、解題：西尾漠。

2003年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3008-3 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集４

プルートーンの火

『プルートーンの火』『プルトニウムの恐怖』『証言「もんじゅ訴訟」』『プルトニウムのすべて』『プルトニウムと市民のはざまで』ほか収録。解説：古川路明・小木曽美和子、解題：西尾漠。

2001年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3001-4 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集５

核燃料サイクル施設批判

『核燃料サイクル施設批判』『証言――核燃料サイクル施設の未来は』「核燃料サイクルの黄昏」「再処理問題」ほか収録。解説：鎌田慧、解題：西尾漠。

2003年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3009-0 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集６

核の時代／エネルギー

『核時代を生きる』『核に滅ぶか？』『核の世紀末』『核と人間』『このままだと「20年後のエネルギー」はこうなる』『持続可能で平和なエネルギーの未来』ほか収録。解説：山口幸夫、解題：西尾漠。

2003年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3006-9 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集７

市民科学者として生きるⅠ

『科学は変わる』『いま、普段着の科学者として考えること』『危機の科学』『わが内なるエコロジー』『反原発・エコロジーについて』『少数派の力を見なおす』ほか。解説：花崎皋平、解題：西尾漠。

2002年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3003-8 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集８

市民科学者として生きるⅡ

『いま自然をどうみるか』『森と里の思想――大地に根ざした文化へ』『科学とのつき合い方』『科学の「世紀末」』『あきらめから希望へ』ほか収録。解説：松崎早苗、解題：西尾漠。

2003年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3007-6 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集９

市民科学者として生きるⅢ

『巨大事故の時代』『宮澤賢治をめぐる冒険――水や光や風のエコロジー』『市民の科学をめざして』『市民科学者として生きる』「エコロジーの考え方」ほか収録。解説：斎藤文一、解題：西尾漠。

2004年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3010-6 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集10

鳥たちの舞うとき

『見る月見られる月――人は地球を離れるか』『閉じたせかい開いたせかい――ＳＦと科学の間』『プルトニウムの未来』『鳥たちの舞うとき』ほか収録。解説：佐高信・高木隆郎、解題：西尾漠。

2004年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3011-3 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集11

子どもたちの未来

『元素の小事典』『ぼくから みると』『単位の小事典』『エネルギーをかんがえる』『もし…／どっちの みちへ いこうかな』『マリー・キュリーが考えたこと』ほか収録。解説：澤地久枝、解題：西尾漠。

2002年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3004-5 C0336

高木仁三郎 著
高木仁三郎著作集12

論集

「ＵＯ$_2$からの不揮発性核分裂生成物の放出挙動の検討」「プルトニウム毒性の考察」「ホット・パーティクル論争」「プルトニウム問題と化学者」ほか収録。解説：古川路明、解題：西尾漠。

2004年刊

A５判　定価 6,500円＋税　978-4-8228-3012-0 C0336

恩田勝亘 著
新装版

原発に子孫の命は売れない

原発ができなかったフクシマ浪江町

「オラたち百姓サ馬鹿にした報いだわ。原発なんつうもん建てたらハア、孫や子どもの命サどうなっつまうか」地元住民が土地を売らないことで、原発立地を阻止した浪江町の軌跡をたどる。

2011年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-8228-1139-6 C0036

和田長久、原水爆禁止日本国民会議 編

原子力・核問題ハンドブック

徹底的にこだわった1000を超える索引項目。初歩から「原子力の商業利用」「世界の核開発と核戦略」「核軍縮に向けて」などを網羅。より深く、より広く知るための確かな情報源。

2011年刊

四六判　定価 2,200円＋税　978-4-8228-1137-2 C0036

水口憲哉 著

これからどうなる海と大地

海の放射能に立ち向かう

消費者にとって、海や魚の放射能汚染は心配です。福島原発の事故による海への影響について、過去の調査報告から学ぶ。好評だった『放射能がクラゲとやってくる』を第２章に収録。

2011年刊

四六判　定価 1,400円＋税　978-4-8228-1135-8 C0036

小林圭二 著　原子力資料情報室 編

動かない、動かせない「もんじゅ」

高速増殖炉は実用化できない

ナトリウム漏れ事故を起こして以来、14年間も止まっていた「もんじゅ」。政治的判断で生き延びていますが、安全に運転開始できるのか？　業界イチの専門家がわかりやすく解説します。

2010年刊

A５判　定価 900円＋税　978-4-8228-1026-9 C0036

久米三四郎 著
市民科学ブックス７

科学としての反原発

全国の反原発住民運動の理論的支柱であり、智恵袋であった核化学者・久米三四郎氏が亡くなって一年を機に刊行。次なる時代を見据えた、核廃絶へのメッセージ。

2010年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-8228-1020-7 C0036

七つ森書館

花崎皋平 著

天と地と人と

民衆思想の実践と思想の往還から

原発を廃止し、安楽と便利を唯一の価値とする生き方と経済社会関係からの脱却が求められているいま、持続可能な生命体、宇宙倫理とは何かを石牟礼道子、田中正造、高橋悠治らを礎に問う。

2012年刊

四六判　定価 2,300円＋税　978-4-8228-1261-4 C0036

中屋敷 宏 著

原子力社会からの脱却

個人主義文明を超えて

現代世界の当面する隘路を突破するのに必要とされるものは「技術」ではなく、それを主導する「精神の変革」なのである。脱原発をめざすための思想的アプローチ。

2012年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-8228-1264-5 C0036

木原省治 著

原発スキャンダル

電力会社が原子力発電所を建設するとき、「暗くて陰湿な部分」がつきまとう。豊富な運動経験と緻密な取材で、原子力発電をめぐる深い闇、スキャンダラスな全貌を描き出す。

2010年刊

四六判　定価 2,000円＋税　978-4-8228-1010-8 C0036

恩田勝亘 著

東京電力・帝国の暗黒

「東京電力という巨大企業が抱える病理を丹念な取材で解き明かした。隠蔽体質を改善することは、東京電力のためにもなり、日本国民のためになると確信した」佐藤優氏推薦！

2007年刊

四六判　定価 1,300円＋税　978-4-8228-0753-5 C0036

伴 英幸 著

原子力政策大綱批判

策定会議の現場から

国民世論を反映させるため、「原子力政策大綱」の策定会議の委員に就任した原子力資料情報室共同代表の孤軍奮闘記。対等に渡り合い、国策に異議を唱え続けた貴重な記録。

2006年刊

四六判　定価 2,500円＋税　978-4-8228-0618-7 C0036

ウィリアム・ウォーカー 著、鈴木真奈美 訳

核の軛

英国はなぜ核燃料再処理から逃れられなかったのか

英国原子力政策の惨禍の原因をさぐることで、10兆円を超える六ヶ所再処理プロジェクトと日本の原子力政策、ひいては公共政策のあり方を問う。解説・吉岡斉。

2006年刊

四六判　定価 3,000円＋税　978-4-8228-0616-3 C0036

高木仁三郎、M. シュナイダーほか 著

ＭＯＸ総合評価

ＩＭＡ（国際ＭＯＸ燃料評価）プロジェクト最終報告

ＭＯＸ燃料の軽水炉利用の社会的影響についてまとめられた包括的評価。２年に亘るＩＭＡプロジェクトは国際的に高い評価を受け、高木氏がライト・ライブリフッド賞を共同受賞する契機となった報告書。

1998年刊

Ａ５判　定価 2,700円＋税　978-4-8228-9828-1 C0036

ＪＣＯ臨界事故総合評価会議 編

ＪＣＯ臨界事故と日本の原子力政策

安全政策への提言

ＪＣＯ臨界事故の原因と背景を17名の専門家が徹底分析。決して起こしてはならない原子力事故への注意を喚起し、安全政策への提言をまとめる。

2000年刊

Ａ５判　定価 2,800円＋税　978-4-8228-0041-3 C0036

もんじゅ事故総合評価会議 編著

もんじゅ事故と日本のプルトニウム政策

政策転換への提言

1995年12月8日に発生した「もんじゅ」の事故は起こるべくして起こった。事故の原因と背景を、科学者、弁護士、技術者らがあらゆる角度から徹底的に究明し、日本のプルトニウム利用のあり方を提言。

1997年刊

Ａ５判　定価 3,600円＋税　978-4-8228-9725-3 C0036

反原発運動全国連絡会 編

脱原発、年輪は冴えていま

フクシマ後の原発現地

泊、大間、六ヶ所、女川、柏崎刈羽、福島、東海、浜岡、志賀、高浜、大飯、美浜、敦賀、島根、上関、伊方、玄海、川内。全国の脱原発運動を担う人々による、3・11以降の現地レポート！

2012年刊

四六判　定価 1,900円＋税　978-4-8228-1260-7 C0036

原子力資料情報室 編

原子力市民年鑑2011-12

巻頭では、福島原発事故を分析した８つの論文を収録。日本の全原発のデータと、事故、地震、被曝・放射能、原子力行政など15テーマを収録した完全データブック最新版。

2012年刊

Ａ５判　定価 4,500円＋税　978-4-8228-1248-5 C0036

石橋克彦 著

原発震災

警鐘の軌跡

阪神・淡路大震災後の1997年に“原発震災”の用語・概念を提唱して以来、警鐘を鳴らし続けてきた著者による15年間の論稿を、福島原発事故、安全神話と危機管理などテーマ別に収録。

2012年刊

Ａ５判　定価 2,800円＋税　978-4-8228-1246-1 C0036

小澤祥司 著

飯舘村

6000人が美しい村を追われた

福島原発事故によって飯舘村は全村民6,000人が計画的避難を余儀なくされた。後方支援チームのスタッフとして、すべてを見てきた著者が村民の心情に迫る。

2012年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-8228-1249-2 C0036

布施哲也 著

福島原発の町と村

福島をめぐる過去と未来――いま、本当は何が起こっているのか？　原発を誘致した町、放射能が降ってきた村。福島県浜通り地方の現地を取材し、原発事故の深層を探る。

2011年刊

四六判　定価 1,600円＋税　978-4-8228-1145-7 C0036

環境エネルギー政策研究所 編

自然エネルギー白書2013

自然エネルギーの固定価格買取制度の詳細が決まり、日本でも本格的な導入が迫っている。太陽光、風力、小水力、バイオマス、地熱など各分野の専門家が現況を解説し、具体的な政策を提言。

2013年刊

Ａ５判　定価 2,000円＋税　978-4-8228-1372-7 C0036

西尾 漠 著

エネルギーと環境の話をしよう

自然エネルギーの普及も省エネも、一人ひとりの力ぬきには成り立ちません。これからは低エネルギーの暮らしがあってもよいのではないでしょうか。正しい情報と判断のための「教科書」。

2008年刊

四六判　定価 1,600円＋税　978-4-8228-0875-4 C0036

欧州環境庁 編　松崎早苗 監訳

レイト・レッスンズ

14の事例から学ぶ予防原則

アスベスト、ＢＳＥ、オゾン層破壊をはじめとする、ヒトや環境に対する汚染災害として有名な14の事例を科学的、経済学的に徹底検証。遅ればせの12の教訓と予防原則をレポートする。

2005年刊

Ａ５判　定価 2,800円＋税　978-4-8228-0508-1 C0036

水野玲子 著

新農薬ネオニコチノイドが日本を脅かす

もうひとつの安全神話

ミツバチ大量死の原因とされているネオニコチノイド。人間への神経毒性があり、子どもたちの未来まで脅かされる、この新農薬の危険性を追及する。脳神経科学者・黒田洋一郎氏推薦！

2012年刊

四六判　定価 1,800円＋税　978-4-8228-1256-0 C0036

日本経済評論社

植林 茂 著

金融危機と政府・中央銀行

金融危機が発生した後の危機対応として不測の事態によって生ずる被害・損害を最小限にとどめるため何をすべきなのか、実務を踏まえた視点から考える。

A５判　定価 4,400円＋税　2012年刊　978-4-8188-2238-2 C3033

沖 公祐 著

余剰の政治経済学

旧来の市場像を根底から批判し、「余剰」という視角から市場を捉え直す試み。資本主義の歴史性を「理論」的に解き明かそうとする意欲作。

A５判　定価 3,600円＋税　2012年刊　978-4-8188-2227-6 C3033

郭洋春、關 智一、立教大学経済学部 編

グローバリゼーションと東アジア資本主義

東アジア諸国の類似性と差異性はどこにあるのか。国際関係、産業、環境、家族経営と多角的なアプローチからの分析でグローバリゼーション下の東アジアの多様性を解明する。

A５判　定価 5,400円＋税　2012年刊　978-4-8188-2228-3 C3033

樋口美雄、財務省財務総合政策研究所 編著

国際比較から見た日本の人材育成

グローバル化に対応した高等教育・職業訓練とは

ＥＵの人的資本計画、フランスの高等教育改革、韓国の「グローバル化に対応した人材」育成政策などを精査し、グローバリゼーション時代の人材育成・活用のあり方を提示する。

A５判　定価 4,500円＋税　2012年刊　978-4-8188-2237-5 C3033

村上勝彦、松本光太郎 編

中国雲南の開発と環境

中国辺境の雲南は、急激な開発によって多くの民族、豊かな自然環境からなる多様性が急激に変化しつつある。持続的発展をめざす観点から、開発の態様と環境の変容を分析する。

A５判　定価 4,800円＋税　2013年刊　978-4-8188-2263-4 C3036

木村和範 著

格差は「見かけ上」か

所得分布の統計解析

「見かけ上」の格差を検出するとされる「平均対数偏差」の有効性を考察し、その代替指標の応用可能性を「全国消費実態調査（ミクロデータ）」によって検討した問題提起の書。

A５判　定価 3,000円＋税　2013年刊　978-4-8188-2264-1 C1333

村上研一 著

現代日本再生産構造分析

高度成長から輸出依存的「経済大国化」、1990年代不況を経て外需依存的成長とその破綻へといった日本経済の構造と変容について、再生産（表式）論的視角から分析する。

A５判　定価 4,200円＋税　2013年刊　978-4-8188-2257-3 C3033

フランチェスコ・グァラ 著　川越敏司 訳

科学哲学から見た実験経済学

経済学の最大の発展分野である実験経済学それを支える実験アプローチの有効性と限界を科学哲学の立場から論じる初の包括的論考。方法論からの実験経済学入門書でもある。

A５判　定価 4,800円＋税　2013年刊　978-4-8188-2260-3 C3033

飯田和人 編著

危機における市場経済

グローバルに展開する「市場」の現代的状況とリーマンショック以降の危機の実相を歴史的アプローチによって照射し、市場、資本、国家という３つの視角から解明する。

A５判　定価 4,700円＋税　2010年刊　978-4-8188-2100-2 C3033

金澤史男 著

福祉国家と政府間関係

市場原理、効率性が重視され福祉国家が大きく変容するなか、また地方分権・自治のあり方が問われるなか、日本の福祉国家財政と現在の地方財政改革について健筆をふるう。

A５判　定価 4,800円＋税　2010年刊　978-4-8188-2114-9 C3033

金澤史男 著

近代日本地方財政史研究

特殊な位置にある日本資本主義の諸段階が、地方財政をどのように規定したかを分析し、財政の現代化プロセスを鮮やかに解明した金澤地方財政史の金字塔。

A５判　定価 9,800円＋税　2010年刊　978-4-8188-2113-2 C3033

飯田和人著

グローバル資本主義論

日本経済の発展と衰退

資本と労働力が自由に越境できるようになった今日において、福祉国家の解体を目論み、更なる利潤を追求するグローバル資本の本質と行動を解明する。日本経済はどこへ行くのか。

A５判　定価 3,800円＋税　2011年刊　978-4-8188-2154-5 C3033

P. デヴィッドソン 著　小山庄三、渡辺良夫

ケインズ・ソリューション

グローバル経済繁栄への途

サブプライムローン危機に端を発した金融危機がなぜ戦後最悪の金融恐慌と不況をもたらしたかを解明し、グローバルな経済繁栄を取り戻すためのケインズ・ソリューションを提示する。

A５判　定価 3,000円＋税　2011年刊　978-4-8188-2158-3 C0333

矢部洋三　代表編

現代日本経済史年表

1868～2010年

明治から2010年までの年表（経済と一般項目）と各期毎の概説、事項解説、統計を、持ち運びに便利なコンパクトサイズに収録。1955年以降は１年を８頁に納める。

四六判　定価 3,500円＋税　2012年刊　978-4-8188-2177-4 C1033

松田裕之 著

高島嘉右衛門

横浜政商の実業史

獄中生活から異人館建築、鉄道敷設、ガス灯事業に洋学教育……《易聖》の名に封印された波乱の生涯を、伊藤博文、大隈重信、渋沢栄一らとのつながりを軸に生きいきと描き出す。

四六判　定価 2,700円＋税　2012年刊　978-4-8188-2204-7 C0023

原 朗 編著

高度成長展開期の日本経済

高度成長が岩戸・いざなぎ景気へと本格的に展開した1960年代を中心に、新幹線・所得倍増計画・自動車産業・流通産業・出稼ぎ労働者・文学作品などを多彩に分析する。

A５判　定価 8,900円＋税　2012年刊　978-4-8188-2239-9 C3033

齊藤佳史 著

フランスにおける産業と福祉

1815-1914

19世紀以降、市場経済における個人の孤立化と窮乏化を前にして、「社会」の再構築はいかに進められたのか。工業化と社会的保護の観点から、19～20世紀初頭のフランス資本主義を検証する。

A５判　定価 4,800円＋税　2012年刊　978-4-8188-2232-0 C3036

落合 功 著

近代塩業と商品流通

近代商品流通を松永塩商社（＝産地問屋）の動向を中心に商流と物流の変化から解明する。伝統的取引から、1904年塩専売制後、政府管理下での流通・市場によりどう変ったか。

A５判　定価 7,600円＋税　2012年刊　978-4-8188-2235-1 C3021

日本経済評論社

長島 修 著

官営八幡製鐵所論

国家資本の経営史

「国家資本の経営史」という視角から官営八幡製鐵所の経営を分析し、技術的側面ばかりでなく管理、組織、人事、労働などの分野まで検討の範囲をひろげ、新しい製鐵所像をしめす試み。

2012年刊
A５判　定価 13,000円＋税　978-4-8188-2233-7 C3033

五月女律子 著

欧州統合とスウェーデン政治

欧州統合への対応がスウェーデンの国内政治に与えた影響によって、対外政策の変容が促進されたとともに、統合組織への参加が新たな国内政治の変化を生じさせていることを分析。

2013年刊
A５判　定価 4,600円＋税　978-4-8188-2249-8 C3031

奈倉文二 著

日本軍事関連産業史

海軍と英国兵器会社

日露戦争から第一次世界大戦期、 軍拡下での海軍と英国兵器会社の関係と日本の工業化・資本主義化を、「武器移転」と「軍器独立」の視点から考察する。

2013年刊
A５判　定価 5,200円＋税　978-4-8188-2258-0 C3033

長谷川将規 著

経済安全保障

経済は安全保障にどのように利用されているのか

戦間期や冷戦期の事例、台頭する中国とアジア諸国の反応などを考察し、従来の国際政治経済学や安全保障論の死角を照射するとともに、新たな分析の枠組みを提示する。

2013年刊
A５判　定価 4,800円＋税　978-4-8188-2247-4 C3031

石井里枝 著

戦前期日本の地方企業

両毛鉄道、利根発電、群馬電力について、企業の起業・経営・資金調達・企業統治といった諸側面を検討し、地域社会の産業化に関連づけながら論じる。

2013年刊
A５判　定価 4,800円＋税　978-4-8188-2248-1 C3033

高崎経済大学地域政策研究センター 編

イノベーションによる地域活性化

地域活性化を促すのは、地域内外のネットワークと知識の融合だ。本書は、プライベート&パブリック両セクターの事例研究から地域イノベーションのメカニズムを検証する。

2013年刊
A５判　定価 2,800円＋税　978-4-8188-2265-8 C1036

上山和雄、吉川 容 著

戦前期北米の日本商社

在米接収史料による研究

三井物産、三菱商事、大倉組、堀越商会ほかの北米第一線での取引、商社間競争、本支店間の協力と軋轢を、米国国立公文書館所蔵の第一級史料を駆使して鮮明に描き出す。

2013年刊
定価 5,400円＋税　978-4-8188-2241-2 C3033

阿部大輔、的場信敬 編

地域空間の包容力と社会的持続性

都市・地域の衰退が進む中、地域力をどう活かして再生につなげていくのか。空間・プロセス・人材継承の観点から持続可能性を追求している国内外の先進事例から論じる。

2013年刊
A５判　定価 4,000円＋税　978-4-8188-2267-2 C1036

高嶋修一 著

都市近郊の耕地整理と地域社会

東京・世田谷の郊外開発

20世紀前半の東京近郊で行われた土地開発「玉川全円耕地整理」を事例に、地域における人々の経済観念や社会秩序が、事業の進展に伴って変容していく過程を実証的に描く。

2013年刊
A５判　定価 5,800円＋税　978-4-8188-2225-2 C3036

永山のどか 著

ドイツ住宅問題の社会経済史的研究

福祉国家と非営利住宅建設

1920年代に非営利住宅建設がドイツで最も効果的になされたゾーリンゲン市をとりあげ、福祉国家成立と都市社会との関係を描く。

2012年刊
A５判　定価 6,000円＋税　978-4-8188-2224-5 C3036

秋谷紀男 著

戦前期日豪通商問題と日豪貿易

1930年代の日豪羊毛貿易を中心に

英国および自治領たる豪州との関係をふまえ、兼松商店、三井物産、高島屋_田、三菱商事など日本商社の豪州での羊毛買付動向を中心に分析する。

2013年刊
A５判　定価 8,500円＋税　978-4-8188-2251-1 C3033

鈴木勇一郎、高嶋修一、松本洋幸 編著

首都圏史叢書 7

近代都市の装置と統治

1910～30年代

市街鉄道、上水道、市場など、様々なインフラや処理施設をはじめ、寺社、公園、墓地などの宗教・娯楽施設から、戦前の都市運営や支配の構造を探る。

2013年刊
A５判　定価 4,800円＋税　978-4-8188-2231-3 C3021

原 朗、宣在源 編著

韓国経済発展への経路

解放・戦争・復興

植民地解放後、米軍占領統治から朝鮮戦争の破壊と再編を経て、いかに経済発展の基盤を築いたか。今後注目される本格的経済成長直前期を、韓国学界の最新成果を集成し紹介。

2013年刊
A５判　定価 4,800円＋税　978-4-8188-2259-7 C3033

根津朝彦 著

戦後『中央公論』と「風流夢譚」事件

「論壇」・編集者の思想史

天皇制批判のタブー化に強い影響を及ぼした言論テロ事件、『中央公論』誌面と編集者群像を通して、戦後ジャーナリズム史上の「論壇」と総合雑誌の位置づけを明らかにする。

2013年刊
A５判　定価 5,800円＋税　978-4-8188-2252-8 C3021

権上康男 著

通貨統合の歴史的起源

資本主義世界の大転換とヨーロッパの選択

統合ヨーロッパが危機に直面するたびに登場する悲観論には根拠のないことを示し、通貨統合の本質は歴史のなかで培われたヨーロッパの政治にあることを論証する。

2013年刊
A５判　定価 10,000円＋税　978-4-8188-2256-6 C3033

金沢幾子 編

福田徳三書誌

近代経済学の批判的紹介、マルクス経済学批判、社会政策、経済政策論で活躍。日本社会政策学会の代表的論客。マルクス経済学をめぐる河上肇との論争は有名。1874～1930

2011年刊
B５判　定価 25,000円＋税　978-4-8188-2168-2 C3000

下村恭民、大橋英夫＋日本国際問題研究所

中国の対外援助

大きな存在となりながら、いまだ十分に知られていない中国の対外援助を、理念、規模、国際的影響、日本の援助経験との密接な関係など、多様な角度から分析し、その全体像に迫る。

2013年刊
A５判　定価 3,200円＋税　978-4-8188-2253-5 C3031

内田鉄平 著

近世村社会の変容

微視の村落史

豊後の一村落が近世末期から近代にかけて、どのように変容していったのか。人的構成、産業構造、支配など、多面的に追求する。

2012年刊
A５判　定価 5,500円＋税　978-4-8188-2223-8 C3021

風媒社

N. F. S. グルントヴィ 著　小池直人 訳
グルントヴィ哲学・教育・学芸論集
世界における人間

18世紀の啓蒙の時代において進行した「心と精神の物象化」を克服すべく、「身体」「精神」「魂」という３つの視角から人間存在の諸条件を論じた哲学書。

四六判　定価 1,800円＋税
2010年刊
978-4-8331-4076-8 C0010

N. F. S. グルントヴィ 著　小池直人 訳
グルントヴィ哲学・教育・学芸論集
生の啓蒙

デンマークの「国父」ともいわれる思想家・グルントヴィ。本書では啓蒙哲学にかかわる諸論説や詩歌のなかから重要な著作を選出して掲載。

四六判　定価 2,500円＋税
2011年刊
978-4-8331-0960-4 C0010

ハル・コック 著　小池直人 訳
グルントヴィ
デンマーク・ナショナリズムとその止揚

理念と現実とを架橋するグルントヴィの哲学〈生の啓蒙〉の成立過程を丹念に辿りながら、人間中心主義を越えた独自のヒューマニズム論の核心を取り出す。

Ａ５判　定価 3,200円＋税
2007年刊
978-4-8331-0538-5 C0010

C. シュヴァーベ、U. ハーゼ 著
出会いの音楽療法

人間相互の出会い、また人間と音楽との出会い……。個人の社会的疾患を治療する「出会いの音楽療法」の本質と具体的な教授法を解説。出会いの音楽療法の考え方を応用できる領域も提示する。

Ａ５判　定価 2,800円＋税
2011年刊
978-4-8331-4091-1 C0011

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
「脱」の世界
正常という虚構

逃避ではなく挑戦としての「脱」、そして「自明」なものへの疑い――。閉塞状況を打破し、歴史と社会を突き動かす日本文化論とは？　日本研究のさまざまな領域から12篇の研究論文を収録。

Ａ５判　定価 3,500円＋税
2007年刊
978-4-8331-0536-1 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
日本文化の鉱脈
茫洋と閃光と

文学から歴史、思想まで、幅広い分野の研究者たちが自身の研究テーマを深く掘り下げ、その底に流れている日本文化の「本流」に光を当てようと試みた共同論集。

Ａ５判　定価 3,800円＋税
2008年刊
978-4-8331-0540-8 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
日本文化の美と醜
その形式と融合

「固有の美」というものに幻惑されつづけてきた日本文化と、その裏面に匿されている「醜」。美醜を超えて、互いに照射し合うそれらの彼方から、日本文化における「美」を問いかけてみよう。

Ａ５判　定価 4,200円＋税
2009年刊
978-4-8331-0544-6 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
日本文化の中心と周縁

日本近現代における「中心」＝文明、「周縁」＝野蛮という発想を乗り越えるべく、その境界で生起するさまざまな事象を、歴史・宗教・民俗・地域社会を切り口に捉えなおす。

Ａ５判　定価 3,800円＋税
2010年刊
978-4-8331-0548-4 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
日本文化の攻と守

日本文化に表出する外向と内向きのダイナミクス。「歴史としての文化」「方法としての文化」「存在としての文化」の３つの視座から、日本文化の攻と守の複雑な様相を考察する。

Ａ５判　定価 3,800円＋税
2011年刊
978-4-8331-0550-7 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
危機における共同性

震災によって露わになった日本社会の「危機」を意識しながら、そうした状況のなかで模索されてきた／されている「共同性」を軸に、現代日本の文化や社会を学問的に深める。

Ａ５判　定価 3,500円＋税
2012年刊
978-4-8331-0556-9 C0021

近畿大学日本文化研究所 編
近畿大学日本文化研究所叢書
否定と肯定の文脈

肯定と否定の振れ幅の中で、ますます寛容さを失いつつある日本社会。時間軸を広くとって、いま私たちがとるべき思考の〈かたち〉を指し示す。現在を反省的に照射する試み。

Ａ５判　定価 3,500円＋税
2013年刊
978-4-8331-0560-6 C0021

綱澤満昭 著
柳田国男讃歌への疑念
日本の近代知を問う

近代日本の「知」と「修養」を問い直し、柳田の人と学問、その政治性を再検討、功罪を明らかにするとともに、日本的近代知の超克に生きた宮沢賢治、清沢満之らの足跡をたどる。

四六判　定価 2,800円＋税
1998年刊
978-4-8331-0515-6 C0021

綱澤満昭 著
農の思想と日本近代

「農本」には「反動思想」の烙印がつきまとう。だが、近代的「知」こそ心の深層に宿る悪や闇、非合理なものへの理解を妨げ、ファシズム体制を呼び込んだのだ。農本思想の多元性と可能性を問う。

四六判　定価 2,500円＋税
2004年刊
978-4-8331-0526-2 C0021

綱澤満昭 著
鬼の思想
鬼哭と狂気

天皇制国家が弱体化する己を立ち直らすために敵として取り込む鬼、民衆の中に生き続ける反権力・反秩序への情動としての鬼……。歴史のなかに織り込まれた“鬼”という経験を丹念に読み直す。

四六判　定価 2,000円＋税
2009年刊
978-4-8331-0545-3 C0021

吉田一彦 著
民衆の古代史

日本古代の社会体制を「律令制国家」と見ることは、果たして正しい据え方なのか。『日本霊異記』をひもときながら、律令をこえて生きる古代民衆の躍動する姿を探る。

四六判　定価 1,700円＋税
2006年刊
978-4-8331-0533-0 C0021

高木 洋 著
宣教師が見た信長の戦国
フロイスの二通の手紙を読む

家臣たちは“猛牛を目の前にしたかのように”信長を恐れた――。信長がその人生で初めて会った西洋人ルイス・フロイス。彼の目に信長とその時代はどう映ったのか？

四六判　定価 1,600円＋税
2011年刊
978-4-8331-0549-1 C0021

赤塚次郎 著
幻の王国　狗奴国を旅する
卑弥呼に抗った謎の国へ

日本列島の二、三世紀の風景を考古学資料を駆使して再検討し、邪馬台国の最大のライバル狗奴国の実態を探る。固定された古墳文化のイメージを揺さぶる新しい邪馬台国論の誕生！

四六判　定価 1,600円＋税
2009年刊
978-4-8331-0546-0 C0021

千田嘉博 著
天下人の城
信長から秀吉・家康へ

戦国期から江戸時代のはじめにかけてどのように城が変わっていったのか。天下人たちの最も重要な城を選び、歴史学、考古学、歴史地理学などの学問分野の連携によって、その全貌に迫る。

四六判　定価 1,600円＋税
2012年刊
978-4-8331-0559-0 C0021

風媒社

大山誠一 著

聖徳太子と日本人

「聖徳太子は実在しなかった！」。聖人として崇められ、信仰の対象とさえされてきた〈聖徳太子〉が、架空の人物であると証明した問題作。古代史最大のタブーに迫る。

四六判　定価 1,700円＋税　2001年刊
978-4-8331-0520-0 C0021

吉田竹也 著

バリ宗教と人類学

解釈学的認識の冒険

「バリ宗教」とは何か。その表象の構築過程と「楽園」形成への影響力を明らかにし、人類学的バリ研究に内在する偏向を考察。これからのバリ研究の限界と可能性を問う。

A５判　定価 3,200円＋税　2005年刊
978-4-8331-0528-6 C0022

杉山三郎 著

ロマンに生きてもいいじゃないか

メキシコ古代文明に魅せられて

新大陸古代文明に憧れメキシコへ。スペイン語に奮闘しつつ、遺跡発掘現場で働き、35歳でアメリカの大学に入り直して考古学者の道に。“神々の都”に魅せられた世界的考古学者の原点。

四六判　定価 1,700円＋税　2012年刊
978-4-8331-0555-2 C0022

杉山三郎、嘉幡 茂、渡部森哉 著

古代メソアメリカ・アンデス文明への誘い

メキシコ・中米に興ったメソアメリカ古代文明と、ペルー・ボリビア・エクアドル付近に栄えたアンデス古代文明の入門書。

A５判　定価 1,600円＋税　2011年刊
978-4-8331-0553-8 C0022

奈良大学文学部世界遺産コース 編

世界遺産と都市

人類の歴史とともに繁栄し、その痕跡を今に留める世界遺産都市を、新たな学問「世界遺産学」の視点から解き直す。「世界遺産学事始め」。

A５判　定価 2,400円＋税　2001年刊
978-4-8331-4029-4 C0025

伊藤康彦 著

武谷三男の生物学思想

「獲得形質の遺伝」と「自然とヒトに対する驕り」

「ルィセンコ学説」の誤りと現代遺伝学の発展が明らかになっても、終生それを支持しつづけた武谷三男――。「論理の科学者」が示したこの奇妙な態度に潜む、戦後科学思想の隠された一側面とは。

A５判　定価 3,000円＋税　2013年刊
978-4-8331-4103-1 C0036

嘉田由紀子 著

知事は何ができるのか

「日本病」の治療は地域から

生活者目線を失わず、筋道を通す政治を力強く実行してきた現役滋賀県知事による闘いの軌跡。日本の政治の未来を憂う誠意ある政治家、公務員、そして日本社会のリーダー必読の書。

四六判　定価 2,000円＋税　2012年刊
978-4-8331-1094-5 C0036

熊田一雄 著

男らしさという病？

ポップ・カルチャーの新・男性学

マンガをはじめとする現代日本の大衆文化、内観サークル系宗教運動や宗教的ポップカルチャー、そして大衆消費社会のなかのナルシシズムのなかに、もうひとつの男性性の可能性を見る。

四六判　定価 2,200円＋税　2005年刊
978-4-8331-1067-9 C0036

小出裕章、中嶌哲演 著

いのちか原発か

40年にわたって「反原発」を貫く不屈の研究者と、「世界一の原発銀座」若狭で反対運動を続ける反骨の僧が、フクシマ後の日本の在り方を語り合う〈反原発直言対談〉。

四六判　定価 1,200円＋税　2012年刊
978-4-8331-1093-8 C0036

桃井治郎、玉田敦子 編

近代と未来のはざまで

未来観の変遷と21世紀の課題

科学技術の発達や合理的思考、経済発展など近代が築いてきた価値観が揺らぎ、その正当性が問い直されている現代。「近代と未来のはざま」における幾多の課題を取り上げ、その対処策を模索する。

四六判　定価 1,524円＋税　2013年刊
978-4-8331-4104-8 C0036

藤井克彦、田巻松雄 著

偏見から共生へ

名古屋発・ホームレス問題を考える

増え続けるホームレスの人々。「排除」なのか「占拠」なのか。生活・労働、行政、支援の活動・運動という３つの側面に比重を置き、この問題の現実を理解し議論するための素材を提供する。

四六判　定価 2,500円＋税　2003年刊
978-4-8331-1059-4 C0036

土屋勝彦 著
名古屋市立大学人間文化研究叢書

反響する文学

「移民文学」から「世界文学」へ。ゆらぎ、きしみに苦悩しながら「世界文学」へと飛翔する異郷者のパトス。新たなる文学言語創造への挑戦をとらえた先駆的論考。

A５判　定価 2,400円＋税　2011年刊
978-4-8331-4087-4 C0090

山田美香 著
名古屋市立大学人間文化研究叢書

公教育と子どもの生活をつなぐ香港・台湾の教育改革

教育と福祉によるすべての子どもの学びの保障――。「児童・生徒中心主義」の決断は、いかにしてなされたのか。福祉的制度を欠く日本の教育政策に示された、もう一つの回答。

A５判　定価 2,800円＋税　2012年刊
978-4-8331-4096-6 C0037

中部大学中部高等学術研究所 編

変容する現代の大学教育を考える

学問の再構築を目指して

急速に、そして限りなく価値の更新を繰り返す高度情報化社会において、大学教育の意義はどこにあるべきか。大学教育の現場に立つ各分野の専門家が提起する〈学問の持続可能性〉とは。

A５判　定価 1,800円＋税　2012年刊
978-4-8331-4097-3 C0037

馬路泰蔵、馬路明子 著

ミルクを食べる　肉を食べる

ブルガリア食文化ノート

昭和初期の日本の山村文化を調べてきた研究者が、ミルクと肉を食べるという、60年代以前の日本とは180度異なる文化を辿り、私たちの家畜観、忘れかけた伝統的生活技術の意味を考察。

A５判　定価 1,800円＋税　2012年刊
978-4-8331-0558-3 C0039

斎藤卓志 著

素顔の新美南吉

避けられない死を前に

「ごん狐」「でんでんむしのかなしみ」で知られる童話作家・新美南吉。残された膨大な日記・手紙を丹念に読み解き、〈人としての原点を求めつづけた〉南吉の知られざる生きざまを描く。

四六判　定価 2,200円＋税　2013年刊
978-4-8331-2078-4 C0095

別所興一、鳥羽耕史、若杉美智子 著

杉浦明平を読む

“地域”から“世界”へ―行動する作家の全軌跡

ルポルタージュ文学の創始にして、イタリア・ルネサンス文学研究の第一人者・杉浦明平。地域から日本、世界と切り結んだ、強靱なる文学の全貌を解き明かす。

四六判　定価 2,500円＋税　2011年刊
978-4-8331-2074-6 C0095

瀬尾 健 著

原発事故…その時、あなたは！

もし日本の原発で重大事故が起きたらどうなるか？　近隣住民の被爆による死者数、大都市への放射線の影響は……？　日本の全原発事故をシミュレート。原発安全詩話を突き崩す衝撃の報告。

A５判　定価 2,485円＋税　1995年刊
978-4-8331-1038-9 C1036

論創社

石塚正英、柴田隆行 監修
増補版
哲学・思想翻訳語辞典

初版から10年を経て、「質料と質量」「社会学」「零」など新10項目を加えた増補新版！　哲学、思想、科学、文芸分野の最重要翻訳語204を徹底解明。

A５判　定価 9,500円＋税
2013年刊
978-4-8460-1240-3 C0095

F. ジェイムソン 著　三宅芳夫ほか 訳
アドルノ
後期マルクス主義と弁証法

ジェイムソンの「歴史」という問題は、アドルノの「全体性」をどのように見つめるのか。ポストモダンという問題のなかで浮かぶ新たなるアドルノの姿。

A５判　定価 3,800円＋税
2013年刊
978-4-8460-1209-0 C0010

F. ジェイムソン 著　三宅芳夫ほか 訳
サルトル
回帰する唯物論

「テクスト」・「政治」・「歴史」という分割を破壊しながら疾走し続ける思考者ジェイムソンが、緻密で透徹した「読み」で、唯物論者サルトルを蘇らせる。

四六判　定価 3,000円＋税
1999年刊
978-4-8460-0283-1 C0090

V. S. ナヴァスキー 著　三宅義子 訳
ハリウッドの密告者
1950年代アメリカの異端尋問

1950年代、アカ狩りの時代、証人として出頭した者は情報提供者となるよう迫られる。マッカーシズムに関して一級の“資料”として名高いNaming Namesついに翻訳なる！！

A５判　定価 5,800円＋税
2008年刊
978-4-8460-0683-2 C0022

E. M. ウッド 著　石堂清倫 監訳
民主主義対資本主義
史的唯物論の革新

人間的解放に向けて　古代ギリシアから現代まで、二つの大きな潮流を歴史的に整理し、史的唯物論に基づく資本主義の批判的読解を通して真のメカニズムの拡大を目指す刺激的論考。

四六判　定価 4,000円＋税
1999年刊
978-4-8460-0076-1 C0030

W. ゾンバルト 著　金森誠也 訳
戦争と資本主義

ドイツの碩学ゾンバルトが、豊富な資料と文献とを用いて、近代軍隊の発生から18世紀末までの間、〈戦争〉がどれだけ直接的に資本主義的経済組織の育成に関与したかを鮮やかに実証。

四六判　定価 3,000円＋税
1996年刊
978-4-8460-0026-5 C1033

ジェームズ・カラン 著　渡辺武達 監訳
メディアと権力
情報学と社会環境の革変を求めて

権力は情報をどう操作し、民衆を動かしてきたか？　インターネットの出現をふまえてメディアの全体像を、歴史学・社会学・政治学の観点から解く、メディア研究の白眉。

A５判　定価 3,800円＋税
2007年刊
978-4-8460-0674-7 C0030

大熊信行 著
論創叢書 2
マルクスのロビンソン物語

日本経済学の金字塔！　ランゲ、ピグウら西欧の経済学者に先駆けてマルクス『資本論』第一部第一章第四節へ深く分け入って〈ロビンソン物語〉の中に〈配分原理〉を発見！

四六判　定価 4,600円＋税
2003年刊
978-4-8460-0373-6 C0033

大熊信行 著
増補新装版
国家悪
人類に未来はあるか

戦争が、国家主権による基本的人権に対する絶対的な侵害であることを骨子とした、戦後思想の原点をなす著。国家的忠誠の拒否が現代人のモラルであると説く、戦後思想史に輝く名著。

A５変　定価 3,800円＋税
2011年刊
978-4-8460-1070-6 C0036

大熊信行 著
増補版
日本の虚妄
戦後民主主義批判

1970年に刊行された本書は、日本の「進歩的」戦後思想と「保守的」戦後政治の宿す「虚妄」を鋭く衝いた論集。補章として丸山真男への反批判を加え、解題で発表当時の反響を記す！

A５判　定価 4,800円＋税
2009年刊
978-4-8460-0864-2 C0036

池田 元 著
戦後日本の思想と運動
「日本近代」と自己意識

国家や政治を、民衆心性の反映、民衆の共同幻想であると捉え、天皇の戦争責任、住井すゑの戦争責任、丸山眞男と全共闘、尾崎豊と吉本隆明。三里塚闘争、秩父事件などを論じる。

四六判　定価 3,200円＋税
2012年刊
978-4-8460-1183-3 C0030

岩木秀樹 著
戦争と平和の国際関係学

なぜ戦争が起きるか、平和の確立は可能か。平和学の研究史を踏まえ、具体的な地域研究も視野に入れ、人類史的観点で地球を考察し、弱者のための“国際関係学”構築を目指す！

A５判　定価 3,800円＋税
2013年刊
978-4-8460-1217-5 C0031

小松隆二 著
公益の時代
市場原理を越えて

公益の歴史に多大な足跡をのこした佐久間貞一、小林富次郎の事例を踏まえ、大学・企業・医療の各分野における非営利活動の理念の在り方とその実践方法について、幅広く考察する。

四六判　定価 2,000円＋税
2002年刊
978-4-8460-0238-1 C0036

いいだもも 著
恐慌論

先駆者・宇野弘蔵の恐慌論を吟味しつつ、マルクス資本論体系の内在的把握を試み、シュンペーターら近代経済学をも大胆に取り入れ、新たな“恐慌論”の創出をめざす世界変革の書！

A５判　定価 13,000円＋税
2007年刊
978-4-8460-0678-6 C0033

柴田高好 著
マルクス政治学原論

市民社会バイアス的アプローチと国家バイアス的アプローチを駆使して、丸山眞男、ウェーバー、シュムペーター、プーランザス、廣松渉らの国家理論を解明し、マルクス国家論の構築を展望する。

A５判　定価 5,800円＋税
2012年刊
978-4-8460-1150-5 C0031

倉田 稔 著
小林多喜二伝

小樽・東京・虐殺……多喜二の息遣いがきこえる……多喜二の小樽時代（小樽高商・北海道拓殖銀行）に焦点をあてて、知人・友人の証言をあつめ新たな多喜二の全体像を彫琢する初の試み！

A５変　定価 6,800円＋税
2003年刊
978-4-8460-0408-2 C0095

山泉 進 著
平民社の時代
非戦の源流

1903年（明治36）年、日露開戦の気運が高まるなか、非戦論を掲げて孤軍奮闘した幸徳秋水、堺利彦、岩崎革也らの足跡をさぐる。平民社関係資料、文献ガイド付き。

四六判　定価 3,000円＋税
2008年刊
978-4-8460-0336-4 C0021

山泉 進 著
新装版
大逆事件の言説空間

事件をめぐり飛びかう言説によって《事実》が構築され定着していった。たんなる無罪論を超え、「情報の権力性」という視点から「大逆事件」を創りだした言説空間の構造にせまる労作！

四六判　定価 3,800円＋税
2007年刊
978-4-8460-0677-8 C0021

論創社

中村文雄 著

大逆事件と知識人

無罪の構図

フレーム・アップされた「大逆事件」の真相に多くの資料で迫り、関係者の石川三四郎、平沼騏一郎等にふれ、同時代人の石川啄木、森鷗外、夏目漱石と「事件」との関連にも言及する労作！

四六判　定価 3,800円＋税

2009年刊
978-4-8460-0832-1 C0021

小西豊治 著

もう一つの天皇制構想

小田為綱文書「憲法草稿評林」の世界

明治前期に世界の憲法史上他に例のない皇帝リコールの構想がなぜ生み出されたのか。「人民投票による皇帝選出」「廃帝の法則」を含む独創的憲法構想の謎を解く。

A５判　定価 3,800円＋税

2012年刊
978-4-8460-1156-7 C0031

長谷川雄一、C. W. A. スピルマンほか 編

満川亀太郎書簡集

北一輝・大川周明・西田税らの書簡

二・二六事件の革新派将校である西田税らは〈北・大川・満川〉という「猶存社の三尊」の影響下にあったが、彼らの書簡をも含め、昭和維新の原点に迫る。北一輝、大川周明らの書簡、初公開。

A５変　定価 4,800円＋税

2012年刊
978-4-8460-1151-2 C0021

長谷川雄一、C. W. A. スピルマンほか 編

満川亀太郎日記

大正８年～昭和11年

北一輝・大川周明らとともに、大正中期以後の国家改造運動＝老壮会・猶存社・行地社の設立に中心的役割を果した満川。その足跡が明らかとなる貴重な資料！「主要登場人物録」付。

A５変　定価 4,800円＋税

2011年刊
978-4-8460-0838-3 C0021

長谷川雄一 編・解説
論創叢書４

三国干渉以後

時代の激流に翻弄される帝国日本を凝視し続けた著者の開かれた精神の航跡と、思想を超えた人間交流の記録！　貴重な「新発見資料」３篇を付して新装復刊。

A５変　定価 3,500円＋税

2004年刊
978-4-8460-0337-1 C0021

中華全国婦女連合会 編著

中国女性運動史1919-49

革命と抗日、闘いぬいた女たちの証言――1910年代から中国の成立（49年）までの各時代の女性の社会的地位、抑圧の状況、女性の闘争を様々な証言でつづった異色のドキュメント！

四六判　定価 4,500円＋税

1995年刊
978-4-8460-0021-9 C1022

唐宝林 著　鈴木 博 訳

中国トロツキスト全史

1927年の中国トロツキー派の誕生から、52年に一斉逮捕されるまで、25年間にわたる苦難に満ちた闘争の歴史、その全体像を、陳独秀らの活動を軸にして大量の第一次資料を基に描き出す。

A５判　定価 3,800円＋税

2012年刊
978-4-8460-1127-7 C0023

李承律 著　村上健一 訳

韓国人が見た東アジア共同体

新巨大戦略

ドルが基軸通貨から後退し、ユーロが信用未成熟の今こそ、東アジア経済共同体を立ち上げ、推進する好機と著者は見る。日韓中を結ぶ海底トンネルの建設を呼びかける、韓国からの提言の書。

四六判　定価 2,000円＋税

2011年刊
978-4-8460-1110-9 C0034

鄭鎭星 著　鄭大成、岩方久彦 訳

日本軍の性奴隷制

韓国市民団体は解決に向けてどう活動し、国際社会にどう働きかけたか。被害者救済運動にも関わる韓国女性研究者がわれわれ日本人に認識の転換をせまる。

四六判　定価 3,800円＋税

2008年刊
978-4-8460-0695-2 C0021

金学俊 著　保坂裕二 監修

独島研究

韓日間論争の分析を通じた韓国領有権の再確認　日韓両国の竹島への関わりを歴史的に解明しながら、両国の領有権主張の論拠を徹底検証した韓国側「独島」研究の到達点。

A５判　定価 3,800円＋税

2012年刊
978-4-8460-1118-5 C0034

粂川光樹 著

明暗　ある終章

夏目漱石の死により未刊に終わった『明暗』。その完結編を、漱石を追って20年の著者が、漱石の心と文体で描いた野心作。原作の名取春仙の挿絵を真似た、著者による挿絵80余点を添える。

四六判　定価 3,800円＋税

2009年刊
978-4-8460-0780-5 C0093

高山京子 著

林芙美子とその時代

作家の出発期を、アナキズム文学者との交流とした著者は、文壇的処女作「放浪記」を論じた後、林芙美子と〈戦争〉を問い直す。そして戦後の代表作「浮雲」の解読を果たす意欲作！

四六判　定価 3,000円＋税

2010年刊
978-4-8460-1046-1 C0095

廣畑研二 校訂

林芙美子　放浪記　復元版

放浪記刊行史上初めての校訂復元版。震災文学の傑作が初版から80年の時を経て、15点の書誌を基とした緻密な校訂のもと、戦争と検閲による伏せ字の全てを復元し正字と歴史的仮名遣いで甦る。

A５判　定価 3,800円＋税

2013年刊
978-4-8460-1185-7 C0093

西洋比較演劇研究会 編
新訂

ベスト・プレイズ

西洋古典戯曲12選

「オイディプス王」「女の平和」「ヴェニスの商人」「ドン・ジュアン」「群盗」など、西洋の古典戯曲を精選して12本収録。解説、年表を含めて、戯曲とともに近代までの演劇の歴史を追う。

A５判　定価 3,800円＋税

2011年刊
978-4-8460-0974-8 C0074

フェイ・E. ダッデン 著　山本俊一 訳

女たちのアメリカ演劇

女優と観客（1790-1870）

18世紀から19世紀にかけて、女優たちの身体はどのように観客から見られ、組織されてきたのか。演劇を通してみる、アメリカの文化史・社会史の名著がついに翻訳される！

四六判　定価 3,800円＋税

2012年刊
978-4-8460-1126-0 C0022

別役 実 著

ことばの創りかた

現代演劇ひろい文

安部公房の『友達』の読解から不条理演劇とはなにかを問うた記念碑的な論をはじめ、後期ベケットの諸作の読解、つかこうへい、井上ひさし、三島由紀夫などの名だたる作品が分析される。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-8460-1189-5 C0095

塚原 史 著

反逆する美学

アヴァンギャルド芸術論

アヴァンギャルド芸術を徹底検証。20世紀の未来派、ダダ、シュールレアリズムをはじめとして現代のアヴァンギャルド芸術である岡本太郎、寺山修司、荒川修作などを網羅する。

四六判　定価 3,000円＋税

2008年刊
978-4-8460-0730-0 C0070

塚原 史 著

切断する美学

アヴァンギャルド芸術思想史

20世紀初頭の芸術運動である未来派、ダダ、シュールレアリスム、岡本太郎、荒川修作など、歴史や地理を越えた芸術運動を「切断」という視点で考察する！

四六判　定価 3,800円＋税

2013年刊
978-4-8460-1208-3 C0070

以文社

ジャン＝リュック・ナンシー 著

無為の共同体

哲学を問い直す分有の思考

共同性を編みあげるのは何か？　神話か、歴史か、あるいは文学なのか？　あらゆる歴史＝物語論を超えて、世界のあり方を根源的に問う、いま最もアクチュアルな存在の複数性の論理。

A５判　定価 3,500円＋税

2001年刊
978-4-7531-0215-0 C0010

アントニオ・ネグリ、マイケル・ハート 著

〈帝国〉

グローバル化の世界秩序とマルチチュードの可能性

グローバル化による国民国家の衰退と、生政治的な社会的現実の中から立ち現われてきた世界秩序＝「帝国」とは何か？　グローバル化を包括的に再考し、オルタナティヴな実践の可能性を構想する。

A５判　定価 5,600円＋税

2003年刊
978-4-7531-0224-2 C0010

ジョルジョ・アガンベン 著

ホモ・サケル

主権権力と剥き出しの生

近代主権論の嚆矢カール・シュミットの「例外状態」の概念をアーレントの「全体主義」とフーコーの「生政治」の成果をふまえて批判的に検討、近代的主権の位相をとらえた画期的な政治哲学。

A５判　定価 3,500円＋税

2003年刊
978-4-7531-0253-2 C0010

ピエール・ルジャンドル 著

西洋が西洋について見ないでいること

法・言語・イメージ〔日本講演集〕

フランス法制史の泰斗ルジャンドルの来日講演集。〈西洋〉を成り立たせている隠された組立てを明かす、ドグマ人類学への最良の手引き。

四六判　定価 2,300円＋税

2004年刊
978-4-7531-0237-2 C0010

萱野稔人 著

国家とはなにか

国家が存在し、活動する固有の原理とは何か。「国家は暴力に関わる一つの運動である」。この明解な視点から現代思想の蓄積をフルに動員し、国家概念に果敢に挑む。次世代を担う国家論の展開。

四六判　定価 2,600円＋税

2005年刊
978-4-7531-0242-6 C0010

ジョナサン・クレーリー 著

観察者の系譜

視覚空間の変容とモダニティ

視覚の近代を成立させた〈観察者の誕生〉を補助線に、様々な視覚器具、絵画などの大胆かつ繊細な分析による視覚文化論の記念碑的名著。

四六判　定価 3,200円＋税

2005年刊
C0010

ジャン＝リュック・ナンシー 著

イメージの奥底で

Ｊ＝Ｌ・ナンシーのイメージ論の集大成。「神の死」そして「形而上学の終焉」以降の今日、哲学の名のもとに新たな「意味のエレメント」を切り開く。

A５判　定価 3,500円＋税

2006年刊
978-4-7531-0246-4 C0010

デヴィッド・グレーバー 著

アナーキスト人類学のための断章

アナーキズムと人類学の結合から生まれるどこまでもポジティヴな世界観。真の民主主義的な世界の構築に向けて。

四六判　定価 2,200円＋税

2006年刊
978-4-7531-0251-8 C0010

中野剛志 著

国力論

経済ナショナリズムの系譜

現役経産省官僚による、保守的にして革新的な政治経済理論。経済学の盲点を突き、新自由主義以降の社会構想の礎を築く、壮大な試み。

四六判　定価 2,200円＋税

2008年刊
978-4-7531-0261-7 C0010

デヴィッド・グレーバー 著

資本主義後の世界のために

新しいアナーキズムの視座

資本主義は、現に存在するコミュニズムを管理するもっとも惨めな方法である。独自の人類学的価値理論から新しい社会形成の道を探る。

四六判　定価 2,000円＋税

2009年刊
978-4-7531-0267-9 C0010

宮崎広和 著

希望という方法

知識の方向性を過去志向性から未来へと根底的に方向転換するための、方法としての希望。現代の社会理論・文化理論の中心的課題を提示。

四六判　定価 2,800円＋税

2009年刊
978-4-7531-0268-6 C0010

アラン・カイエ 著

功利的理性批判

民主主義・贈与・共同体

〈利益〉中心の経済モデルに異を唱える社会科学者が〈贈与論〉のモースの名の下に結集し、科学と政治の新たな可能性を切り開く。

四六判　定価 2,800円＋税

2011年刊
978-4-7531-0286-0 C0010

G・アガンベン、J・ランシエー他 著

民主主義は、いま？

不可能な問いへの８つの思想的介入

民主主義が勝利を収めたと謳われる現代になぜ民主主義は機能不全を起こしているのか？　現代を代表する８人の思想家による根源的考察。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-7531-0287-7 C0010

篠原雅武 著

空間のために

遍在化するスラム的世界のなかで

空間の「均質化」の時代が終わり、より過酷な空間の「荒廃化」の時代が始まった今日、私たちはいかに自らの生活世界を取り戻せるか。

四六判　定価 2,200円＋税

2011年刊
978-4-7531-0288-4 C0010

松本三之介 著

近代日本の中国認識

徳川期儒学から東亜協同体論まで

江戸期儒学から「帝国」日本の思想的帰結である東亜共同体論まで、日中関係の精緻な思想研究の成果から〈他者理解〉の重要性を照射。

四六判　定価 3,500円＋税

2011年刊
978-4-7531-0291-4 C0021

ジャン＝クレ・マルタン 著

フェルメールとスピノザ

〈永遠〉の公式

フェルメールの描いた『天文学者』のモデルはスピノザである。「永遠」の観念をめぐる極上の思想サスペンス。画家と哲学者の出会い、そして「永遠」の創造。二人の秘められた共通性に肉薄する。

四六判　定価 1,800円＋税

2011年刊
978-4-7531-0296-9 C0010

池上善彦 著

現代思想の20年

冷戦終焉後から震災直前まで『現代思想』に毎月書いた編集後記。世界の哲学・思想の最先端から政治・社会・文化の現状に斬りこむ。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7531-0297-6 C0010

ピエール・ルジャンドル 著

西洋をエンジン・テストする

キリスト教的制度空間とその分裂

「ドグマ人類学」の創始者が全成果を３講演に凝縮、キリスト教の抱えた「分裂」が効率性によるグローバル支配の源にあることを論証。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7531-0299-0 C0010

以文社

矢部史郎 著

3・12の思想

『原子力都市』で福島第一原発爆発後の世界を予見した著者が放つ、最新の語り下ろし。環境、社会、人間精神までを見据えた真の提言。

四六判　定価 1,600円＋税

2012年刊
978-4-7531-0300-3 C0010

ピエール・ルジャンドル 著

同一性の謎

知ることと主体の闇

私はなぜ私なのか。人間自身の未知なる秘密から科学や経済を陰で支える〈法〉のメカニズムを明るみに出し、西洋的制度の核心に迫る。

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-7531-0301-0 C0010

鵜飼 哲、酒井直樹、李孝徳、TM＝スズキ

レイシズム・スタディーズ序説

近代化とグローバル化によって複雑化した社会関係を〈レイシズム〉＝隠蔽されたアイデンティティ・ポリティックスという視点から解明すると同時に、〈壁の崩壊〉以後の国際関係史を素描する。

四六判　定価 2,800円＋税

2012年刊
978-4-7531-0304-1 C0010

ターハル・ベン＝ジェッルーン 著

火によって

中東革命「アラブの春」の発端となった一青年の焼身自殺。世界を燃え上がらせた瞬間を、文学・思想は、いかに表現し、応答できるか。世界を燃え上がらせた人間の物語。

四六判　定価 1,900円＋税

2012年刊
978-4-7531-0305-8 C0010

ジャン＝リュック・ナンシー 著

フクシマの後で

破局・技術・民主主義

「一般的等価性」という概念によって、人間が制御不能な仕方で肥大化してきた技術的・社会的・経済的な相互依存の複雑性を解き明かしつつ「フクシマ」を巡る早大な文明論的考察を展開。

四六判　定価 2,400円＋税

2012年刊
978-4-7531-0306-5 C0010

比嘉徹徳 著

フロイトの情熱

精神分析運動と芸術

フロイトの精神分析は「輝かしい孤立」から生まれ、「それまで世界に存在しなかった」学問と職業だった。その闘いのすべてがここに。

四六判　定価 2,600円＋税

2012年刊
978-4-7531-0307-2 C0010

宇野邦一 著

アメリカ、ヘテロトピア

自然法と公共性

政治思想や文学のなかに現実のアメリカを越える多様なイメージをさぐりあて、根底にある混沌とした哲学から新しい公共性を構想する。

四六判　定価 2,600円＋税

2012年刊
978-4-7531-0308-9 C0010

ジャン＝ピエール・デュピュイ 著

経済の未来

世界をその幻惑から解くために

金融危機に象徴される資本主義の危機の真相は、市場万能主義のパラドキシカルなメカニズムであることを論証し、経済の政治化に警鐘。

四六判　定価 3,000円＋税

2013年刊
978-4-7531-0309-6 C0010

モーリス・ブランショ 著

他処からやって来た声

デ・フォレ、シャール、ツェラン、フーコー

20世紀を代表する四人の知性＝他者の声に耳を澄まし、〈未知なるもの〉の領域を切り拓く。人文科学変革の震源となった現代フランス最大の作家・思想家の営為を凝縮した遺作。

四六判　定価 2,800円＋税

2013年刊
978-4-7531-0310-2 C0010

ピーター・ランボーン・ウィルソン 著

海賊ユートピア

背教者と難民の17世紀マグリブ海洋世界

17世紀、キリスト教の背教者たちが北アフリカから生み出した海賊ユートピア。イスラームが引き寄せ生んだ共和国の社会宗教史。

四六判　定価 2,600円＋税

2013年刊
978-4-7531-0311-9 C0010

鈴木文孝 著

西洋近代哲学とその形成

ガリレオ、デカルト、カントの足跡を辿りながら、〈哲学する〉ことの意義を改めて確認する著者の西洋近代哲学研究の総仕上げである。

四六判　定価 2,600円＋税

2013年刊
978-4-7531-0312-6 C0010

アルンダティ・ロイ 著

ゲリラと森を行く

繁栄するインドが掃討しようとするゲリラ。世界的女性作家がその子供や女性らと森で寝食を共にし、グローバル資本を逃れる道を構想。

四六判　定価 2,800円＋税

2013年刊
978-4-7531-0313-3 C0010

影書房

戦後文学エッセイ選

戦後文学エッセイ選（1）～（13）

戦後文学者たちの代表的エッセイ20～30篇を独自の編集によって精選、全13巻に収める。①花田清輝集②長谷川四郎集③埴谷雄高集④竹内好集⑤武田泰淳集ほか。分売可。

四六判　定価 各2,200円＋税

2005～2008年刊
C0395

藤田省三 著
藤田省三小論集

戦後精神の経験 Ⅰ・Ⅱ

多くが成功物語と信じて疑わなかった高度経済成長からバブル経済崩壊に至る過程を「安楽への全体主義」への道程と喝破、日本社会のあり方を根源的に問う。飯田泰三・宮村治雄編。

四六判　定価 各3,000円＋税

1996年刊
C0036

廣末 保 著
廣末保著作集

廣末保著作集　第２巻
近松序説

元禄期の文学・芸能研究に新たな視点を投じ、戦後の文学・演劇運動の可能性に挑戦した著者が、近松のドラマの悲劇の構造を解明した記念碑的著作。

四六判　定価 3,800円＋税

1998年刊
978-4-87714-260-5 C0395

本庄陸男 著
本庄陸男全集

本庄陸男全集　第５巻

短篇小説Ⅲ　評論・エッセイ

病没するまでの短篇小説、発禁の『資本主義下の小学校』（1930、昭５）をはじめ、晩年に至るまでの教育・文学評論。解説＝浦西和彦

四六判　定価 7,000円＋税

1999年刊
978-4-87714-249-0 C0393

江藤文夫 著
江藤文夫の仕事

江藤文夫の仕事１

1956-1965

映画批評家として出発した著者の、映画における“戦後”追究と批評原理確立の軌跡を示す論考を収める。「江藤文夫の仕事」編集委員：井家上隆幸・石原重治・藤久ミネ・鷲巣力

四六判　定価 3,300円＋税

2006年刊
978-4-87714-355-8 C0395

安部博純 著

日本ファシズム論

ファシズムの時代、日本のその国家体制、軍部の状況。また対アジア膨張政策の実態とは。1945年８月15日へと驀進した戦前日本の動態を追及。

A５判　定価 8,000円＋税

1996年刊
978-4-87714-223-0 C3036

ジョン・ボッシー 著　浜林正夫ほか 訳

ジョルダーノ・ブルーノと大使館のミステリー

異端思想として火刑となったルネサンス期の哲学者・詩人の、ロンドンを舞台にしたスパイ活動を追跡しつつ、宗教戦争時の政治・精神史を浮彫りにした大著の翻訳。史･資料多数収録。

A５判　定価 9,500円＋税

2003年刊
978-4-87714-261-2 C0022

徐君兄弟を救う会 編

徐君兄弟を救うために

会報合本

冷戦と分断の論理に対決し、人間の尊厳をつらぬいた徐勝・俊植兄弟。20年間にわたって発行された救援運動の機関誌53号と関連資料をすべて完全復刻。

B５判　定価 30,000円＋税

1992年刊
978-4-87714-151-6 C3036

内海愛子、高橋哲哉、徐京植 編

石原都知事「三国人」発言の何が問題なのか

「三国人」発言によって露呈したものは、日本人マジョリティに根強く存在するアジアへの差別意識、過去への無反省であった。様々なポジションから多角的に「発言」の問題性を論じ尽くす。

四六判　定価 1,800円＋税

2000年刊
978-4-87714-272-8 C0036

磯谷季次 著

わが青春の朝鮮

戦前・戦中、朝鮮にあって朝鮮人同志とともに組合活動、反帝運動を展開し、治安維持法違反で十年を厳寒の牢獄ですごし、戦後は在留日本人の引揚げに粉骨砕身した時代の稀な証言。

四六判　定価 2,500円＋税

1984年刊
978-4-87714-197-4 C0036

李正子 著
新装版

鳳仙花のうた

はじめてのチョゴリ姿に未だ見ぬ祖国知りたき唄くちずさむ――故・近藤芳美氏が絶賛した第一歌集にエッセイを増補。「在日」の生を、心を詠う歌文集の決定版・新装普及版。

四六判　定価 2,000円＋税

2003年刊
978-4-87714-297-1 C0095

崔碩義 著

韓国歴史紀行

心ゆさぶる遥かな山河、立ちあらわれる過去の傷痕。祖国の古寺、名勝・旧跡を一人訪ね歩き、民族の苦難の歴史に深い思いを重ね綴った、―「在日」知識人・作家による紀行エッセイ。

四六判　定価 2,500円＋税

2006年刊
978-4-87714-362-6 C0026

徐京植 著

秤にかけてはならない

日朝問題を考える座標軸

2002年９月の小泉首相平壌訪問以来、国家主義と排外主義が台頭する危機的状況で、日本人は「拉致問題」と植民地支配をどのように捉えるべきなのか、根底から問う。

四六判　定価 1,800円＋税

2003年刊
978-4-87714-306-0 C0036

G. マコーマック 著　鄭敬謨、金井和子 訳

侵略の舞台裏

朝鮮戦争の真実

米ソ両大国の冷戦構造の狭間で着々と進められていった大韓民国の出現という国際陰謀劇、それがかの朝鮮戦争をさけがたいものにした。原題“Cold War, Hot War”

四六判　定価 2,800円＋税

1990年刊
978-4-87714-090-8 C3022

照井壮助 著

天明蝦夷探検始末記

田沼意次と悲運の探検家たち

北方からの異国船の到来やアイヌ民族の蜂起など、時代の転換期に史上初の蝦夷地探検隊が老中田沼意次によって派遣された。この探検の全体状況を読み解いた画期的労作。

四六判　定価 3,800円＋税

2001年刊
978-4-87714-282-7 C0021

日暮 聖 著

近世考

西鶴・近松・芭蕉・秋成

貨幣経済の台頭は、江戸期の社会・人々の精神にいかなる変容をもたらしたか。文学者たちはその急激な変化といかに対峙したか作品世界から読み解く、独創的かつ画期的近世文学論。

四六判　定価 2,800円＋税

2010年刊
978-4-87714-402-9 C0095

武藤武美 著

プロレタリア文学の経験を読む

浮浪ニヒリズムの時代とその精神史

1920年代に形成された浮浪化した都市文化の生態とその精神風景を、正宗白鳥、尾崎翠、葉山嘉樹らの作品を通して追究し、藤田省三論に及ぶ異色の文学・都市文化論。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-87714-418-0 C0095

本堂 明 著

夢ナキ季節ノ歌

近代日本文学における「浮遊」の諸相

混沌と不安の支配する現代都市における解体的な精神状況を、憂鬱や浮浪感覚に焦点をあてつつ表現した佐藤春夫、逸見猶吉、小熊秀雄等の作品の中に読み解く。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-87714-417-3 C0095

影書房

宮岸泰治 著

転向とドラマトゥルギー

1930年代の劇作家たち

新劇が最も新劇らしく輝いていた時代に活躍した劇作家たちは、吹き荒れる転向問題に直面しつつ、ドラマトゥルギーをどこまで必然性をもって考え抜いたか。

四六判　定価 2,200円＋税

2003年刊
978-4-87714-304-6 C0074

吉田 一 著

木下順二・その劇的世界

運命に対峙して歴史の狭間を生きる人間のあり様を描き続けた劇作家への深い思いを綴りつつ、『東の国にて』『暗い火花』等を取り上げその作品世界を読み解く。

四六判　定価 3,000円＋税

2008年刊
978-4-87714-380-0 C0074

櫻井郁子 著

チェーホフ、チェーホフ！

チェーホフと多くの女性、知人、友人たちとの関わりを豊富な資料で探索しその人間像に迫るとともに、主要劇作に関する論考を集成。現代ロシア演劇に精通する著者によるチェーホフ論。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-87714-413-5 C0074

スーザン・ブーテレイ 著

目取真俊の世界（オキナワ）

歴史・記憶・物語

日―米―沖縄の支配／被支配の関係性を背景に、沖縄の生の喘ぎを描き続ける目取真俊の作品世界を、沖縄に刻まれた戦争の記憶の分有・継承、文化、ジェンダー等を基軸に読み解く。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-87714-419-7 C0095

中原静子 著

難波大助・虎ノ門事件

愛を求めたテロリスト

1923年12月27日、当時摂政宮だった昭和天皇を仕込杖銃で狙撃したが未遂、翌年死刑となった難波大助の、人間的苦悩と思想、事件後の家族の運命、郷里の人々の動揺等を描く。

四六判　定価 2,800円＋税

2002年刊
978-4-87714-285-8 C0023

山田昭次 著

金子文子

自己・天皇制国家・朝鮮人

関東大震災時の朝鮮人虐殺。その事実の隠蔽のためにフレームアップされた朴烈＝金子文子事件。獄中自死に至るまでの文子を巡る環境、内面の葛藤を辿った決定版評伝。

四六判　定価 3,800円＋税

1996年刊
978-4-87714-227-8 C0023

高沖陽造、太田哲男、高村 宏ほか 編

治安維持法下に生きて

高沖陽造の証言

1920年代には労働運動の渦中に身を投じ、30年代にはマルクス主義の立場から文芸評論・演劇運動にかかわり、治安維持法下、たび重なる投獄に抗した高沖陽造の貴重な証言。

四六判　定価 2,500円＋税

2003年刊
978-4-87714-303-9 C0036

伊佐眞一 著

伊波普猷批判序説

戦時中は日本軍国主義に批判的な“非戦主義者”だったとされ、今もなお沖縄の人々に深く敬慕される「沖縄学の父」伊波普猷。“デモクラット”伊波普猷の実像に迫る衝撃の書。

四六判　定価 2,800円＋税

2007年刊
978-4-87714-368-8 C0095

星野芳郎 著

戦争と青春

「きけ わだつみの声」の悲劇とは何か

侵略戦争に加担した動員学徒兵たちの死はどのような意味を持ったのか。彼らの手記を独自に読み込み、みずからの当時の日記も公開しつつ、その悲劇の本質を明らかにする。

四六判　定価 2,400円＋税

2006年刊
978-4-87714-352-7 C0036

金田茉莉 著

東京大空襲と戦争孤児

隠蔽された真実を追って

東京大空襲の悲惨な実態や孤児たちの苦難の道のりを、多くの資料と貴重な証言をもとに再現。自らも戦争孤児の著者が、犠牲者への政府の無策・無責任ぶりを痛烈に批判する。

四六判　定価 2,200円＋税

2002年刊
978-4-87714-293-3 C0036

肥田舜太郎 著
増補新版

広島の消えた日

被爆軍医の証言

戦後64年、被爆者を診察し、放射能の内部被曝問題を追究する元軍医が、原爆被爆前後の状況を克明に綴る。戦後の被爆者たちの苦難と歩みを書き下ろした「被爆者たちの戦後」を増補。

四六判　定価 1,700円＋税

2010年刊
978-4-87714-403-6 C0095

富永正三 著

あるＢＣ級戦犯の戦後史

ほんとうの戦争責任とは何か

「上からの命令だったとはいえ、人間として間違った行為をした」――中国侵略戦争に従軍し、中国で戦犯として過ごした著者が、自己との格闘の末に辿りついた戦争責任論、思想の軌跡。

四六判　定価 2,000円＋税

2010年刊
978-4-87714-407-4 C0036

澤井余志郎 著

ガリ切りの記

生活記録運動と四日市公害

工場での「生活記録運動」を通じ、“民主主義”を学んだ著者は、四日市公害の患者、地元の漁師・役所・企業・議員・学者・労組・陰の支援者のこと、「金じゃない、青空を」の顛末を記録。

四六判　定価 2,000円＋税

2012年刊
978-4-87714-424-1 C0036

松下竜一 著　鎌田 慧 解説

暗闇の思想を／明神の小さな海岸にて

70年代、静かな町に降った火力発電所建設計画。高度成長全盛期、国や電力会社の開発至上主義に真っ向から挑んだのは、組織も名もない心やさしき人々だった。

四六判　定価 2,400円＋税

2012年刊
C0095

平岡 敬 著

時代と記憶

メディア・朝鮮・ヒロシマ

８・６広島平和宣言において、初めて日本のアジアへの加害の歴史に言及するなど、志操を貫いた元広島市長が、原点・ヒロシマから問い続ける。核の時代をいかに生きるか――。

四六判　定価 2,500円＋税

2011年刊
978-4-87714-415-9 C0036

金森昂作 著

時代の証言

協同・共生の道を求めて

炭鉱の炭じん爆発によるＣＯ中毒患者救援活動、「原爆の図」をみる会、「抱きしめてＢＩＷＡＫＯ」等の市民運動、生活協同組合エル・コープなど、一社会運動家による貴重な時代の証言。

四六判　定価 2,200円＋税

2011年刊
978-4-87714-421-0 C0036

長谷川憲一 著

ヘルボックス

印刷の現場から

活版印刷からオフセット印刷へ。激変した印刷業界の真只中に半世紀余、現場を体験した著者が数多くの印刷・出版に関する研究成果を渉猟しつつ考察した多彩な戦後出版文化史。

四六判　定価 2,200円＋税

2008年刊
978-4-87714-384-8 C0000

栗原哲也 著

神保町の窓から

「出版は資本主義には似合わない」。本の街、東京神田神保町の小出版社の“名物社長”がつづる、本と人をめぐるヒューマン・ドキュメント。半世紀に及ぶ悪戦苦闘・善戦健闘の記録。

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-87714-428-9 C0000

現代書館

遠藤 薫 著
いま読む！ 名著
廃墟で歌う天使
ベンヤミン『複製技術時代の芸術作品』を読み直す

四六判　定価 2,200円＋税

近年のＳＮＳを巡る議論は、ベンヤミンが『複製技術時代の芸術作品』を出版した1936年当時の論争と酷似している。ベンヤミンの視点とネット上で無限に複製される初音ミクを重ねた挑戦的な論考。
2013年刊
978-4-7684-1001-1 C0310

小山昌宏、須川亜紀子 編著
アニメ研究入門
アニメを究める９つのツボ

四六判　定価 2,300円＋税

アニメ学のテキスト不在を解消すべく、気鋭の若手研究者９人が自らの専門分野を駆使し、映像・音声・歴史・芸術・流通・視聴者・ジェンダーなど様々な視点から「アニメ」を読み解く方法を指南。
2013年刊
978-4-7684-5699-6 C0074

門間貴志 著
朝鮮民主主義人民共和国映画史
建国から現在までの全記録

Ａ５版　定価 3,800円＋税

プロパガンダ映画だけではなく、様々なジャンルの作品が存在する北朝鮮映画を歴史的に分類し、写真を豊富に用いて解説。映画を通して、庶民生活や政治的事件など北朝鮮の真実を深層から探る。
2012年刊
978-4-7684-7659-8 C0074

土本典昭、石坂健治 著
ドキュメンタリーの海へ
記録映画作家・土本典昭との対話

Ａ５版　定価 3,600円＋税

『水俣～患者さんとその世界～』などの水俣シリーズ17本を始め、数々のドキュメンタリー映画を撮り続けた土本典昭の生涯と作品論・製作経緯を石坂健治が丁寧に聞き出し、巨匠の全体像に迫る。
2008年刊
978-4-7684-7672-7 C0074

沼 正三 著　村田喜代子 跋文
異嗜食的作家論

四六判　定価 2,600円＋税

『家畜人ヤプー』で名を馳せた沼氏が天野哲夫名で世に問うた伝説的な作家論に、新たに村田喜代子さんによる跋文を付け加えた。マゾヒズムを手懸かりに社会批評をした沼氏による異色の文学論。
2009年刊
978-4-7684-5606-4 C0095

今井照容 著
三角寛「サンカ小説」の誕生

四六判　定価 3,200円＋税

荒俣宏氏が「濃くて熱い」と激賞した大作。船戸与一氏、推薦。「第25回 尾崎秀樹記念・大衆文学研究賞（大衆文学部門）」受賞作。一世を風靡した三角寛のサンカ小説から戦中の日本精神史を探る。
2011年刊
978-4-7684-5658-3 C0039

宍戸節太郎 著
カネッティを読む
ファシズム・大衆の20世紀を生きた文学者の軌跡

四六判　定価 2,200円＋税

ドイツ語作家として生き、ユダヤ人としてナチズムの脅威を見つめ続けたノーベル賞作家エリアス・カネッティ。市民的良識と国家主義の両方に警戒の目を向け続けた孤高の文学者の全体像に迫る。
2013年刊
978-4-7684-5698-9 C0098

ヴォルフガング・ベンツ 著　斉藤寿雄 訳
反ユダヤ主義とは何か
偏見と差別のしぶとさについて

四六判　定価 2,800円＋税

西欧においてユダヤ人差別はなぜ強い生命力を持ち続け、人類史最大級の悲劇を生み出したのか。根拠なきユダヤ人敵視の構造を分かりやすく解説し、21世紀の課題を明示する。池内紀氏、激賞。
2013年刊
978-4-7684-5695-8 C0036

クラウス・レゲヴィー 著　斉藤寿雄 訳
ナチスからの「回心」
ある大学学長の欺瞞の人生

四六判　定価 3,000円＋税

戦後裁かれたはずの元ナチス党員が戦前の身分を隠し偽名を語ってドイツ学界の頂点に立ち大学総長にまでなっていた。この歴史への欺瞞を暴き、ドイツ人の心の闇を見つめる。戦争責任とは何か？
2013年刊
978-4-7684-6866-1 C0030

ヒュー・G. ギャラファー 著　長瀬 修 訳
ナチスドイツと障害者「安楽死」計画

四六判　定価 3,500円＋税

ドイツ国内の精神病院につくられたガス室等で、20万人もの障害者・精神病者が殺された。医者が自らの患者を「生きるに値しない生命」と選別、抹殺していった恐るべき社会を解明する。
1996年刊
978-4-7684-6687-2 C0030

米田綱路 著
モスクワの孤独
「雪どけ」からプーチン時代のインテリゲンツィア

四六判　定価 4,000円＋税

第32回サントリー学芸賞（社会・風俗部門）受賞作。スターリン死後からペレストロイカ、ソ連邦崩壊、プーチン時代に至るまで、屹立した精神の自由を求めた「異論派」の軌跡を鮮やかに描ききる。
2010年刊
978-4-7684-5622-4 C0031

寺 畔彦 著
戦艦ポチョムキンの生涯 1900-1925

四六判　定価 2,200円＋税

映画史上初めて完成されたモンタージュ技法を使い、革命のプロパガンダ映画として名高い『戦艦ポチョムキン』。伝説の戦艦が辿った運命の航跡をロシア革命史の史実に織り交ぜ描いた物語。
2013年刊
978-4-7684-5701-6 C0022

黒田龍之助 著
ロシア語の余白

四六判　定価 2,200円＋税

ＮＨＫのロシア語番組の講師としてお馴染みの黒田龍之助氏。軽快で爽やかな筆致でロシア語の魅力と学習の楽しさを伝える。神秘的で魅力溢れるロシア語と異文化について学ぶ最上の１冊。
2010年刊
978-4-7684-5647-7 C0087

黒田龍之助 著
羊皮紙に眠る文字たち
スラヴ言語文化入門

四六判　定価 2,300円＋税

ロシア語などでおなじみの謎めいた文字、キリル文字。この不思議な文字の歴史を、著者が自らの体験をまじえてユーモラスに解説し、東欧文化圏成立の壮大な史実を伝える。木村彰一賞受賞作。
1998年刊
978-4-7684-6743-5 C0087

黒田龍之助 著
外国語の水曜日
学習法としての言語学入門

四六判　定価 2,400円＋税

英語ばかりでなく、さまざまな外国語の学習体験記。涙ぐましい努力の数々と爆笑の失敗談を読むうちに、楽しく道草しながら外国語を学ぶ勇気を身につけられる。知的で愉快なロングセラー作。
2000年刊
978-4-7684-6784-8 C0080

後藤雄介 著
語学の西北
スペイン語の窓から眺めた南米・日本文化模様

四六判　定価 2,200円＋税

「砂漠に水をまくような仕事」と村上春樹に小説で書かれたスペイン語教師という仕事の実態とは？　早稲田大学准教授が、明るく愉快な南米留学記から異文化を見つめる意義までを縦横無尽に描く。
2009年刊
978-4-7684-6993-4 C0087

西本美彦、河崎 靖 著
ドイツ語学を学ぶ人のための言語学講義

四六判　定価 3,200円＋税

英語とともに西ゲルマン語というグループに属するドイツ語。その歴史、構造の理解を通じて、言語そのものへの理解を深められる１冊。研究の歴史から最新の成果までを分かり易く解説。
2013年刊
978-4-7684-5708-5 C0084

河崎 靖 著
ドイツ語で読む『聖書』
ルター、ボンヘッファー等のドイツ語に学ぶ

四六判　定価 2,400円＋税

京都大学教授による書き下ろし。ルターの宗教改革等、キリスト教の歴史の中でも特異な役割を果たしてきたドイツ語訳聖書の世界を文法・語彙・表現を豊富に例示しながら解説する。
2011年刊
978-4-7684-5656-9 C0016

現代書館

諸橋泰樹 著

メディアリテラシーとジェンダー

構成された情報とつくられる性のイメージ

メディアの進化に伴う混沌状況の中、私たちが気をつけるべきこととは？　ジェンダー差別の視点からなされる偏見や誤謬を指摘し、メディアにおける表現の自由と個人の自由の併存の可能性を探る。

四六判　定価 2,200円＋税　2009年刊
978-4-7684-5609-5 C0036

VAWW-NETジャパン 編

暴かれた真実 ＮＨＫ番組改ざん事件

女性国際戦犯法廷と政治介入

2001年放映のＮＨＫ・ＥＴＶシリーズ「問われる戦時性暴力」は、政治介入により幾度も改変された。日本社会とメディアが「慰安婦」問題の「歴史と責任」に向き合えない理由を浮き彫りにする。

四六判　定価 2,600円＋税　2010年刊
978-4-7684-5642-2 C0036

山下恒男 著

近代のまなざし

写真・指紋法・知能テストの発明

都市の人口が爆発的に増加した19世紀末の欧州で、その匿名の大衆から個人を特定する手段として写真・指紋・心理テストが発達。人間の外見と内面を測定し特定・選別する方法の社会的影響を考察。

四六判　定価 2,600円＋税　2012年刊
978-4-7684-3516-8 C0030

山下恒男 著
増補新装版

差別の心的世界

人間の心の奥底にひそむ差別意識はいかに生まれるのか。実生活にある差別、小説・芝居・映画・落語など虚構の中にある差別表現、ネット上の差別情報等が「差別する心」に与える影響を考察。

四六判　定価 3,200円＋税　2005年刊
978-4-7684-3453-6 C0030

大野哲夫、花田昌宣、山本尚友 編

ハンセン病講義

学生に語りかけるハンセン病

中世から現代にわたるハンセン病に対する社会の対応、終生隔離政策がもたらした差別の歴史を、ハンセン病元患者、歴史学者、社会学者、ハンセン病療養所医師、水俣病研究者などが学生に語る。

Ａ５版　定価 2,500円＋税　2013年刊
978-4-7684-5705-4 C0036

荒井裕樹 著

障害と文学

「しののめ」から「青い芝の会」へ

障害文芸誌『しののめ』主宰者の花田春兆（俳人）、「青い芝の会」行動綱領を起草し、鮮烈な健常者文明批判を展開した横田弘（詩人）の２人を中心に、障害者による文学活動の歴史を掘り起こす。

四六判　定価 2,200円＋税　2011年刊
978-4-7684-3511-3 C0036

杉本 章 著
増補改訂版

障害者はどう生きてきたか

戦前・戦後障害者運動史

従来の障害者福祉史から抜け落ちていた、障害当事者の生活実態や差別・排除に対する闘いに焦点をあて、戦前から現在までの歩みを綴る。制度政策・運動・社会状況を網羅した詳細な年表付き。

Ａ５版　定価 3,300円＋税　2008年刊
978-4-7684-3487-1 C0036

庄司洋子、菅沼 隆、河東田 博、河野哲也 編

自立と福祉

制度・臨床への学際的アプローチ

障害者、高齢者、ひとり親家庭等の福祉対象者が、パターナリズムの下に置かれ、自律性を奪われてきたことを規範・制度・臨床面から検証し、福祉がどう自立／自律支援に向き合うのかを展望する。

Ａ５版　定価 2,300円＋税　2013年刊
978-4-7684-3521-2 C0036

河東田 博 著

脱施設化と地域生活支援：スウェーデンと日本

2000年までに全ての入所施設を解体し地域生活が実現しているスウェーデンと、地域移行が進まない日本。両国の知的障害者をめぐる制度・政策、生活実態の違いと日本の課題を浮き彫りにする。

Ａ５版　定価 2,200円＋税　2013年刊
978-4-7684-3522-9 C0036

加藤久子 著

海の狩人　沖縄漁民

糸満ウミンチュの歴史と生活誌

海の技術史でもあり、海の移動の経済文化史であり、海をめぐる男と女のジェンダー、沖縄の環境文化史の性格を持ち、その総合性が際立つ。（「第33回 沖縄タイムス出版文化賞・正賞」選評より）

四六判　定価 2,300円＋税　2012年刊
978-4-7684-5681-1 C0039

田中 基 著

縄文のメドゥーサ

土器図像と神話文脈

中沢新一氏、絶賛。「人類の思考の普遍性という『野を開く鍵』を手に入れた田中基は縄文人の神話的思考の内奥に分け入っていく、驚くべき手法を開拓した。日本の考古学を揺るがす知的冒険！」

四六判　定価 3,200円＋税　2006年刊
978-4-7684-6929-3 C0021

実松克義 著

アマゾン文明の研究

古代人はいかにして自然との共生をなし遂げたのか

世界四大文明に匹敵する歴史と規模を持つアマゾン文明の最新研究成果を一般向けに平易に解説した日本初の書籍。立教大学教授の著者が新発見の資料を基に詳述。朝日新聞紙上で柄谷行人氏が激賞。

Ａ５版　定価 3,800円＋税　2010年刊
978-4-7684-5621-7 C0020

村田厚生 著

ヒューマン・エラー学の視点

想定外の罠から脱却するために

失敗をしない人はいない。複雑で時々刻々と変化するシステムに溢れた現代社会では、失敗した時への備えは必須の教養である。ヒューマン・エラー学の第一人者が豊富な具体例を示して詳細に解説。

四六判　定価 2,000円＋税　2012年刊
978-4-7684-5693-4 C0036

特定非営利活動法人 共同連 編

日本発 共生・共働の社会的企業

経済の民主主義と公平な分配を求めて

障害者、シングルマザー、ホームレス、ニートなど、社会的に排除されやすい人を一定割合雇い、ソーシャルインクルージョンと平等な分配を追求する社会的事業所の取り組みと必要な制度を考える。

四六判　定価 2,000円＋税　2012年刊
978-4-7684-3518-2 C0036

E. キテイ 著　岡野八代、牟田和恵 監訳

愛の労働あるいは依存とケアの正義論

重い知的障碍を持つ娘との生活を送ってきたキテイが、ロールズ『正義論』を大胆に批判しつつ、依存による関係性をとらえ直し公正でケアの行きとどく社会への道標を提示する。ケア論必読書。【白澤社刊】

四六判　定価 4,400円＋税　2010年刊
978-4-7684-7935-3 C0010

岡野八代 著
増補版

シティズンシップの政治学

国民・国家主義批判

過去のシティズンシップ論、主にリベラリズムの議論を批判的に再検討しながら、市民社会の一員としてよりよく尊重されるための新たな理念を構想する。シティズンシップ論基礎文献と定評。【白澤社刊】

四六判　定価 2,600円＋税　2009年刊
978-4-7684-7932-2 C0031

木村涼子 編

ジェンダー・フリー・トラブル

バッシング現象を検証する

道徳教育の推進、「女性手帳」騒動に見られる少子化政策。第一次政権時に七生養護学校で性教育の破壊が起こったことに象徴される安倍政権のジェンダー観を今一度検証するのに最適な１冊。【白澤社刊】

四六判　定価 1,800円＋税　2005年刊
978-4-7684-7915-4 C0036

長谷川亮一 著

「皇国史観」という問題

十五年戦争期における文部省の修史事業と思想統制政策

戦前の歴史観の代名詞「皇国史観」の成立と流布を、戦中に文部省が行なった修史事業に着目して再検証し、従来のイメージを一新。「皇国史観」の何が、いかに問題であるかを実証的に分析。【白澤社刊】

四六判　定価 3,800円＋税　2008年刊
978-4-7684-7923-0 C1021

彩流社

伊奈正人 著

C. W. ミルズとアメリカ公共社会

動機の語彙論と平和思想

９・11以降、グローバル化する社会で続く「憎しみの連鎖」を断ち切る想像力を獲得するために、今こそ、ミルズ社会学を再読する！

A５判　定価 3,200円＋税

2013年刊
978-4-7791-1897-5 C0030

三浦玲一、早坂 静 編著

ジェンダーと「自由」

理論、リベラリズム、クィア

『プリキュア』やレディー・ガガなど新しいトピックスも取り上げながら、ジェンダー論の基礎からクィア研究の最前線まで網羅。多様な切り口が展開するジェンダー研究の刺激的な世界！

四六判　定価 2,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1875-3 C0098

権田建二、下河辺美知子 編著

アメリカン・ヴァイオレンス

見える暴力、見えない暴力

暴力はいかに発動されるのか……！
アメリカ社会における圧倒的な現実＝暴力をキーワードに、その現在・過去・未来をよみとく。暴力の本質をめぐる十の論点！

四六判　定価 2,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1894-4 C0098

和泉邦子 編著

英語圏女性作家のジェンダー・エスニシティ表象

境界から検証する近代のまなざし

ジェンダー／セクシュアリティ表象、日系というエスニシティ表象、メキシコ及びアメリカとカナダのエスニシティ表象……。近代国家と近代核家族のパフォーマンスへの批判的洞察！

四六判　定価 2,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1883-8 C0098

小野俊太郎 著

『ギャツビー』がグレートな理由（わけ）

映画と小説の完全ガイド

村上春樹が訳し、レッドフォードが演じ、この夏、ディカプリオが演じる『ギャツビー』の魅力を、『モスラの精神史』（講談社現代新書）で知られる著者が、大胆に読み解く、イチオシガイド！

A５判　定価 1,400円＋税

2013年刊
978-4-7791-1879-1 C0098

押山美知子 著
増補版

少女マンガ ジェンダー表象論

〈男装の少女〉の造形とアイデンティティ

『ベルサイユのばら』のオスカルや『リボンの騎士』のサファイヤはなぜ生まれたのか？　その特異な歴史を分析。少女マンガの〈性ジェンダー別越境〉を初めて明かす。第３回女性史学賞受賞作品。

A５判　定価 2,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1852-4 C0095

ティム・ドリン 著　廣野由美子 訳
時代のなかの作家たち５

ジョージ・エリオット

英国文学史に多大な影響をもたらしたジョージ・エリオットことメアリアン・エヴァンズ。彼女の生き様と、当時の時代背景を丹念にたどり、その創作の秘密をいきいきと浮かびあがらせる。

四六判　定価 3,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1705-3 C0098

内藤陽介 著

マリ近現代史

2013年１月、日本人10人が犠牲となったアルジェリア人質事件の背景には、フランスによるマリへの軍事介入があった。ほとんど知られていないマリ共和国の複雑な歴史、情勢を、平易に解説。

A５判　定価 2,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1888-3 C0022

飯野友幸 編著　柴田元幸ほか 訳
現代作家ガイド１

増補改訂版 ポール・オースター

増補版から約10年、好評４刷『現代作家ガイド１　ポール・オースター』が“改訂版”で再登場！　柴田元幸氏による初訳エッセイも収録。

A５判　定価 2,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1892-0 C0098

鈴木健夫 著

ヴォルガのドイツ人女性アンナ

世界大戦・革命・飢餓・国外脱出

ロシアの厳しい環境の中で育った、教養あるドイツ人移民女性がみた歴史の貴重な証言。それは、ソ連の社会主義建設の過程で「追放せよ」と弾圧された「クラーク」（富農）の視線でもある。

四六判　定価 1,600円＋税

2013年刊
978-4-7791-1885-2 C0023

巽 孝之 監修　伊藤優子ほか 編著
現代作家ガイド６

カート・ヴォネガット

いまこそ、ヴォネガットを。本邦初訳を含むエッセイや短篇のほか、「カート・ヴォネガット×大江健三郎」対談も収録。

A５判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1791-6 C0098

山本明代 著

大西洋を越えるハンガリー王国の移民

アメリカにおけるネットワークと共同体の形成

アメリカに渡ったハンガリー王国の移民たちが、移民者だけでなく、“移動”の行為において社会や人との関係にいかなる影響を及ぼしたかを多角的な事例と新しい移民史の視点から探る。

A５判　定価 4,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1873-9 C0022

竹内勝徳、高橋 勤 編著

環大西洋の想像力

越境するアメリカン・ルネサンス文学

アメリカの黎明期に生まれ、いまもアメリカ文学史上に輝くポー、メルヴィル、ソローらの作品を、当時の社会情勢、経済、思想といったアメリカン・ルネッサンスの文脈に照らして読み解く。

A５判　定価 3,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1876-0 C0098

デイヴィッド・D. ホール 著　大西直樹 訳

改革をめざすピューリタンたち

ピューリタニズムの実像を浮かび上がらせ、参加、公正性、平等が強く意識された社会変革の姿を通して、アメリカ民主主義の根源をさぐる！

A５判　定価 3,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1840-1 C0022

吉岡栄一 著

村上春樹とイギリス

ハルキ、オーウェル、コンラッド

村上春樹の好きなフィッツジェラルドは、『闇の奥』のコンラッドに心酔し、オーウェルは、コンラッドを政治小説の偉大なる師匠とみなしていた……。初めて語られる知られざるハルキ像！

四六判　定価 1,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1890-6 C0090

ニコリーネ・マリーイ・ヘルムス 著

デンマーク国民をつくった歴史教科書

DANMARKS HISTORIE

北欧の王国・デンマークの国民史をデンマーク人自身はどのように語ったのか！　国民学校（小・中学校）で読まれ続けてきた歴史教科書で知る、北の王国・デンマークの歴史！

A５判　定価 3,200円＋税

2013年刊
978-4-7791-1867-8 C0022

角田信惠 著

オスカー・ワイルドにおける倒錯と逆説

同性愛者として知られるオスカー・ワイルド。本書は散文作品全体を取り上げ、テクストの構造と彼のセクシュアリティの構造を関連づけ、「性の政治学」の側面からテクストを分析する。

四六判　定価 2,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1898-2 C0098

伊藤航多、佐藤繭香ほか 編著

欲ばりな女たち

近現代イギリス女性史論集

タフなイギリス人女性たちの自己表現に焦点をあて、文学、歴史学、宗教、食文化、女性医師等々、さまざまな角度からイギリス史における女性の貢献を再考する社会史論集。

四六判　定価 3,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1816-6 C0022

彩流社

ウィンソン・ハドゥソンほか 著

アメリカ黒人町ハーモニーの物語

知られざる公民権の闘い

極めて劣悪な人権状況と教育環境のなかで、闘い続けた無名の女性とその家族。地元ミシシッピにおける黒人地域社会の歩みと権利獲得を語り継ぐ長い「公民権運動」の回想録。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1854-8 C0022

ジョン・ニュートン 著　中澤幸夫 編訳

増補版

「アメージング・グレース」物語

ゴスペルに秘められた元奴隷商人の自伝

今ではアメリカの「第二の国歌」とも言われるゴスペルソングを生み出した人物。クリスマスの時期になるとよく耳にするようになった名曲秘話！

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-7791-1853-1 C0023

熊田泰章 編　曽士才ほか 著

国際文化研究への道

共生と連帯を求めて

「放射能の時代」「人の移動と権力」「文学と社会」「アートと政治」の四テーマから見える現代の多様な文化的営みと相互関係の相貌。国際文化研究の視座・方法論を考えるうえで示唆に富む論集。

A５判　定価 4,500円＋税

2013年刊
978-4-7791-1896-8 C0030

早川敦子 著

翻訳論とは何か

翻訳が拓く新たな世紀

他の批評理論も絡めながら、多様な「翻訳論」を紹介し、モダニズム後の言語文化と歴史意識が「翻訳論」とどのような相互関係にあるのかを読み解く。

四六判　定価 2,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1871-5 C0090

セルバンテス 著　岩根圀和 訳

新訳

ドン・キホーテ【前編】

17世紀スペインのキリスト教とイスラム教世界の対立を背景に、ラ・マンチャの男の狂気とユーモアに込められた奇想天外な騎士道物語！

A５判　定価 4,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1845-6 C0097

セルバンテス 著　岩根圀和 訳

新訳

ドン・キホーテ【後編】

贋作と本物とが交錯するパロディとしての騎士道物語！　サラゴサからバルセロナへと偽者が本物のドン・キホーテの旅程を変えてしまう破天荒な旅。

A５判　定価 4,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1846-3 C0097

ジョゼ・サラマーゴ 著　阿部孝次 訳

ポルトガル文学叢書17

複製された男

彼がオリジナルで、自分が複製された男なのか！　孤独な現代人の苦悩とアイデンティティの危機をミステリー仕立てで描いたポルトガルのノーベル賞作家サラマーゴの傑作。

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-7791-1834-0 C0097

レマルク 著　小倉正宏 訳

生命の火花

ドイツ強制収容所の勇者たち

『西部戦線異状なし』で知られるレマルク畢生の大作！　ナチス・ドイツ強制収容所での苛酷で悲惨な現実を、敗戦直前のドイツ側から描き、長らく発禁処分となっていた問題作。

A５判　定価 3,000円＋税

2012年刊
978-4-7791-1808-1 C0097

岩瀬禎之 著　安藤 操 編

新装改訂版

海女の群像　岩瀬禎之写真集

千葉岩和田1931-1964

海女の身と、明るく大らかな海女たちの健康美が写し撮られた！　初版から四回目となる新装改訂版刊行に伴い、未発表写真等増補。

B４変　定価 5,800円＋税

2012年刊
978-4-7791-1804-3 C0072

岩瀬禎之 写真・文

海女の群像・続編

海女の習俗　岩瀬禎之写真集

千葉岩和田1931-1964

貴重な海女の写真集の続編が登場！　海女たちの海と文化をたずねる。写真家・岩瀬邸の書斎奥から偶然発見された未整理の海女写真集第二弾！！

B４変　定価 5,800円＋税

2013年刊
978-4-7791-1827-2 C0072

星野文子 著

ヨネ・ノグチ

夢を追いかけた国際詩人

彫刻家イサムノグチの父にしてエトランゼ（異邦人）であり続けた詩人の魅力的な人となりを、当時の手紙をたどっていきいきと浮かび上がらせる。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1833-3 C0095

越智多藻惠 著

席亭志願

落語を愛し支える人びと

落語会をつくる人にスポットを当てた「落語」を愛し、支える人たちのドキュメント。落語は自由に聴け！

四六判　定価 1,900円＋税

2012年刊
978-4-7791-1825-8 C0076

ムトー清次 著

談志写真帖

立川談志との長いつきあいのなかで撮り貯められた秘蔵写真（約200点）を一気に紹介！　カメラマンとして最高の被写体、それが「立川談志」だった。

A５判　定価 1,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1838-8 C0076

西川和子 著

ギター前史　ビウエラ七人衆

スペイン宮廷楽士物語

華やかなりしビウエリスタの姿を描くとともに、突如として消えたビウエラの謎を追う。ビウエラ、ギター奏者、愛好家必読の書！

四六判　定価 2,200円＋税

2012年刊
978-4-7791-1829-6 C0022

松岡 完 著

ケネディと冷戦

ベトナム戦争とアメリカ外交

ベトナム戦争と冷戦をめぐるＪＦＫの行動。外交政策の特徴を政権後半の1963年に焦点を当て検証。

A５判　定価 5,000円＋税

2012年刊
978-4-7791-1792-3 C0022

河原 宏 著

ドストエフスキーとマルクス

マルクスとドストエフスキーの二人を並べ、理論としても現実的にも、「近代」の革命論を総括したマルクス。しかしそのマルクスに欠けていた神と宗教の問題を、ドストエフスキーによって補う。

四六判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1793-0 C0010

辻元よしふみ 著　辻元玲子 絵

図説

軍服の歴史5000年

我々が日常身につけている洋服の起源でもある軍服の誕生と変遷の歴史5000年を、究極の精密考証イラスト200点以上で図説する！

B５判　定価 2,500円＋税

2012年刊
978-4-7791-1644-5 C0022

三宅正樹、石津朋之ほか 編著

ドイツ史と戦争

「軍事史」と「戦争史」

「戦争は人類が営む一つの社会現象である」との認識で「軍事史」より広い「戦争史」の視点から、戦闘の歴史だけでなく、政治、経済、技術、倫理といった社会的要素を取り入れた多角的な論集。

A５判　定価 3,800円＋税

2011年刊
978-4-7791-1657-5 C0022

知泉書館

加藤信朗 著

平和なる共生の世界秩序を求めて
政治哲学の原点

戦後から今日まで続く日本の「政治哲学の欠如」には西田をも含めた代表的哲学者の「無政治性」が強く影響しているのではないか。不透明な現代こそ政治哲学への関心を高めることが急務となろう。 2013年刊

四六判 定価 2,200円＋税 978-4-86285-158-1 C3010

栗原裕次 著

イデアと幸福
プラトンを学ぶ

プラトンの〈人間＝対話的存在〉について、初期対話篇の批判的性格と中期対話篇の探究的性格を通して解明する。著者は本書で、人間が幸せになるためにかけがえのない営みとして哲学の原点を示す。 2013年刊

菊判 定価 5,000円＋税 978-4-86285-154-3 C3010

上智大学中世思想研究所 編
中世研究第13号

中世における信仰と知

古代～近世の各時期にヨーロッパで発展、受容された思想の流れを「信仰と知」で構築し直す。人間の精神活動の多様性の根拠を浮き彫りにする哲学的営為に本格的研究者16名が光を当てた基本文献。 2013年刊

A５判 定価 9,000円＋税 978-4-86285-151-2 C3010

金子晴勇 著

アウグスティヌスの知恵

1500年以上もヨーロッパの思想と文化に多大な影響を与えてきたアウグスティヌスの多くの著作から37点の珠玉の言葉を選び、ラテン語原文を添え平易な説明を与えた格好のアウグスティヌス入門書。 2012年刊

四六判 定価 2,200円＋税 978-4-86285-144-4 C3010

イブン・シーナー 著　木下雄介 訳

魂について
治癒の書　自然学第六篇

11世紀アラビアの大思想家イブン・シーナーの主著で、哲学諸分野をアラビア語で体系的に論じ後に欧州の思想界にも多大な影響を与えた『治癒の書』から『魂について』原典を本格的に訳出・註解。 2012年刊

A５判 定価 6,500円＋税 978-4-86285-141-3 C3010

トマス・アクィナス 著　稲垣良典 訳註
ラテン語対訳版

在るものと本質について

トマスがパリ大学神学部教授の就任前に修道士や僚友のために著した革新的な挑戦の書であり、また現代の研究者や学生が全員が理解しておくべき「存在論」を徹底的に探究するための知的挑戦の書。 2012年刊

菊判 定価 3,000円＋税 978-4-86285-130-7 C3010

山本芳久 著

トマス・アクィナスにおける人格（ペルソナ）の存在論

従来「人格（ペルソナ）」についての探究は、存在論の立場や倫理学などさまざまな観点から行われてきたが、本書では倫理学と存在論を統合する視点から考察、トマス人間論の新たな地平を切り開く。 2013年刊

菊判 定価 5,700円＋税 978-4-86285-145-1 C3010

エックハルト 著　中山善樹 訳

エックハルト ラテン語著作集Ⅴ
小品集

本巻収録の八点中、本邦初訳の『弁明書』は異端の嫌疑をかけられたエックハルトがそれに答えた極めて重要な書。本格的ラテン語テキストを提供し、真のエックハルト像に迫ると好評のシリーズ完結。 2012年刊

A５判 定価 6,000円＋税 978-4-86285-139-0 C3010

山崎達也 著

哲学と神学のハルモニア
エックハルト神学が目指したもの

ドイツ語説教を基にした神秘思想家の側面からラテン語著作群へと深化しているエックハルト研究の現況を踏まえ、多彩な資料を駆使して神学と哲学を架橋しつつエックハルト思想全体の体系化に挑む。 2013年刊

菊判 定価 6,200円＋税 978-4-86285-147-5 C3010

M. H. ユング 著　菱刈晃夫 訳

メランヒトンとその時代
ドイツの教師の生涯

ルターの影で宗教改革運動の実質を担ったと同時に、中等・高等教育機関としてのギムナジウムや大学制度の基礎を整え、「ドイツの教師」と呼ばれたメランヒトンの思想と実践の全体像を知る書。 2012年刊

四六判 定価 3,400円＋税 978-4-86285-134-5 C3016

山田弘明、吉田健太郎ほか 訳

デカルト全書簡集　第一巻
1619-1637年

わが国ではデカルトにおける思想系の一部分の書簡のみが訳出されてきたが、哲学以外の他分野にわたる内容も全訳する待望の「全書簡集」は、著作だけでは分からない思考に近づく重要な基礎資料。 2012年刊

菊判 定価 7,000円＋税 978-4-86285-124-6 C3010

道躰滋穂子 著

パスカルの宗教哲学
『パンセ』における合理的信仰の分析

デカルトやモンテーニュの影響を受けた哲学的思考と、哲学の限界を認識して決定的回心を遂げたキリスト者としての探求などを背景として、科学者パスカルの精神の軌跡と実存に迫る貴重な研究成果。 2012年刊

A５判 定価 5,000円＋税 978-4-86285-138-3 C3010

酒井 潔 著

ライプニッツのモナド論とその射程

トマスやクザーヌスの影響を受けつつフッサールやハイデッガー、デューイなど現代哲学へと射程を伸ばすモナド論の個体概念の新たな展開の可能性を示唆した、ライプニッツの数少ない本格的研究書。 2013年刊

A５判 定価 6,000円＋税 978-4-86285-155-0 C3010

宮谷尚実 著

ハーマンの「へりくだり」の言語
その思想と形式

プロイセンの思想家「北方の博士」ハーマンが、ゲーテやヘルダー、カントらとの交流を通して啓蒙思想と対抗しながら展開した言語と思想に光を当て、18世紀ドイツの思想空間の広がりと影響を解明。 2013年刊

A５判 定価 4,800円＋税 978-4-86285-146-8 C3010

小島優子 著

ヘーゲル　精神の深さ
『精神現象学』における内化と外化

歴史的世界での人間から実体への「外化」と、宗教的世界における神から人間への「内化」は別次元の問題とされてきたが、両者を統一的に関連づけ行動と言葉の分析を通して新たな光を投じた意欲作。 2011年刊

A５判 定価 5,000円＋税 978-4-86285-123-9 C3010

片岡大右 著

隠遁者，野生人，蛮人
反文明的形象の系譜と近代

シャトーブリアンにおける宗教と詩学、文明の解釈を通し、近代において社会の中心から離れた存在がヨーロッパ社会にどのような影響を与え、それを受けて社会が彼らをいかに受容したかを論じる。 2012年刊

菊判 定価 7,000円＋税 978-4-86285-128-4 C3010

安酸敏眞 著

歴史と解釈学
《ベルリン精神》の系譜学

人文学分野で19世紀ドイツを代表し、ベルリン大学を支えた五人の巨匠を貫く一つの共通精神から《ベルリン精神》の系譜学という新視点で、解釈学と歴史主義の関係を原典資料により克明に追跡。 2012年刊

A５判 定価 8,500円＋税 978-4-86285-135-2 C3010

塚田澄代 著

ベルクソンとマルセルにおける直接経験

ベルクソンとマルセルは20世紀初めに伝統的経験論や観念論を批判し形而上学を解放する。直接経験、信仰と愛、神を見出すことで感覚的認識と身体的生を精神的生と神秘的経験に結ぶ存在理解に到達。 2013年刊

菊判 定価 5,200円＋税 978-4-86285-149-9 C3010

知泉書館

M. フックス 編著　松田 純 監訳
静岡大学人文社会科学部研究叢書34
科学技術研究の倫理入門
菊判　定価 6,000円＋税
実際に研究活動に携わる人たちが日々直面している倫理的問題を考える上で役立つ、研究倫理に関連した最先端の重要なテーマを簡潔に叙述。科学・技術の現状を踏まえた本格的業績で研究者必読の書。　2013年刊
978-4-86285-152-9 C3012

岩本潤一 訳著
現代カトリシズムの公共性
菊判　定価 4,000円＋税
現代社会にとって豊かな智慧と示唆を見出すため、ヴァチカンから折々に発信される提言を宗教の垣根を越えて偏見なく検討。本書で紹介したテーマは現代人が直面する緒問題の解決の手掛かりとなる。　2012年刊
978-4-86285-136-9 C3016

R. シュペーマン 著　山脇直司、辻 麻衣子
原子力時代の驕り
「後は野となれ山となれ」でメルトダウン
四六判　定価 2,200円＋税
1950年代から反原子力の論陣を張り、70年代からは原発稼働に反対し、人類が制御できる技術ではないと訴えてきた著者の徹底した倫理学的考察を通して、原子力時代の不合理性と非倫理性を解明する。　2012年刊
978-4-86285-143-7 C3036

岡野治子、奥田暁子 編
希望の倫理
自律とつながりを求めて
A５判　定価 3,500円＋税
福祉、歴史、社会、文学、倫理などに問題意識をもつ執筆者が集い、社会的弱者の立場や現実社会の歪みと不条理を分析・研究し、あるべき未来を構想して成熟した社会を創るための課題と方策を提案。　2012年刊
978-4-86285-142-0 C3012

八木雄二 著
地球に自然を返すために
自然を復活させるボランティア
四六変　定価 1,000円＋税
東京都の野鳥公園で自然環境保全の活動をしてきた30年以上の経験を踏まえ、なぜボランティアするのか分からない人びとへその意義を示すなど、実践活動から生み出された詳細なノウハウを伝授する。　2012年刊
978-4-86285-137-6 C0036

横井秀治 著
小さなよろこび　大きな幸せ
テュービンゲン便り
四六判　定価 2,800円＋税
外で働く妻の代わりにハウスマン（主夫）として家事全般を引き受け、障がいをもつ息子や年老いた義母と暮らすドイツの生活を書きつづる。後半部は日本各地で出会った人々や豊かな自然を活写する。　2012年刊
978-4-86285-140-6 C0036

松永幸子 著
近世イギリスの自殺論争
自己・生命・モラルをめぐるディスコース
菊判　定価 3,500円＋税
イギリスで現在行われている自殺防止プログラムの枠組みは17・18世紀に展開された「自殺論争」にその原型が見出せる。論争の推移やイギリス初の自殺防止団体「王立人道協会」の活動と思想を検討。　2012年刊
978-4-86285-129-1 C3012

R. ロウ 著　山崎洋子、添田晴雄 監訳
進歩主義教育の終焉
教師はいかに授業づくりの自由を失ったか
菊判　定価 6,000円＋税
マッカーシズムやサッチャー政権、労働党政権移行後の政策などに翻弄された英国の進歩主義教育を題材にして、教師の専門性に対する政治的・社会的介入というポリティクスを初めて総合的に考察。　2013年刊
978-4-86285-157-4 C3037

岡田充博 著
唐代小説「板橋三娘子」考
西と東の変驢変馬譚のなかで
A５判　定価 8,200円＋税
古代インドを源流に、西方の西アジアやヨーロッパ、東方の中国や日本、モンゴル・チベット・韓国などへと伝播した物語の成立とその背景、変遷の実態を膨大な資料から総合的に考察した研究成果。　2012年刊
978-4-86285-127-7 C3090

芳井研一 編
新潟大学人文学部研究叢書９
南満州鉄道沿線の社会変容
菊判　定価 5,200円＋税
満鉄は日露戦争の講和条約でロシアから受け継いだ700余kmの幹線とその支線を含む鉄道線として出発した。中国の第一線の研究者の参加を得て埋もれていた資料を活用、植民地研究の新たな頁を開く。　2013年刊
978-4-86285-150-5 C3021

甚野尚志、益田朋幸 編
ヨーロッパ中世の時間意識
菊判　定価 6,000円＋税
「時間意識」を主題として従来の縦割りの専門的枠組みを超えて学際的共同研究を行い、歴史学、美術史、哲学、文学、宗教学など15論文から多角的・横断的に考察。新たな中世・ルネサンス像を提示。　2012年刊
978-4-86285-133-8 C3022

山本成生 著
聖歌隊の誕生
カンブレー大聖堂の音楽組織
A５判　定価 9,000円＋税
西洋中世・ルネサンス期の聖歌隊がいかなる社会基盤から形成されたか。ヨーロッパ近代音楽誕生の多様な歴史的現実を多角的に分析し、膨大な史料群の性質や問題点を詳細に指摘しながら真実に迫る。　2013年刊
978-4-86285-148-2 C3022

O. ブルンナー 著　山本文彦 訳
中世ヨーロッパ社会の内部構造
四六判　定価 2,200円＋税
世界の中で唯一ヨーロッパで近代世界を開花させた「ヨーロッパ的特殊性」を問う、碩学オットー・ブルンナーの中世社会史の概説書。広く目配りされた含蓄のある叙述を通して開かれた教養を得る。　2013年刊
978-4-86285-156-7 C3022

小宮英敏 著
数理経済学叢書３
最適化の数理 I
数理計画法の基礎
菊判　定価 4,600円＋税
経済学の多くの場面で活用されている最適化の数理を支える数学の手法について、専門の数学者の立場から丁寧に解説した初の本格的中級テキスト。数学・経済学両分野の発展に関わる良質な教科書。　2012年刊
978-4-86285-131-4 C3033

J.-M. グランモン 著　斉木吉隆 訳
数理経済学叢書４
非線型経済動学
差分方程式・分岐・カオス
菊判　定価 3,000円＋税
非線型動学・分岐・カオスの解析に用いられる現代数学の手法を簡明に、しかもこの分野の専門家でない人にも理解しやすいよう紹介するため、20年以上にわたり講義されてきた内容をまとめた決定版。　2013年刊
978-4-86285-153-6 C3033

大森郁夫 著
文明社会の貨幣
貨幣数量説が生まれるまで
A５判　定価 6,000円＋税
西欧文明社会の思想史に初期の貨幣数量説の出現を跡づけ学説史と思想史の融合を試みた、著者の長年の構想による画期的業績。金融帝国主義が話題になる中で改めて貨幣数量説の一連の展開を見直す。　2012年刊
978-4-86285-125-3 C3033

L. マグヌソン 著　玉木俊明 訳
産業革命と政府
国家の見える手
A５判　定価 4,500円＋税
近代国家と産業の台頭を適切に理解するため、産業革命の多様な形態を国家形成の政治的・制度的文脈や近代的国民国家の創出と関連づけて解明する。経済史、歴史、社会科学全般の研究者の必読書。　2012年刊
978-4-86285-126-0 C3033

全米研究評議会 編　茂木愛一郎ほか 監訳
コモンズのドラマ
持続可能な資源管理論の15年
菊判　定価 9,000円＋税
共同利用を前提とする資源管理が過剰消費をもたらし資源を枯渇させるとした『コモンズの悲劇』は学界に衝撃を与えた。学際的な実証的反論の展開と、急速に拡大する研究対象の最先端の業績を紹介。　2012年刊
978-4-86285-132-1 C3022

吉田書店

柏倉康夫 著

指導者（リーダー）はこうして育つ

フランスの高等教育〜グラン・ゼコール

フランスではどんな教育が行われているのか。社会はリーダーをどう育てるか。フランスにおける教育制度やその背景を歴史的視点で理解するための格好の書。バカロレアについても詳説。

四六判　定価 1,900円＋税　2011年刊
978-4-905497-01-1 C1036

神川信彦 著　君塚直隆 解題

グラッドストン

政治における使命感

1967年毎日出版文化賞受賞作が今ここに蘇る！　四度にわたって首相を務めた英国の政治家グラッドストン（1809-1898）の生涯を、格調高い筆致で描き出した名著。新進気鋭の英国史家の解題を付して復刊。

四六判　定価 4,000円＋税　2011年刊
978-4-905497-02-8 C1023

小野 一 著

現代ドイツ政党政治の変容

社会民主党、緑の党、左翼党の挑戦

現代政治において、アイデンティティを問われる事態に直面している“左翼”。左翼の再構築、グローバル経済へのオルタナティヴは可能かを展望。ドイツ緑の党の変遷、３.11以後の動きも紹介！

四六判　定価 1,900円＋税　2012年刊
978-4-905497-03-5 C1036

畑山敏夫 著

フランス緑の党とニュー・ポリティクス

近代社会を超えて緑の社会へ

政治的エコロジーとは何か。ニュー・ポリティクスとは何か。「フランス緑の党」の起源から発展過程を、つぶさに観察。ヨーロッパ各国のエコロジー政党にも随所で言及。

Ａ５判　定価 2,400円＋税　2012年刊
978-4-905497-04-2 C1031

安在邦夫 著

自由民権運動史への招待

自由民権運動史研究の第一人者による入門書決定版！
民主主義の原点である自由民権運動から私たちは、いま何を学びとるか。民権運動史と研究史を鳥瞰する格好の一冊。

四六判　定価 2,000円＋税　2012年刊
978-4-905497-06-6 C1021

シモーヌ・ド・サン＝テグジュペリ 著

庭園の五人の子どもたち

アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリとその家族のふるさと

『星の王子さま』の作者アントワーヌ・ド・サン＝テグジュペリのルーツを知ることができる貴重な一冊！
実姉シモーヌによる回想録。

四六判　定価 2,400円＋税　2012年刊
978-4-905497-05-9 C0098

柏倉康夫 著

石坂洋次郎「若い人」をよむ

妖しの娘・江波恵子

長篇小説『若い人』のヒロイン江波恵子の‘魅力’をストーリーに沿って明かす。
北国の女学校を舞台に繰り広げられる教師と女学生の物語は、われわれをどこへ誘うか。

四六判　定価 1,800円＋税　2012年刊
978-4-905497-07-3 C0091

柏倉康夫 著

ノーベル文学賞

「文芸共和国」をめざして

1901年受賞のプリュドムから2011年受賞のトランストロンメルまで計108名のノーベル文学賞受賞者。文学の歴史に名を刻す巨人とその時代を辿る！巻末に受賞者一覧を掲載。格好の“世界文学ガイド”

四六判　定価 2,200円＋税　2012年刊
978-4-905497-08-0 C0090

水谷三公 著

読書三酔

本を読むには三度の楽しみがある。読んでみたいと思ったそのとき、読んでいるとき、そして読後。本を肴にした一味違った書評集。計46本の書評を、４つの部に分け、巻末には人名索引も。

四六判　定価 2,200円＋税　2012年刊
978-4-905497-09-7 C0095

坂本一登、五百旗頭 薫 編著

日本政治史の新地平

16論文所収。執筆＝坂本一登・五百旗頭薫・塩出浩之・西川誠・浅沼かおり・千葉功・清水唯一朗・村井良太・武田知己・村井哲也・黒澤良・河野康子・松本洋幸・中静未知・土田宏成・佐道明広

Ａ５判　定価 6,000円＋税　2013年刊
978-4-905497-10-3 C3031

イヴ・デロワ 著　中野裕二ほか 訳

国民国家　構築と正統化

政治的なものの歴史社会学のために

歴史学と社会学の断絶から交差へと至る過程を理論的に跡づけ、近代国家形成、国民構築、投票の意味変化について分析。フランスにおける政治社会学の理論的展開を理解するのに最適の１冊。

四六判　定価 2,200円＋税　2013年刊
978-4-905497-11-0 C1031

丹野清人 著

国籍の境界を考える

日本人、日系人、在日外国人を隔てる法と社会の壁

国籍や外国人労働の問題を丹念に追ってきた著者が、社会学の立場から、国籍法違憲判決を分析し、労働や雇用問題についても詳説。

四六判　定価 2,600円＋税　2013年刊
978-4-905497-12-7　C1036

細田晴子 著

カザルスと国際政治

カタルーニャの大地から世界へ

“国際文化主義者”ともいえる、世界的チェリスト・カザルスを、彼が生きた国際社会とともに描く意欲作。

四六判　定価 2,500円＋税　2013年７月刊行予定
978-4-905497-13-4　C1023

都築 勉 著

丸山眞男への道案内

人・思想・学問

「戦後日本を代表する知識人」丸山眞男を今こそ読み直したい。丸山の「生涯」を辿り、「著作」をよみ、「現代的意義」を考える三部構成。

四六判　定価 2,400円＋税　2013年８月刊行予定
978-4-905497-14-1 C1023

ＮＲ出版会加盟社 with 協賛社連絡先

※カタログ掲載商品は刊行書籍の一部です。
各社ホームページの出版図書一覧などもご活用ください。

亜紀書房 http://www.akishobo.com
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32
☎ 03-5280-0261　FAX 03-5280-0263

以文社 http://www.ibunsha.co.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-7
☎ 03-6272-6536　FAX 03-6272-6538

インパクト出版会 http://www.jca.apc.org/~impact/
〒113-0033 東京都文京区本郷2-5-11
☎ 03-3818-7576　FAX 03-3818-8676

影書房 http://www.kageshobo.co.jp
〒114-0015 東京都北区中里3-4-5
☎ 03-5907-6755　FAX 03-5907-6756

現代人文社 http://www.genjin.jp
〒160-0004 東京都新宿区四谷2-10　八ッ橋ビル７Ｆ
☎ 03-5379-0307　FAX 03-5379-5388

現代書館 http://www.gendaishokan.co.jp
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋3-2-5
☎ 03-3221-1321　FAX 03-3262-5906

新幹社 http://shinkansha.exblog.jp
〒112-0005 東京都文京区水道2-1-12
☎ 03-5689-4070　FAX 03-5689-2988

彩流社 http://www.sairyusha.co.jp
〒102-0071 東京都千代田区富士見2-2-2
☎ 03-3234-5931　FAX 03-3234-5932

新泉社 http://www.shinsensha.com
〒113-0033 東京都文京区本郷2-5-12
☎ 03-3815-1662　FAX 03-3815-1422

知泉書館 http://www.chisen.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷1-13-2
☎ 03-3814-6161　FAX 03-3814-6166

柘植書房新社 http://www.tsugeshobo.com
〒113-0033 東京都文京区本郷1-35-13
☎ 03-3818-9270　FAX 03-3818-9274

吉田書店 http://www.yoshidapublishing.com
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-6-4
☎ 03-6272-9172　FAX 03-6272-9173

同時代社 http://www.doujidaisya.co.jp
〒101-0065 東京都千代田区西神田2-7-6
☎ 03-3261-3149　FAX 03-3261-3237

七つ森書館 http://www.pen.co.jp
〒113-0033 東京都文京区本郷3-13-3
☎ 03-3818-9311　FAX 03-3818-9312

日本経済評論社 http://www.nikkeihyo.co.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2
☎ 03-3230-1661　FAX 03-3265-2993

風媒社 http://www.fubaisha.com
〒460-0013 愛知県名古屋市中区上前津2-9-14
☎ 052-331-0008　FAX 052-331-0512

論創社 http://www.ronso.co.jp
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-23
☎ 03-3264-5254　FAX 03-3264-5232